
さぬき市
まちづくりのための市民アンケート調査
報告書

2026（令和8）年1月
香川県 さぬき市

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	3
1 性別	3
2 年齢	3
3 職業	4
4 家族構成	5
5 同居家族	7
6 居住歴	9
III 調査結果	11
【1】さぬき市について	11
1 さぬき市への愛着度	11
2 暮らしやすさ	13
3 永住意向	15
4 住み続けたい理由	18
5 住み続けたくない理由	22
6 第2次さぬき市総合計画の認知状況	26
7 まちづくりにおいて関心がある分野	28
【2】地域での生活について	31
1 近所付き合いの程度	31
2 地域活動やボランティア活動への参加状況	33
【3】これからのまちづくりについて	36
1 商工業を振興するために力を入れるべきこと	36
2 農林水産業を振興するために力を入れるべきこと	39
3 観光産業を振興するために力を入れるべきこと	41
4 災害対策として力を入れるべきこと	44
5 都市基盤や生活環境に関して力を入れるべきこと	47
6 子育て支援に関して力を入れるべきこと	50
7 地域福祉を推進するために力を入れるべきこと	52
8 健康づくりを推進するために力を入れるべきこと	54
9 市民病院の利用状況	57
10 市民病院を利用しやすくするために力を入れるべきこと	59
11 学校教育に関して力を入れるべきこと	61
12 男女共同参画を推進するために力を入れるべきこと	64
13 人権を大切にするために力を入れるべきこと	67
14 多文化共生に向けて力を入れるべきこと	70
15 環境保全に関して力を入れるべきこと	72
16 少子化対策として力を入れるべきこと	75

17 移住や定住を促進するために力を入れるべきこと -----	77
18 住民と行政の協働について -----	80
19 今後取り組むべき行政運営 -----	82
【4】暮らしについて -----	85
1 幸福度 -----	85
2 「幸せ」であるために重要なこと -----	87
【5】まちづくりの満足度と重要度について -----	89
1 各施策の満足度と重要度 -----	89
2 市が取り組むべきまちづくり -----	107
資料 調査票 -----	111

I 調査の概要

【調査の目的】

本調査は、「第3次さぬき市総合計画」の策定にあたり、さぬき市のまちづくりに関する市民の意識や意見等を把握し、今後の計画づくりのための基礎資料とすることを目的として実施した。

【調査設計】

調査対象：16歳以上の市民

調査方法：郵送配布～郵送回収、インターネットによる回答

調査時期：2025（令和7）年10月

【回答結果】

配布数 ----- 2,560件

有効回答数 ----- 1,454件（郵送：874件、Web：580件）

有効回答率 ----- 56.8%

【地区別回答状況】（問1回答結果より）

	構成比 (%)	件数 (件)
津田地区	19.1	278
大川地区	21.4	311
志度地区	18.7	272
寒川地区	19.9	289
長尾地区	20.9	304
合計	100.0	1,454

【報告書の見方について】

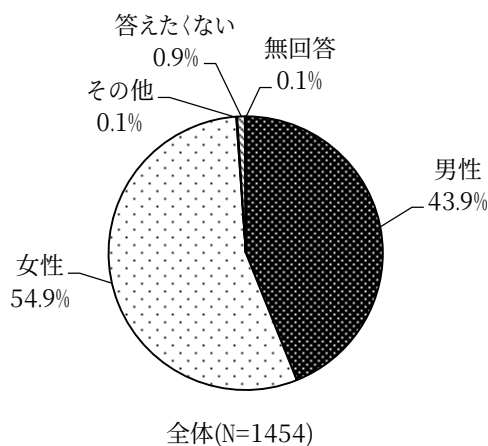
- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記している。
- (4) 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの基数(n)の合計と全体の基数(N)は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%、0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (6) 設問によっては、令和3年に実施した前回調査との比較を行っている(時系列比較)。その際、図表等の表記は令和3年の調査を「前回調査(R3)」、令和7年の調査を「今回調査(R7)」と略記している。
- (7) 上記のほか、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

Ⅱ 回答者の属性

1 性別

問2 あなたの性別をお答えください。（自認する性別をお答えください。）
（回答は1つ）

回答者の性別構成比は、「男性」が43.9%、「女性」が54.9%と、女性の割合が男性を上回っている。

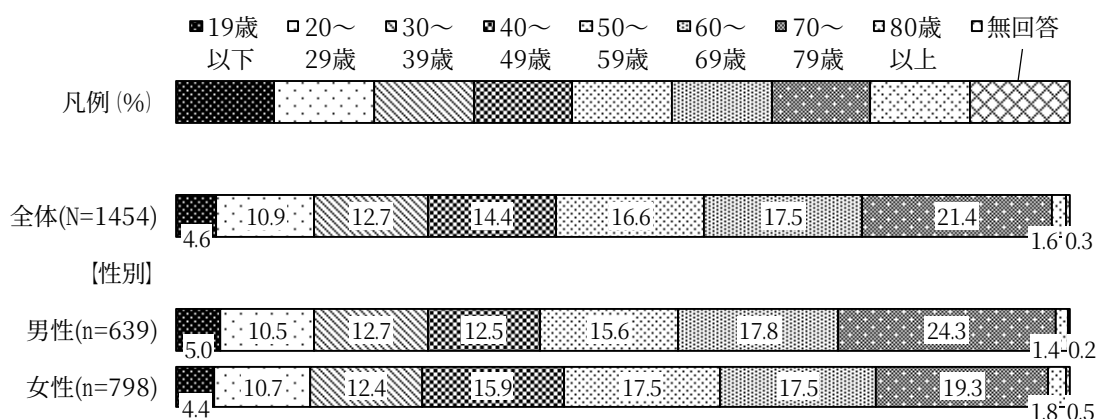


2 年齢

問3 あなたの年齢をお答えください。（回答は1つ）

年齢別構成は、「70～79歳」の割合が21.4%と最も高く、次いで「60～69歳」（17.5%）、「50～59歳」（16.6%）、「40～49歳」（14.4%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「70～79歳」の割合が高くなっている。

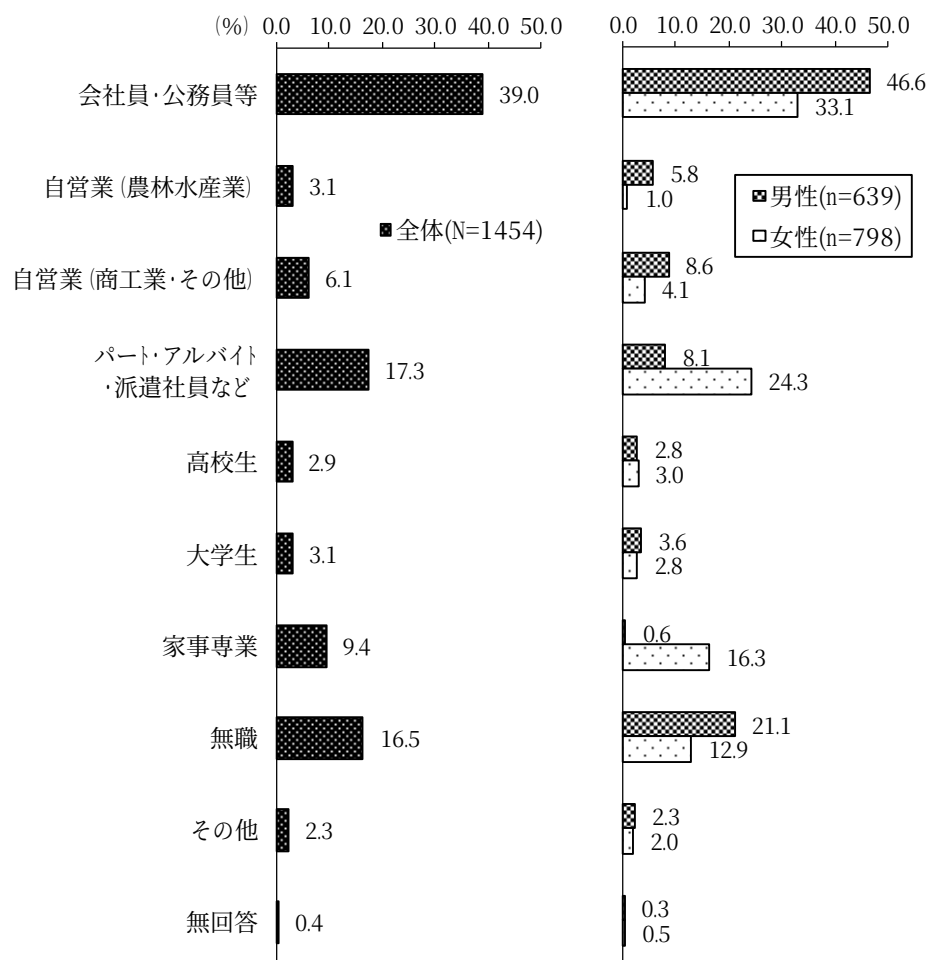


3 職業

問4 あなたの主たる職業をお答えください。（回答は1つ）

職業については、「会社員・公務員等」の割合が39.0%と最も高く、次いで「パート・アルバイト・派遣社員など」(17.3%)、「無職」(16.5%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「会社員・公務員等」「無職」などの割合が高く、女性は「パート・アルバイト・派遣社員など」「家事専業」の割合が男性を上回っている。



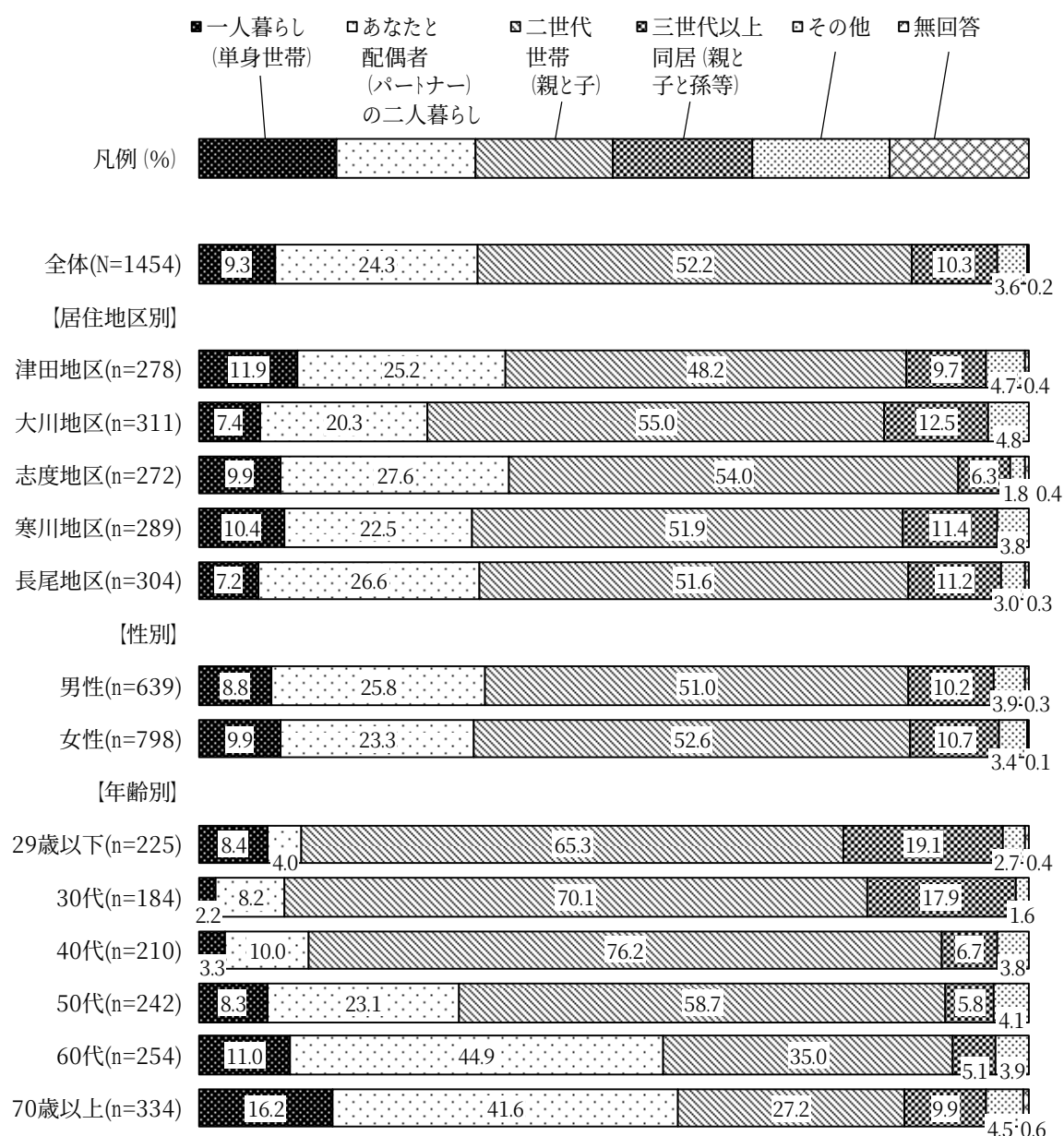
4 家族構成

問5 あなたの同居家族の構成をお答えください。（回答は1つ）

家族構成については、「二世世代世帯（親と子）」の割合が52.2%と最も高く、次いで「あなたと配偶者（パートナー）の二人暮らし」（24.3%）、「三世代以上同居（親と子と孫等）」（10.3%）、「一人暮らし（単身世帯）」（9.3%）の順となっている。

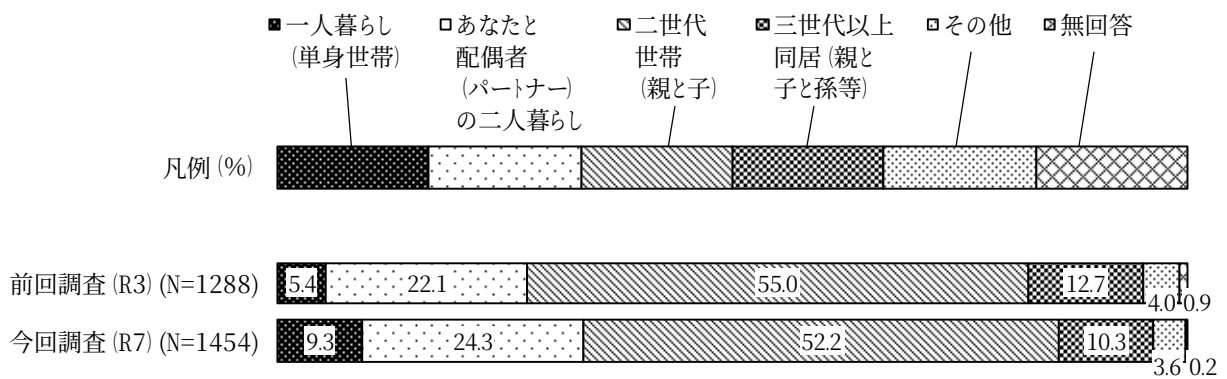
居住地区別では、大川地区で「あなたと配偶者（パートナー）の二人暮らし」の割合が他の地区に比べて低くなっている。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では30代以下で「三世代以上同居（親と子と孫等）」、60代以上で「あなたと配偶者（パートナー）の二人暮らし」、70歳以上で「一人暮らし（単身世帯）」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



【時系列比較】

前回調査結果と比べ、「一人暮らし（単身世帯）」がやや増加している。

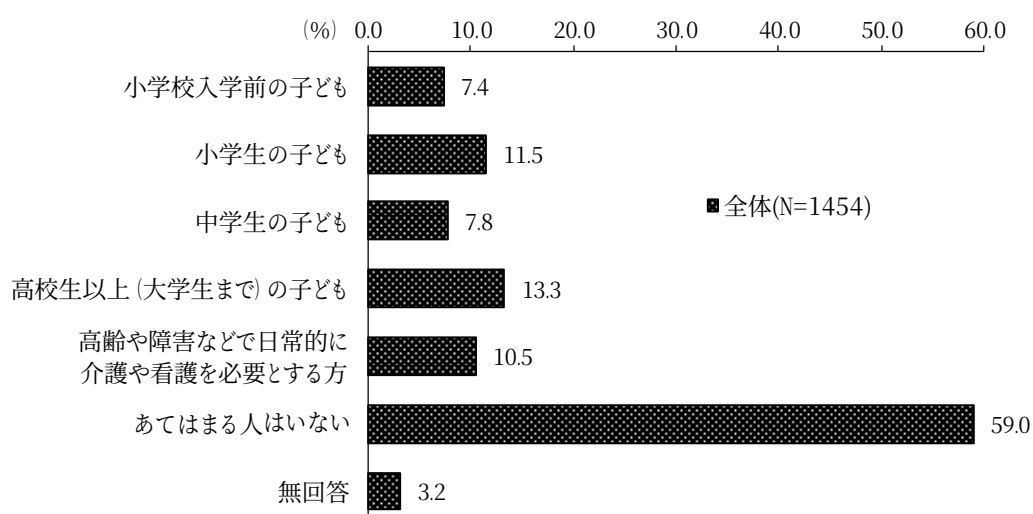


5 同居家族

問6 あなたの同居家族の中に、次の方はいますか。（あなたご自身も含む。）
（回答はあてはまるもの全て）

同居家族については、「あてはまる人はいない」の割合が 59.0%と最も高く、次いで「高校生以上（大学生まで）の子ども」（13.3%）、「小学生の子ども」（11.5%）、「高齢や障害などで日常的に介護や看護を必要とする方」（10.5%）の順となっている。

年齢別では、30代で「小学校入学前の子ども」、30～40代で「小学生の子ども」、40代で「中学生の子ども」、60代以上で「高齢や障害などで日常的に介護や看護を必要とする方」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

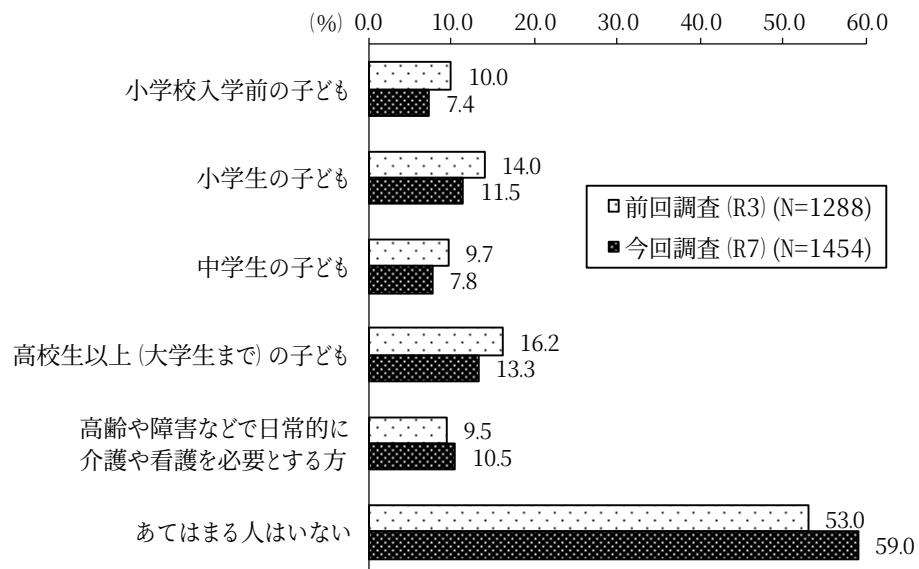


単位 (%)	小学校入学前の子ども	小学生の子ども	中学生の子ども	高校生以上(大学生まで)の子ども	高齢や障害などで日常的に介護や看護を必要とする方	あてはまる人はいない
全体(N=1454)	7.4	11.5	7.8	13.3	10.5	59.0
【年齢別】						
29歳以下(n=225)	6.2	7.6	8.9	31.1	5.8	54.2
30代(n=184)	33.7	29.3	6.5	3.3	9.2	39.7
40代(n=210)	11.9	31.0	20.5	23.3	9.0	37.6
50代(n=242)	1.2	5.0	6.6	18.2	9.9	63.6
60代(n=254)	0.4	0.8	2.4	4.3	12.6	77.2
70歳以上(n=334)	0.6	5.1	5.1	4.2	14.1	68.6

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計（年齢別など）において最も高い割合を示している。
但し、回答割合が10%未満の項目及び「その他」については網掛けしていない。
また「無回答」は表記から省略している。（本報告書においては、以下同様）

【時系列比較】

前回調査結果と比べ、「あてはまる人はいない」が増加している。



6 居住歴

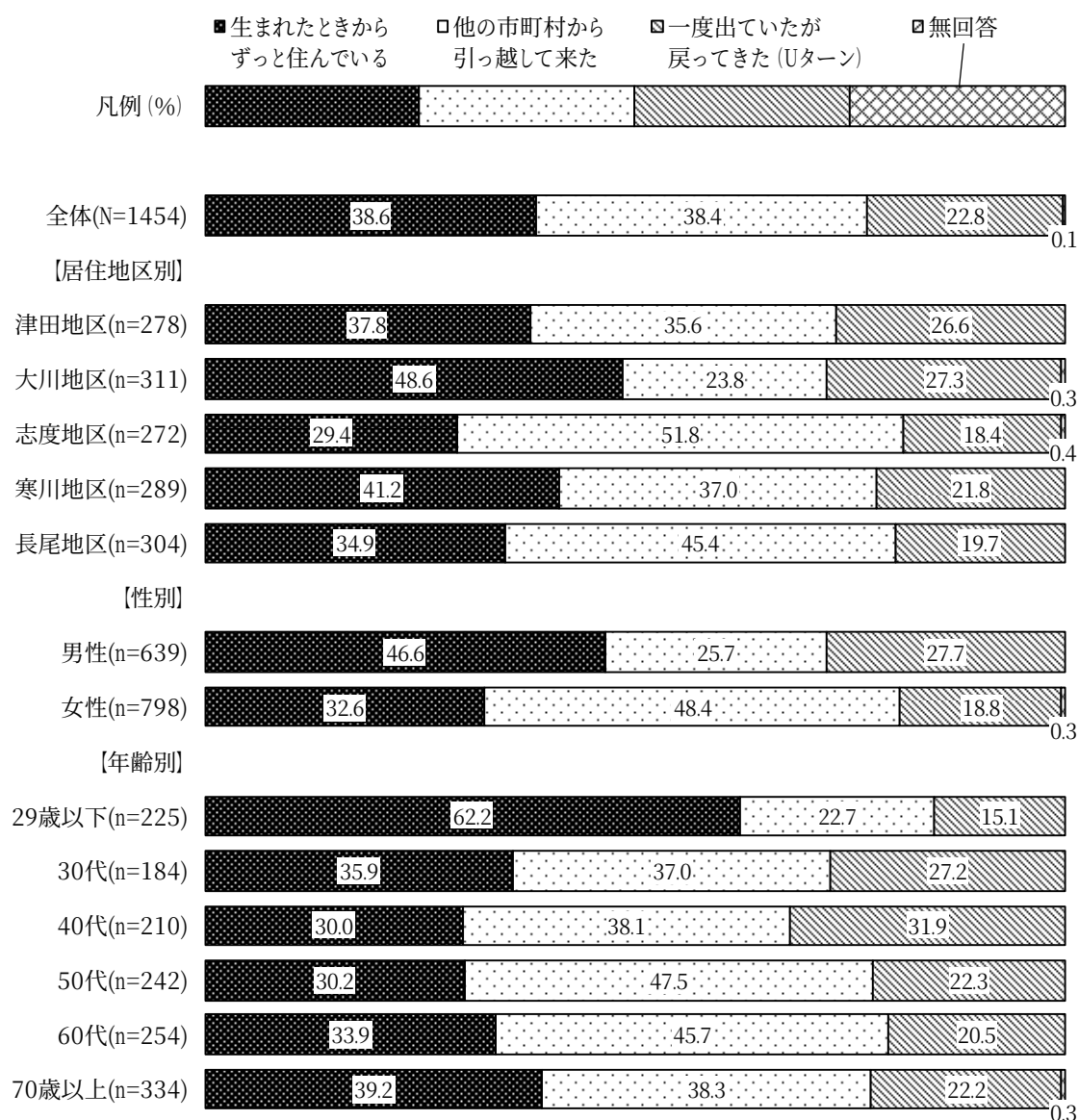
問7 あなたは、生まれたときからずっとさぬき市に住んでいますか。（回答は1つ）

居住歴については、「生まれたときからずっと住んでいる」の割合が38.6%と最も高く、ほぼ並んで「他の市町村から引っ越して来た」（38.4%）が続き、「一度出ていたが戻ってきた（Uターン）」は22.8%となっている。

居住地区別では、大川地区で「生まれたときからずっと住んでいる」、志度地区で「他の市町村から引っ越して来た」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

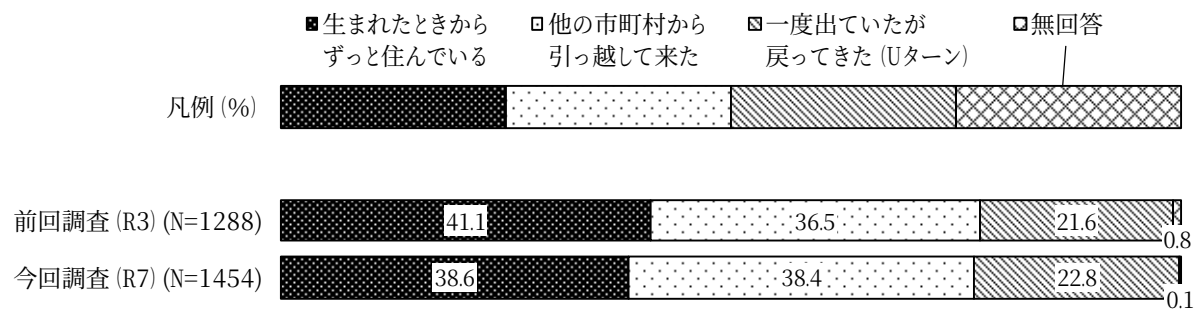
性別では、男性は女性に比べて「生まれたときからずっと住んでいる」「一度出ていたが戻ってきた（Uターン）」の割合が高く、女性は「他の市町村から引っ越して来た」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、29歳以下で「生まれたときからずっと住んでいる」、40代で「一度出ていたが戻ってきた（Uターン）」、50～60代で「他の市町村から引っ越して来た」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



【時系列比較】

前回調査結果と比べ、大きな変化はみられない。



Ⅲ 調査結果

【1】さぬき市について

1 さぬき市への愛着度

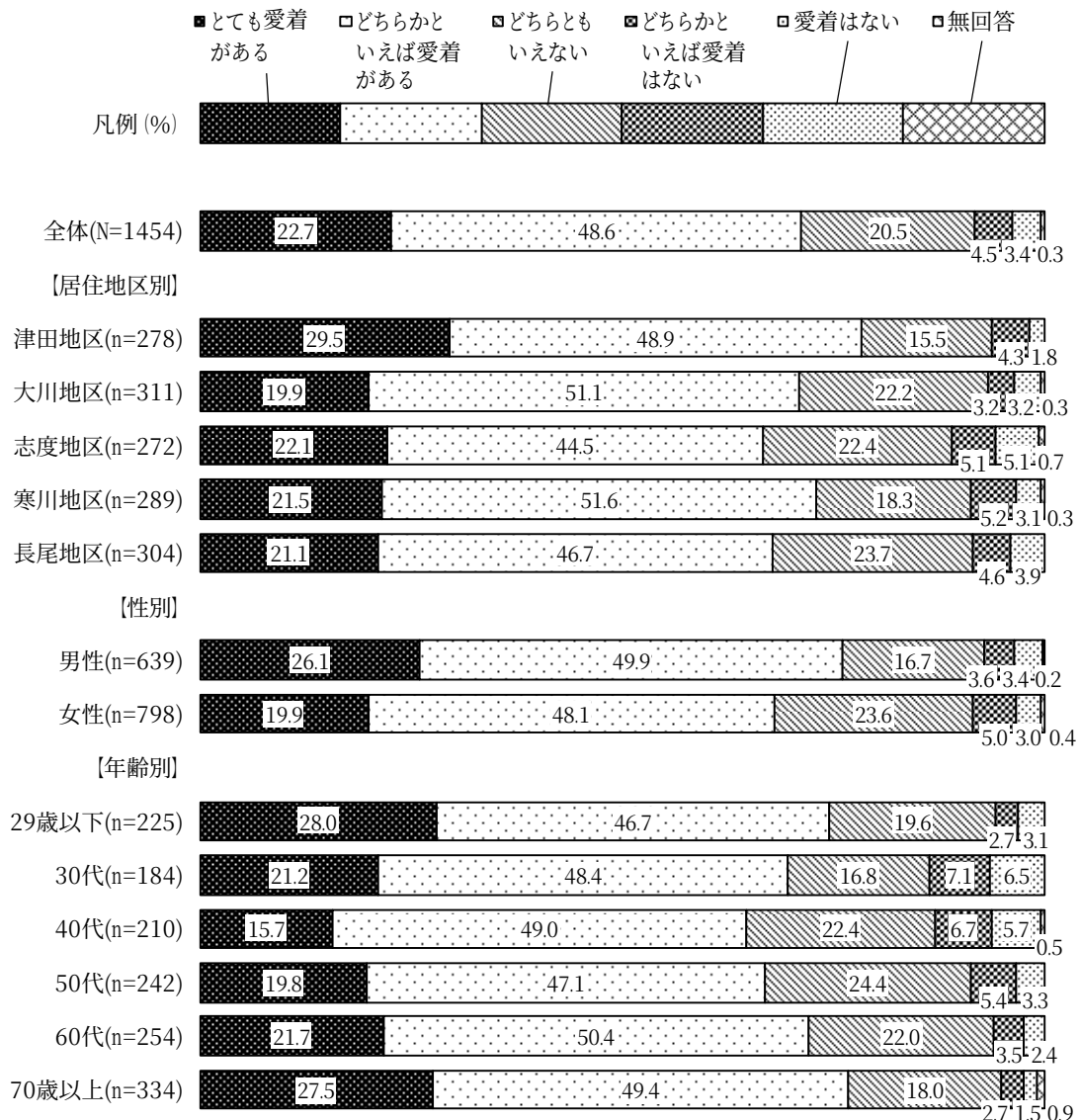
問8 あなたは、さぬき市に愛着がありますか。（回答は1つ）

さぬき市への愛着度については、「とても愛着がある」が22.7%、「どちらかといえば愛着がある」が48.6%、合計で約7割（71.3%）が『愛着がある』と回答している。一方、「どちらかといえば愛着はない」（4.5%）、「愛着はない」（3.4%）の合計は7.9%となっている。

居住地区別では、津田地区で「とても愛着がある」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は女性に比べて「とても愛着がある」の割合が高く、女性は「どちらともいえない」の割合が男性を上回っている。

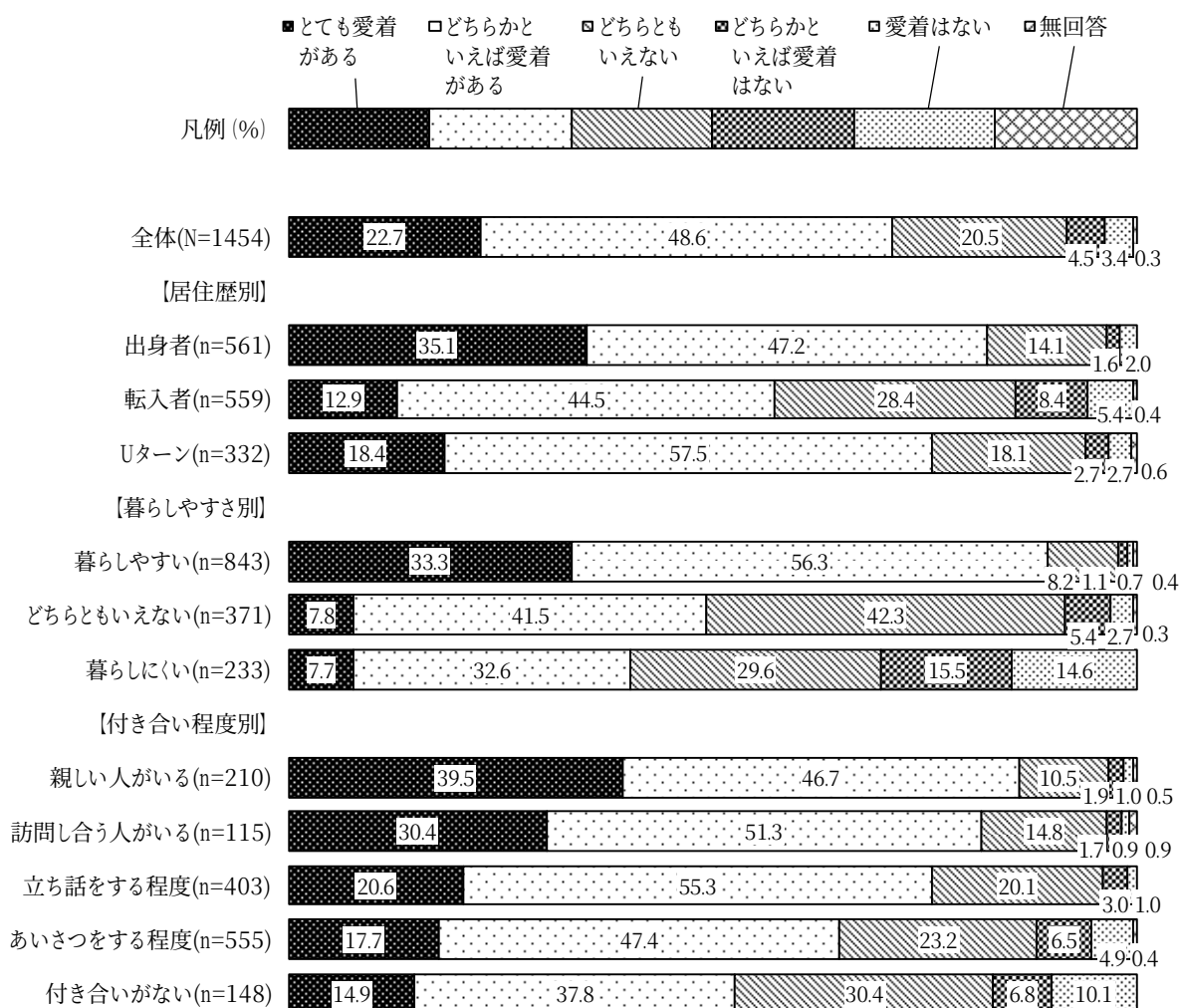
年齢別では、29歳以下や70歳以上で「とても愛着がある」、30～40代で『愛着はない（合計）』の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



居住歴別（問7）では、出身者で「とても愛着がある」、転入者で「どちらともいえない」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

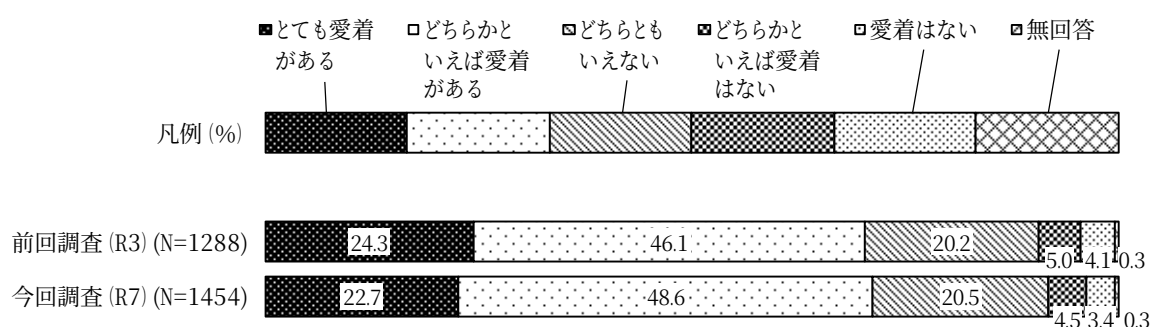
暮らしやすさ別（問9）では、暮らしやすいと回答した層で『愛着がある（合計）』、暮らしにくいと回答した層で『愛着はない（合計）』の割合がそれぞれ他の層を大きく上回っている。

付き合い程度別（問15）では、付き合いが親しい層ほど「とても愛着がある」の割合が高くなっている。



【時系列比較】

前回調査結果と比べ、大きな変化はみられない。



2 暮らしやすさ

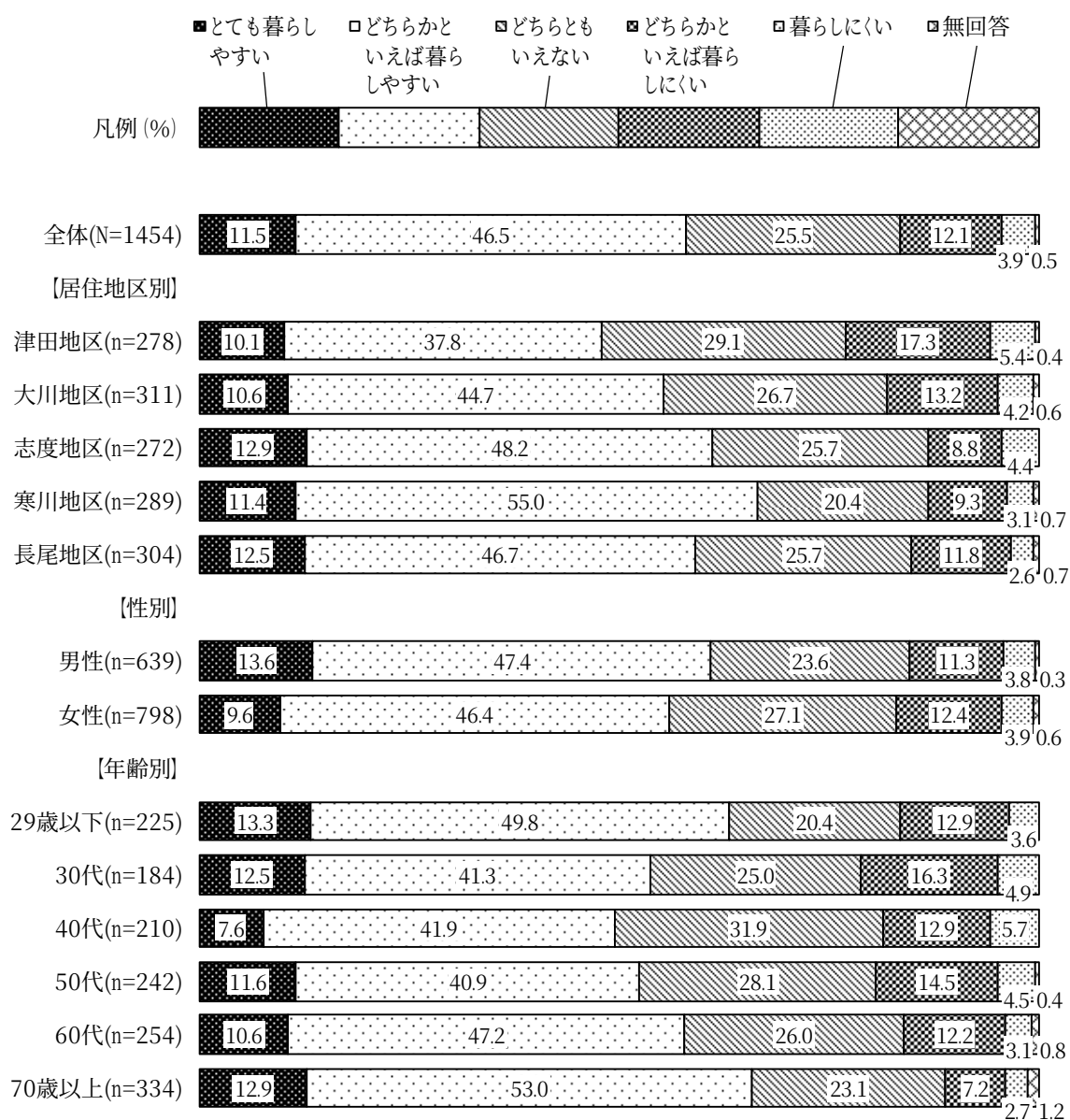
問9 さぬき市は暮らしやすいまちだと思いますか。（回答は1つ）

暮らしやすさについては、「とても暮らしやすい」が11.5%、「どちらかといえば暮らしやすい」が46.5%、合計で約6割（58.0%）が『暮らしやすい』と回答している。一方、「どちらかといえば暮らしにくい」（12.1%）、「暮らしにくい」（3.9%）の合計は16.0%となっている。

居住地区別では、寒川地区で『暮らしやすい（合計）』、津田地区で『暮らしにくい（合計）』の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

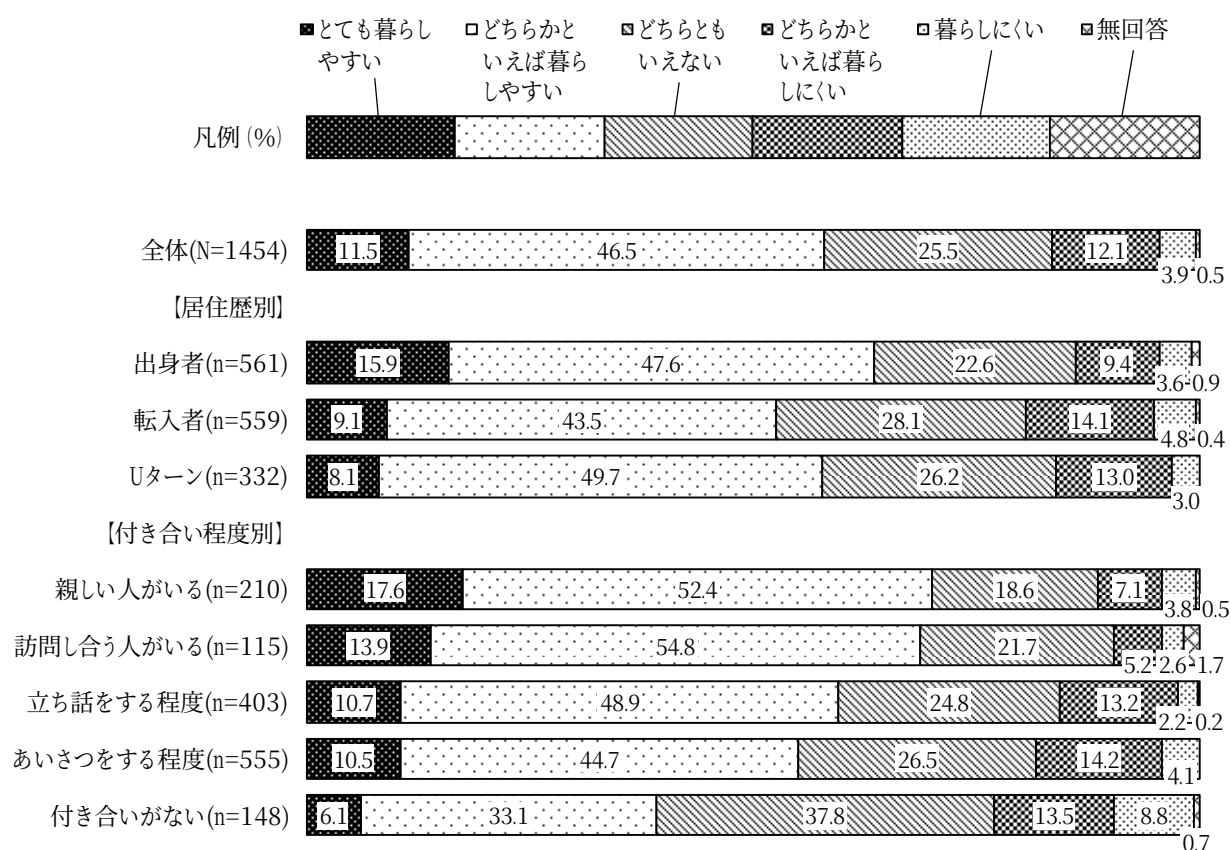
性別では、男性は女性に比べて「とても暮らしやすい」の割合がやや高くなっている。

年齢別では、29歳以下や70歳以上で『暮らしやすい（合計）』の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



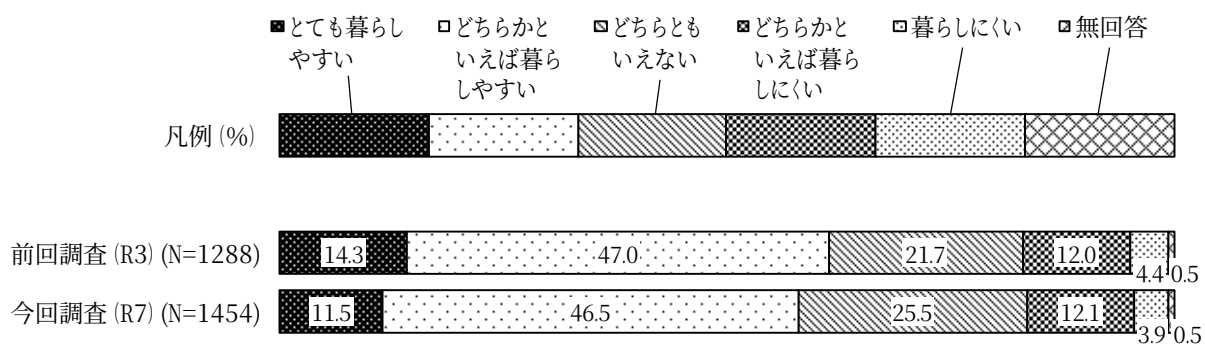
居住歴別では、出身者で「とても暮らしやすい」の割合が他の層に比べて高くなっている。

付き合い程度別では、付き合いが親しい層ほど『暮らしやすい（合計）』の割合が高くなっている。



【時系列比較】

前回調査結果と比べ、「どちらともいえない」がやや増加している。



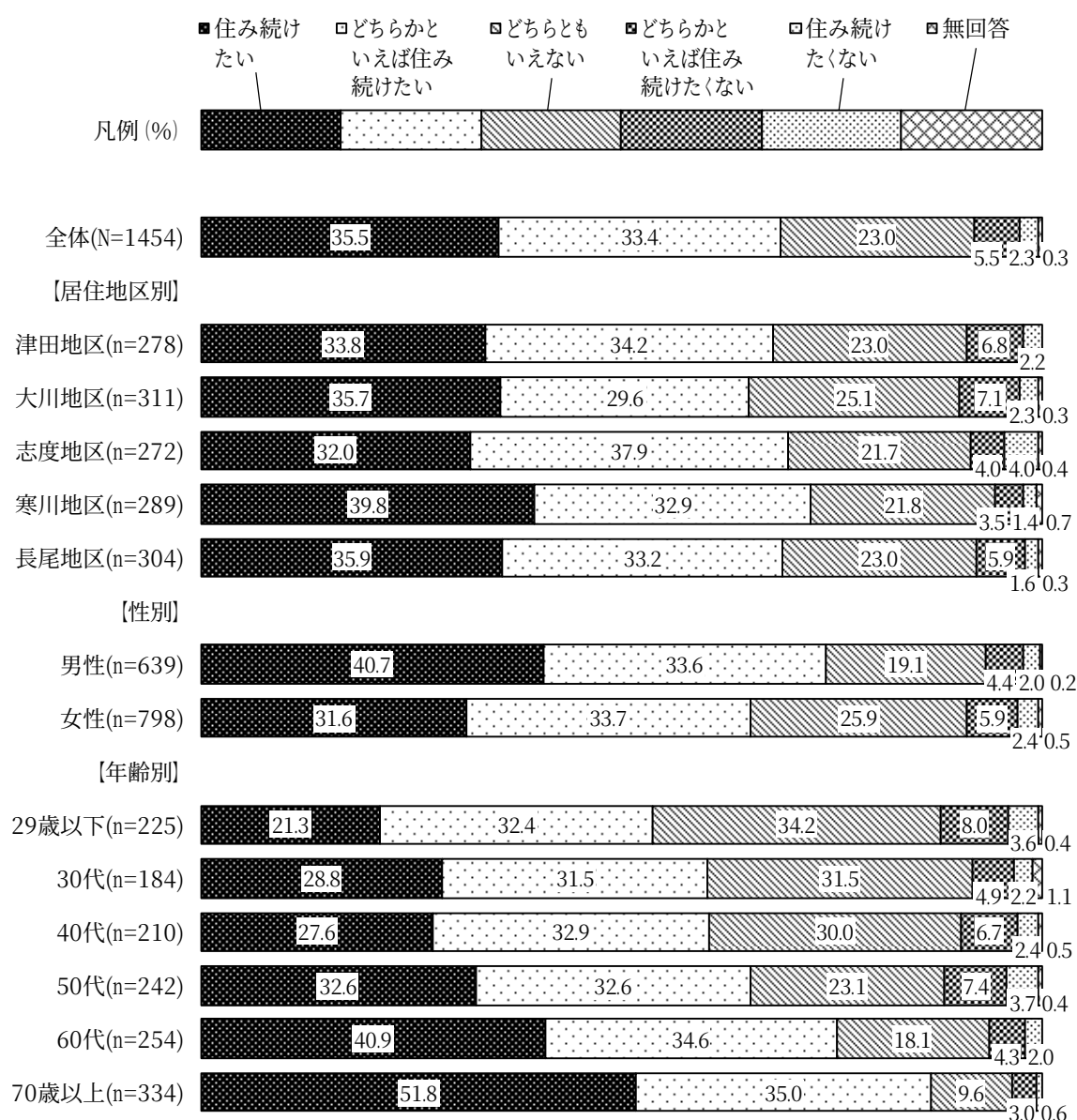
3 永住意向

問 10 あなたは、これからもさぬき市に住み続けたいと思いますか。（回答は1つ）

永住意向については、「住み続けたい」が 35.5%、「どちらかといえば住み続けたい」が 33.4%、合計で約 7 割（68.9%）が『住み続けたい』と回答している。一方、「どちらかといえば住み続けたくない」（5.5%）、「住み続けたくない」（2.3%）の合計は 7.8% となっている。

居住地区別では大きな差はみられないが、性別では、男性は女性に比べて「住み続けたい」の割合が高く、女性は「どちらともいえない」の割合が男性を上回っている。

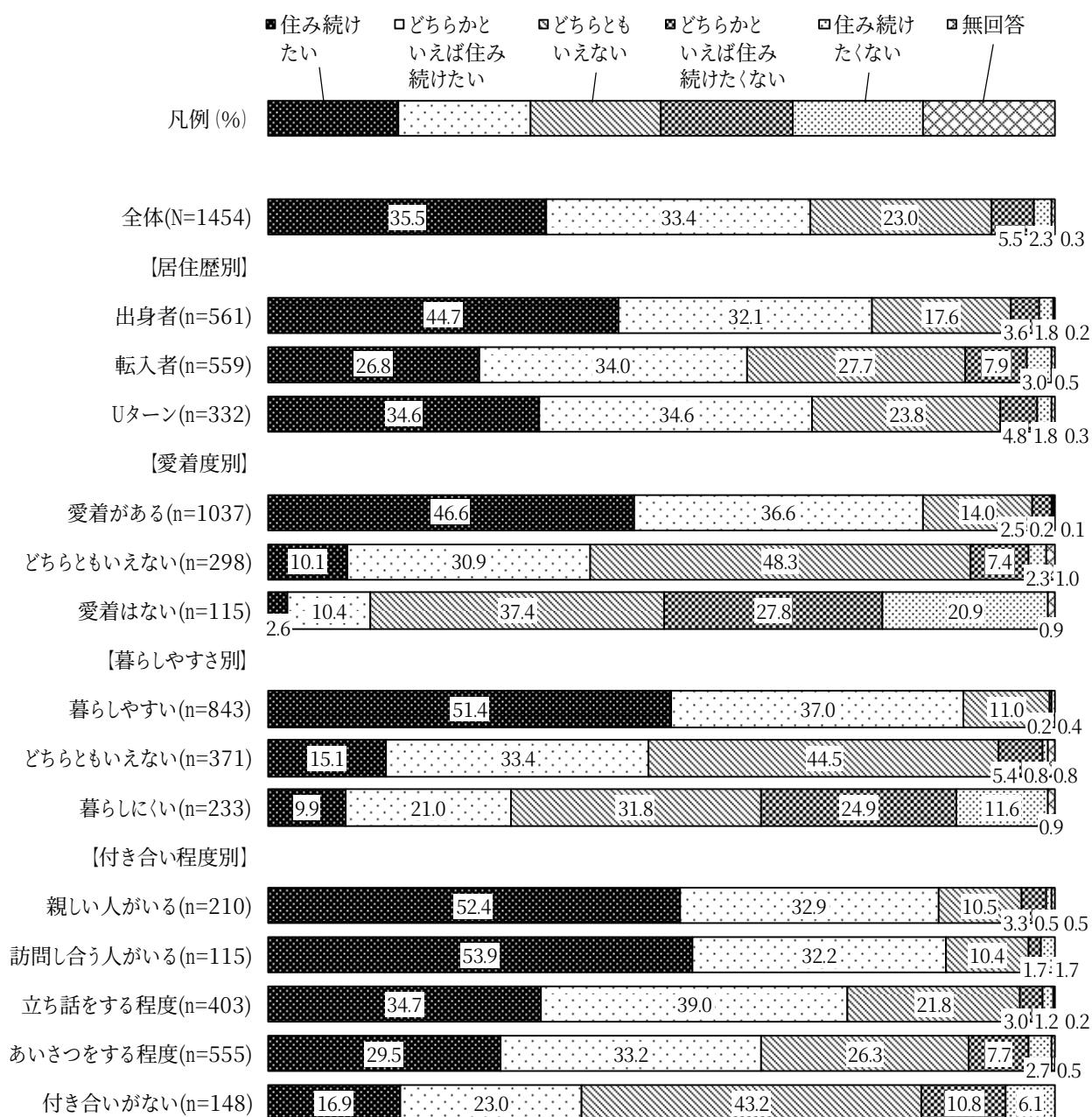
年齢別では、年齢が上がるほど『住み続けたい（合計）』の割合が高くなっている。



居住歴別では、出身者で「住み続けたい」の割合が他の層を大きく上回っている。

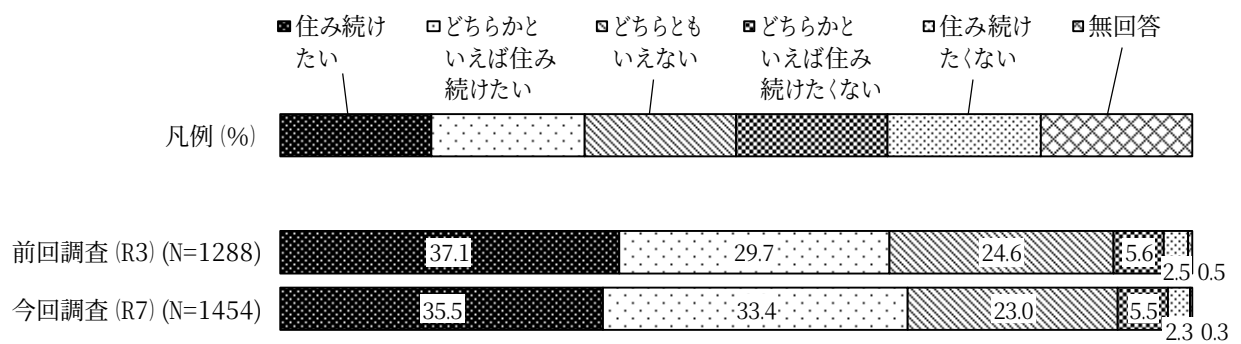
愛着度別（問8）では愛着がある層で、暮らしやすさ別では暮らしやすいと回答した層で、それぞれ「住み続けたい」の割合が他の層を大きく上回っている。

付き合い程度別では、付き合いが親しい層で「住み続けたい」、付き合いがない層で「どちらともいえない」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。



【時系列比較】

前回調査結果と比べ、大きな変化はみられない。

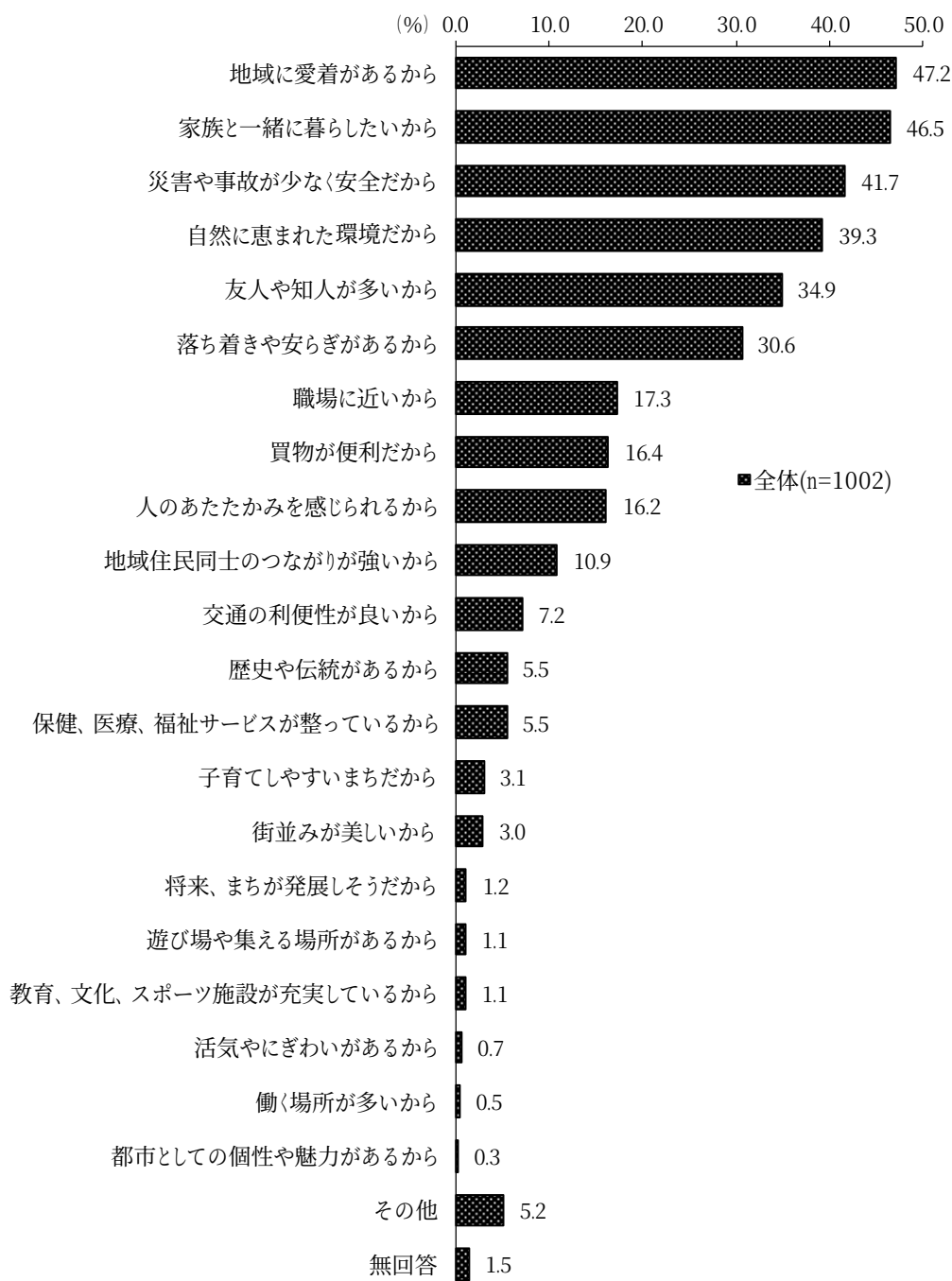


4 住み続けたい理由

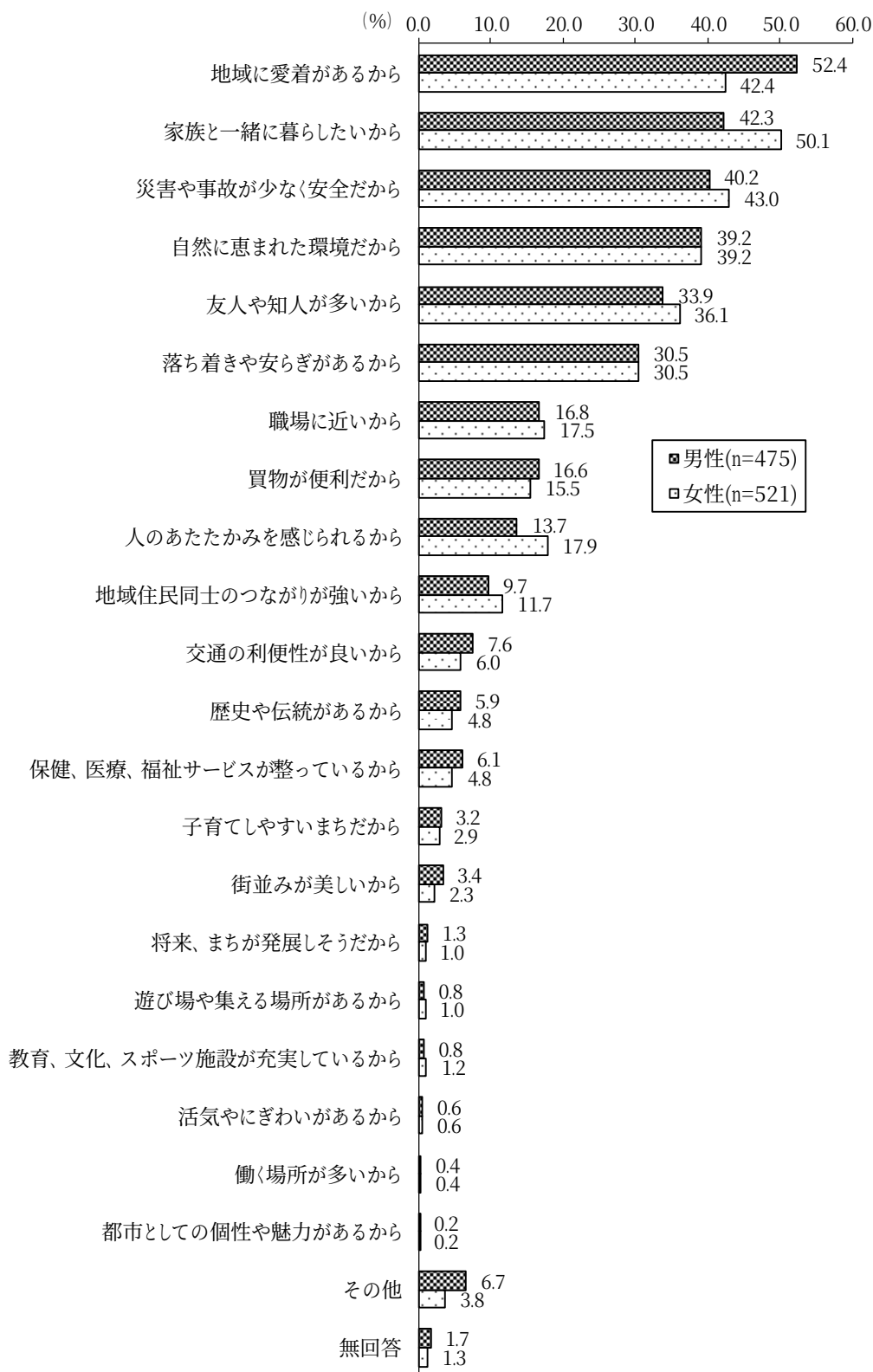
【問 10 で「1～2（住み続けたい）」と答えた方におたずねします。】

問 11 住み続けたいと思う理由は何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

住み続けたい理由については、「地域に愛着があるから」の割合が 47.2%と最も高く、ほぼ並んで「家族と一緒に暮らしたいから」（46.5%）が続き、以下「災害や事故が少なく安全だから」（41.7%）、「自然に恵まれた環境だから」（39.3%）、「友人や知人が多いから」（34.9%）の順となっている。



性別では、男性は女性に比べて「地域に愛着があるから」の割合が高く、女性は「家族と一緒に暮らしたいから」「人のあたたかみを感じられるから」などの割合が男性を上回っている。



居住地区別では、津田地区で「地域に愛着があるから」「自然に恵まれた環境だから」、志度地区で「買物が便利だから」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

単位 (%)	地域に愛着があるから	家族と一緒に暮らしたいから	災害や事故が少なく安全だから	自然に恵まれた環境だから	友人や知人が多いから	落ち着きや安らぎがあるから	職場に近いから	買物が便利だから	人のあたたかみを感じられるから	地域住民同士のつながりが強いから	交通の利便性が良いから	歴史や伝統があるから
全体(n=1002)	47.2	46.5	41.7	39.3	34.9	30.6	17.3	16.4	16.2	10.9	7.2	5.5
【居住地区別】												
津田地区(n=189)	55.0	46.0	38.6	49.2	39.2	36.5	18.5	5.8	18.0	14.8	5.3	5.3
大川地区(n=203)	47.3	50.2	46.8	42.9	32.0	34.5	17.2	8.9	16.3	11.8	2.5	4.9
志度地区(n=190)	42.1	44.2	36.8	34.2	30.0	25.3	11.1	27.9	17.4	6.8	12.1	10.0
寒川地区(n=210)	46.2	43.8	41.9	36.2	39.5	25.7	18.6	20.0	15.2	10.5	3.3	3.3
長尾地区(n=210)	45.7	48.1	43.8	34.8	33.8	31.4	20.5	19.0	14.3	10.5	12.9	4.3

単位（％）	サービスが整っているから	保健、医療、福祉	子育てしやすいまちだから	街並みが美しいから	将来、まちが発展しそうだから	遊び場や集える場所があるから	スポーツ施設が充実しているから	教育、文化、スポーツ	活気やにぎわいがあるから	働く場所が多いから	都市としての個性や魅力があるから	その他
全体(n=1002)	5.5	3.1	3.0	1.2	1.1	1.1	0.7	0.5	0.3	5.2		
【居住地区別】												
津田地区(n=189)	4.2	3.2	7.4	2.6	1.1	1.6	1.6	1.1	0.5	7.4		
大川地区(n=203)	3.4	2.5	1.5	0.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	3.9		
志度地区(n=190)	7.4	4.2	3.2	2.1	1.6	0.5	0.5	0.0	1.1	6.3		
寒川地区(n=210)	7.1	1.4	1.9	0.5	0.5	1.4	0.5	1.0	0.0	6.7		
長尾地区(n=210)	5.2	4.3	1.4	1.0	1.4	1.4	1.0	0.5	0.0	1.9		

年齢別では、29歳以下や70歳以上で「地域に愛着があるから」、29歳以下で「落ち着きや安らぎがあるから」、30～40代で「家族と一緒に暮らしたいから」、70歳以上で「災害や事故が少なく安全だから」「友人や知人が多いから」などの割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

居住歴別では、出身者で「地域に愛着があるから」「災害や事故が少なく安全だから」「友人や知人が多いから」などの割合が他の層に比べて高くなっている。

単位 (%)	地域に愛着があるから	家族と一緒に暮らしたいから	災害や事故が少なく安全だから	自然に恵まれた環境だから	友人や知人が多いから	落ち着きや安らぎがあるから	職場に近いから	買物が便利だから	じられるから	人のあたたかみを感じるから	地域住民同士のつながりが強いから	交通の利便性が良いから	歴史や伝統があるから
全体(n=1002)	47.2	46.5	41.7	39.3	34.9	30.6	17.3	16.4	16.2	10.9	7.2	5.5	
【年齢別】													
29歳以下(n=121)	53.7	45.5	33.1	28.1	37.2	38.8	19.0	8.3	14.0	9.1	3.3	1.7	
30代(n=111)	42.3	61.3	27.0	38.7	22.5	31.5	29.7	20.7	22.5	9.9	10.8	7.2	
40代(n=127)	40.9	63.0	27.6	38.6	25.2	29.9	24.4	7.1	12.6	4.7	4.7	6.3	
50代(n=158)	43.7	48.1	39.9	34.8	30.4	25.3	26.6	13.9	10.8	7.0	5.7	5.1	
60代(n=192)	46.4	41.7	44.8	43.2	34.9	30.7	12.5	15.6	16.7	11.5	7.3	6.8	
70歳以上(n=290)	51.7	36.6	55.5	44.5	45.5	30.3	6.9	23.8	18.6	16.2	9.0	5.5	
【居住歴別】													
出身者(n=431)	61.0	45.2	45.9	38.1	42.7	34.3	19.0	14.4	14.8	13.0	6.7	5.6	
転入者(n=340)	29.1	45.6	38.2	37.4	25.0	26.8	15.0	20.0	16.8	6.8	7.4	5.3	
Uターン(n=230)	47.8	50.4	39.1	44.8	35.2	29.6	17.4	14.8	17.8	13.0	7.8	5.7	

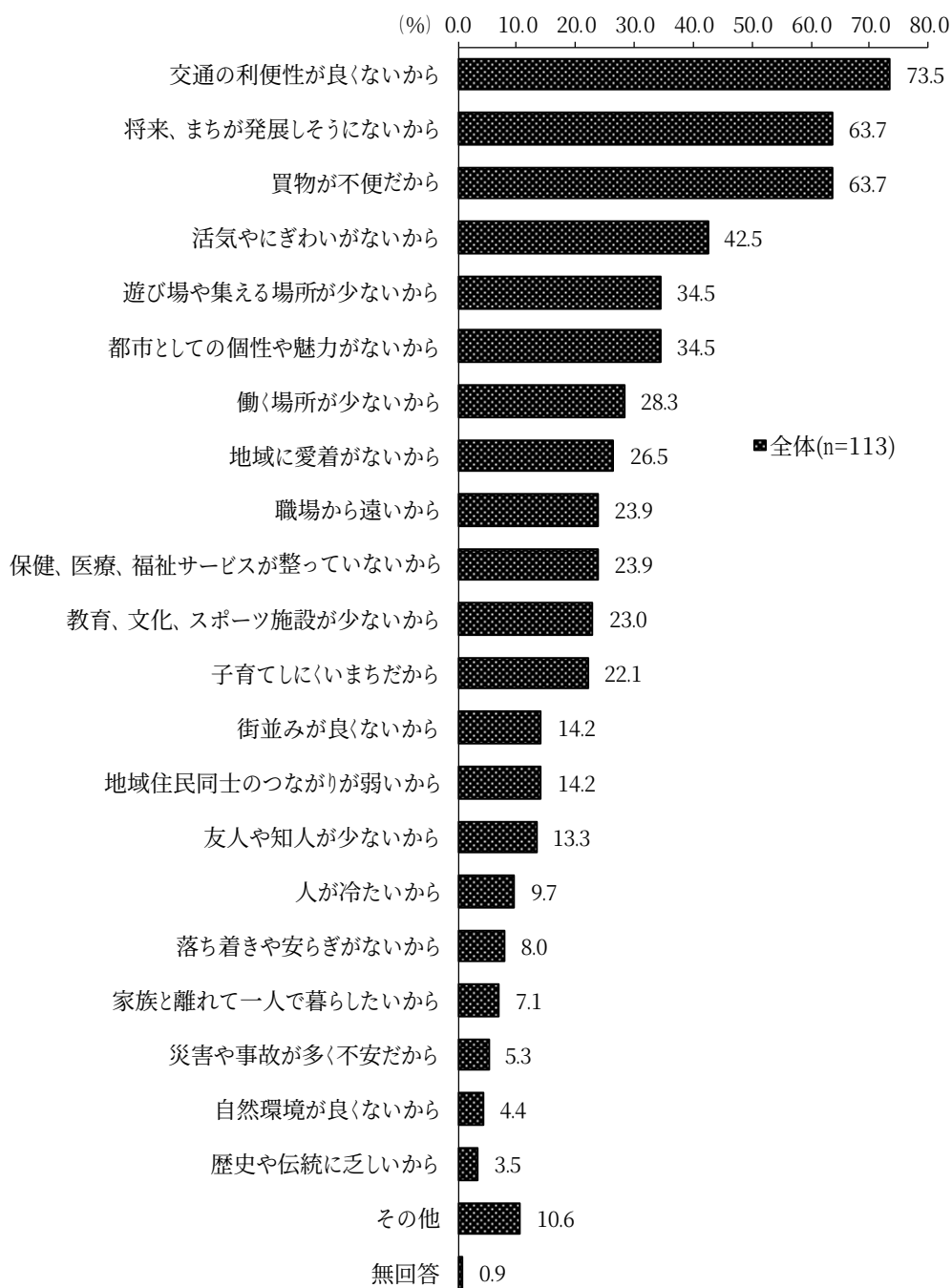
単位 (%)	サービスが整っているから	保健、医療、福祉	子育てしやすいまちだから	街並みが美しいから	将来、まちが発展しそうだから	遊び場や集える場所があるから	スポーツ施設が充実しているから	教育、文化、スポーツ	活気やにぎわいがあるから	働く場所が多いから	魅力があるから	都市としての個性や	その他
全体(n=1002)	5.5	3.1	3.0	1.2	1.1	1.1	0.7	0.5	0.3	5.2			
【年齢別】													
29歳以下(n=121)	1.7	4.1	0.8	0.8	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	2.5			
30代(n=111)	2.7	5.4	2.7	2.7	0.9	0.0	0.9	1.8	0.0	6.3			
40代(n=127)	2.4	4.7	4.7	2.4	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	6.3			
50代(n=158)	5.7	3.8	4.4	0.6	1.9	1.3	1.9	0.6	1.3	5.1			
60代(n=192)	5.7	1.0	2.6	1.0	0.0	1.0	0.5	0.0	0.0	5.7			
70歳以上(n=290)	9.3	2.1	2.8	0.7	2.4	1.7	0.7	0.3	0.3	5.2			
【居住歴別】													
出身者(n=431)	5.6	1.9	2.6	0.9	1.4	0.9	0.9	0.5	0.0	4.6			
転入者(n=340)	5.6	4.7	2.9	1.8	1.2	0.9	0.6	0.6	0.6	5.3			
Uターン(n=230)	5.2	3.0	3.9	0.9	0.4	1.7	0.4	0.4	0.4	6.1			

5 住み続けたくない理由

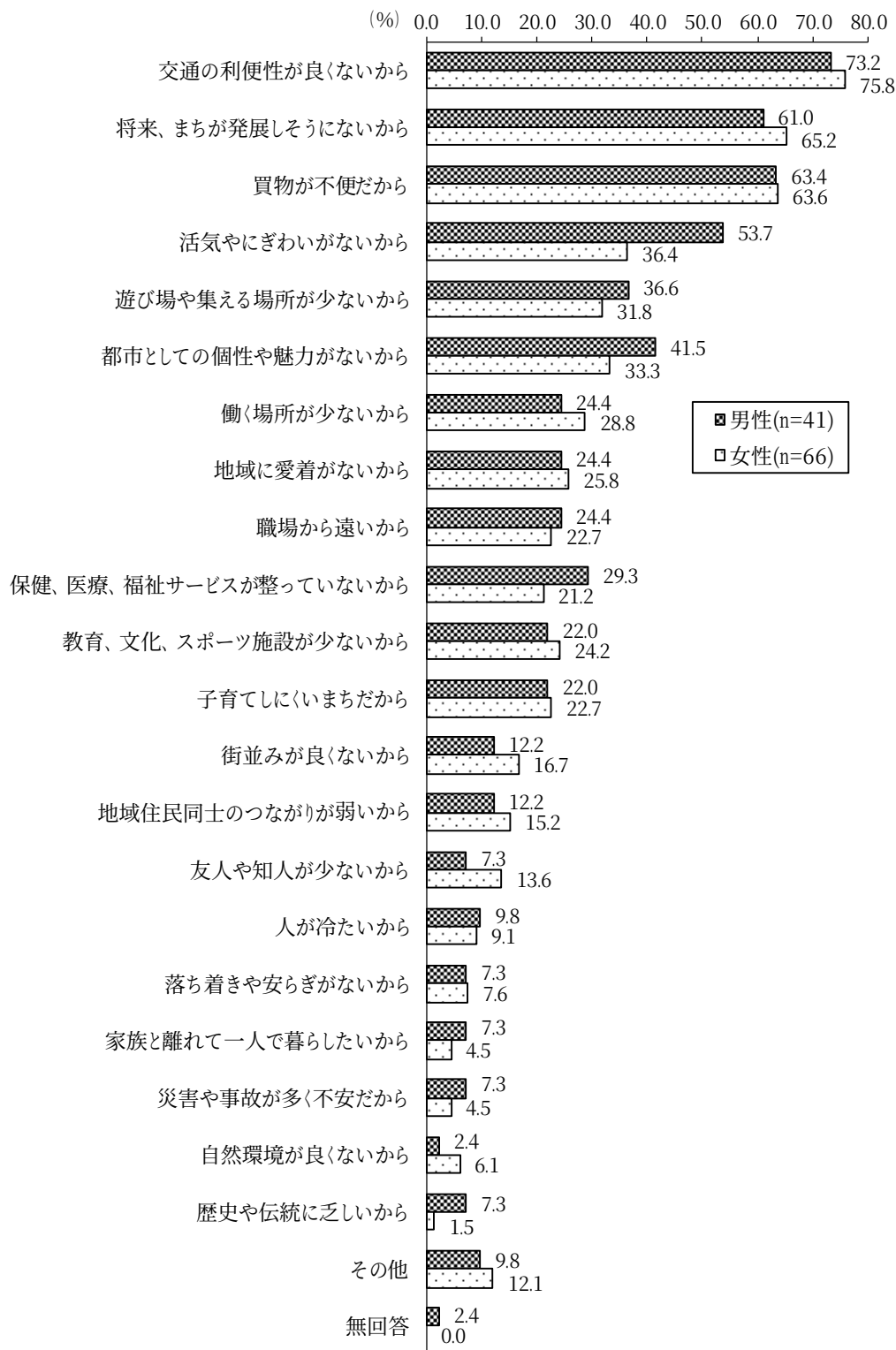
【問10で「4～5（住み続けたくない）」と答えた方におたずねします。】

問12 住み続けたくないと思う理由は何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

住み続けたくない理由については、「交通の利便性が良くないから」の割合が73.5%と最も高く、次いで「将来、まちが発展しそうにないから」「買物が不便だから」（各63.7%）、「活気やにぎわいがいいから」（42.5%）、「遊び場や集える場所が少ないから」「都市としての個性や魅力がないから」（各34.5%）の順となっている。



性別では、男性は女性に比べて「活気やにぎわいがないから」「都市としての個性や魅力がないから」「保健、医療、福祉サービスが整っていないから」などの割合が高くなっている。



居住地区別では、津田地区や大川地区で「交通の利便性が良くないから」「買物が不便だから」、大川地区で「遊び場や集える場所が少ないから」、志度地区で「将来、まちが発展しそうにないから」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

単位 (%)	交通の利便性が良くないから	将来、まちが発展しそうにないから	買物が不便だから	活気やにぎわいが少ないから	遊び場や集える場所が少ないから	都市としての個性や魅力がないから	働く場所が少ないから	地域に愛着がないから	職場から遠いから	保健、医療、福祉サービスが整っていないから	教育、文化、スポーツ施設が少ないから
全体(n=113)	73.5	63.7	63.7	42.5	34.5	34.5	28.3	26.5	23.9	23.9	23.0
【居住地区別】											
津田地区(n=25)	80.0	64.0	80.0	48.0	28.0	24.0	32.0	32.0	20.0	32.0	24.0
大川地区(n=29)	93.1	62.1	79.3	34.5	41.4	27.6	27.6	20.7	24.1	20.7	24.1
志度地区(n=22)	63.6	72.7	40.9	45.5	36.4	45.5	31.8	31.8	31.8	27.3	27.3
寒川地区(n=14)	64.3	64.3	35.7	42.9	28.6	42.9	14.3	28.6	14.3	7.1	7.1
長尾地区(n=23)	56.5	56.5	65.2	43.5	34.8	39.1	30.4	21.7	26.1	26.1	26.1

単位（％）	子育てしにくいまちだから	街並みが良くないから	地域住民同士のつながりが弱いから	友人や知人が少ないから	人が冷たいから	落ち着きや安らぎがないから	家族と離れて一人暮らしから	災害や事故が多く不安だから	自然環境が良くないから	歴史や伝統に乏しいから	その他
全体(n=113)	22.1	14.2	14.2	13.3	9.7	8.0	7.1	5.3	4.4	3.5	10.6
【居住地区別】											
津田地区(n=25)	20.0	20.0	8.0	12.0	4.0	8.0	0.0	4.0	4.0	4.0	16.0
大川地区(n=29)	27.6	20.7	10.3	3.4	10.3	10.3	13.8	3.4	3.4	0.0	10.3
志度地区(n=22)	31.8	13.6	22.7	22.7	18.2	9.1	4.5	4.5	0.0	4.5	18.2
寒川地区(n=14)	14.3	0.0	7.1	14.3	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
長尾地区(n=23)	13.0	8.7	21.7	17.4	13.0	4.3	13.0	13.0	13.0	8.7	4.3

年齢別では、30代以下で「遊び場や集える場所が少ないから」「働く場所が少ないから」、30代で「子育てしにくいまちだから」、40代で「将来、まちが発展しそうにないから」「買物が不便だから」、50代で「交通の利便性が良くないから」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

居住歴別では、出身者で「将来、まちが発展しそうにないから」「買物が不便だから」などの割合が他の層に比べて高くなっている。

単位 (%)	交通の利便性が良くないから	将来、まちが発展しそうにないから	買物が不便だから	活気やにぎわいが少ないから	遊び場や集える場所が少ないから	都市力がないから個性や魅力がでないから	働く場所が少ないから	地域に愛着がないから	職場から遠いから	安全、健康、医療、福祉サービスが整っていないから	保健、医療、福祉サービスが整っていないから	教育、文化、スポーツ施設が少ないから
全体(n=113)	73.5	63.7	63.7	42.5	34.5	34.5	28.3	26.5	23.9	23.9	23.0	23.0
【年齢別】												
29歳以下(n=26)	76.9	53.8	65.4	26.9	61.5	38.5	38.5	23.1	26.9	15.4	19.2	19.2
30代(n=13)	69.2	53.8	61.5	46.2	61.5	38.5	38.5	0.0	38.5	15.4	30.8	30.8
40代(n=19)	73.7	78.9	73.7	57.9	42.1	36.8	31.6	31.6	36.8	36.8	31.6	31.6
50代(n=27)	85.2	63.0	66.7	55.6	14.8	37.0	25.9	25.9	25.9	29.6	22.2	22.2
60代(n=16)	75.0	68.8	56.3	37.5	18.8	37.5	12.5	43.8	6.3	25.0	31.3	31.3
70歳以上(n=12)	41.7	66.7	50.0	25.0	0.0	8.3	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0
【居住歴別】												
出身者(n=30)	73.3	70.0	73.3	46.7	53.3	50.0	43.3	13.3	26.7	26.7	23.3	23.3
転入者(n=61)	73.8	62.3	60.7	44.3	26.2	32.8	27.9	37.7	23.0	24.6	26.2	26.2
Uターン(n=22)	72.7	59.1	59.1	31.8	31.8	18.2	9.1	13.6	22.7	18.2	13.6	13.6

単位 (%)	子育てしにくいまち	街並みが良くないから	地域住民のつながりが弱いから	友人や知人が少ないから	人が冷たいから	落ち着きや安らぎがないから	暮らした離れて一人暮らし	家族や事故が多く不安	災害や事故が多く不安	自然環境が良くないから	歴史や伝統に乏しいから	その他
全体(n=113)	22.1	14.2	14.2	13.3	9.7	8.0	7.1	5.3	4.4	3.5	10.6	10.6
【年齢別】												
29歳以下(n=26)	11.5	26.9	11.5	3.8	3.8	3.8	23.1	11.5	3.8	3.8	0.0	0.0
30代(n=13)	38.5	7.7	0.0	7.7	7.7	0.0	15.4	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0
40代(n=19)	31.6	10.5	10.5	26.3	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	21.1	21.1
50代(n=27)	33.3	7.4	7.4	7.4	18.5	11.1	0.0	3.7	3.7	0.0	18.5	18.5
60代(n=16)	12.5	18.8	25.0	18.8	12.5	6.3	0.0	12.5	6.3	12.5	12.5	12.5
70歳以上(n=12)	0.0	8.3	41.7	25.0	8.3	25.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	8.3
【居住歴別】												
出身者(n=30)	26.7	23.3	13.3	0.0	10.0	10.0	10.0	6.7	3.3	3.3	6.7	6.7
転入者(n=61)	21.3	13.1	18.0	19.7	11.5	9.8	3.3	6.6	6.6	4.9	13.1	13.1
Uターン(n=22)	18.2	4.5	4.5	13.6	4.5	0.0	13.6	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1

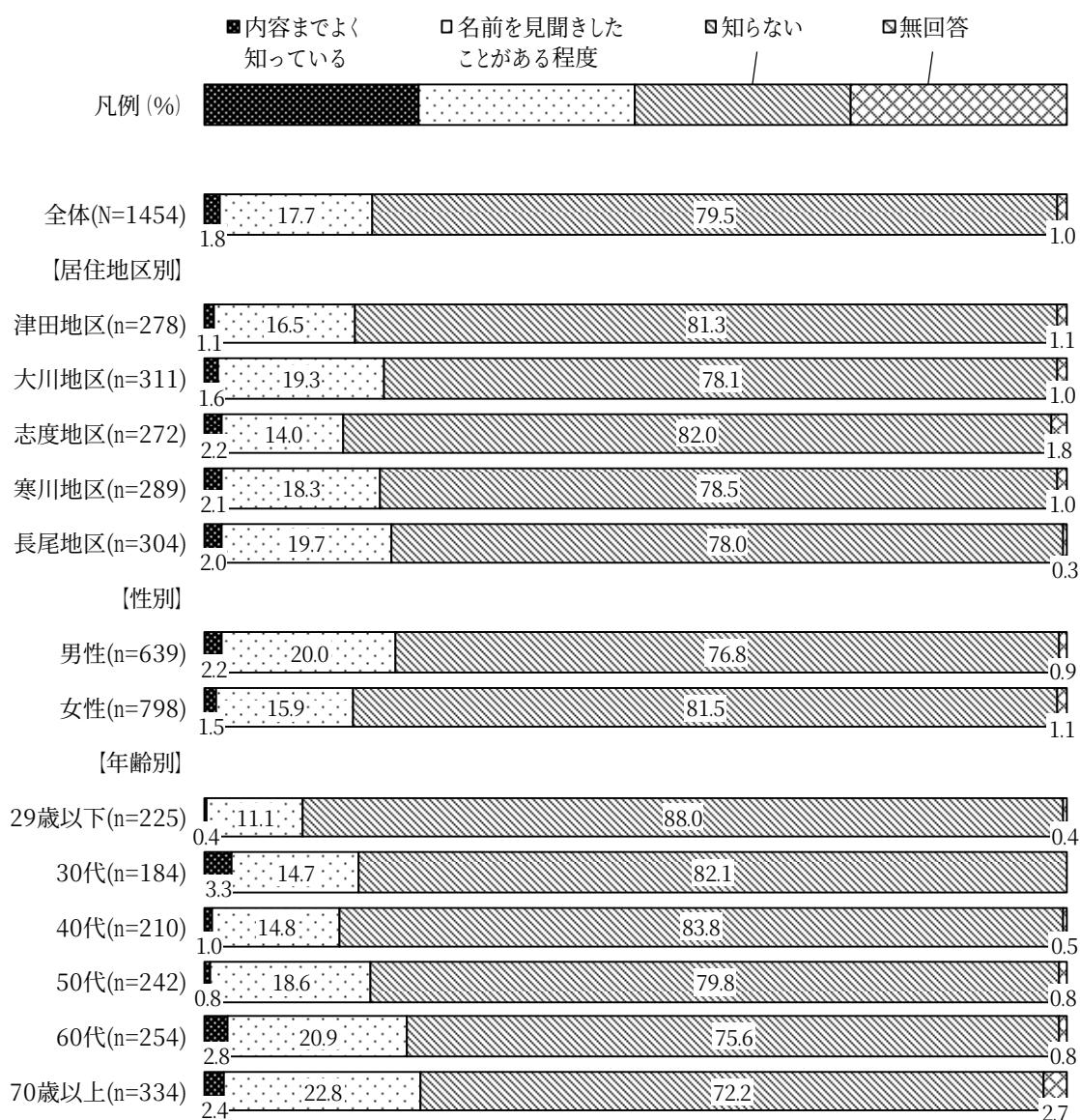
6 第2次さぬき市総合計画の認知状況

問13 あなたは、さぬき市が作成している「第2次さぬき市総合計画」をご存じですか。
(回答は1つ)

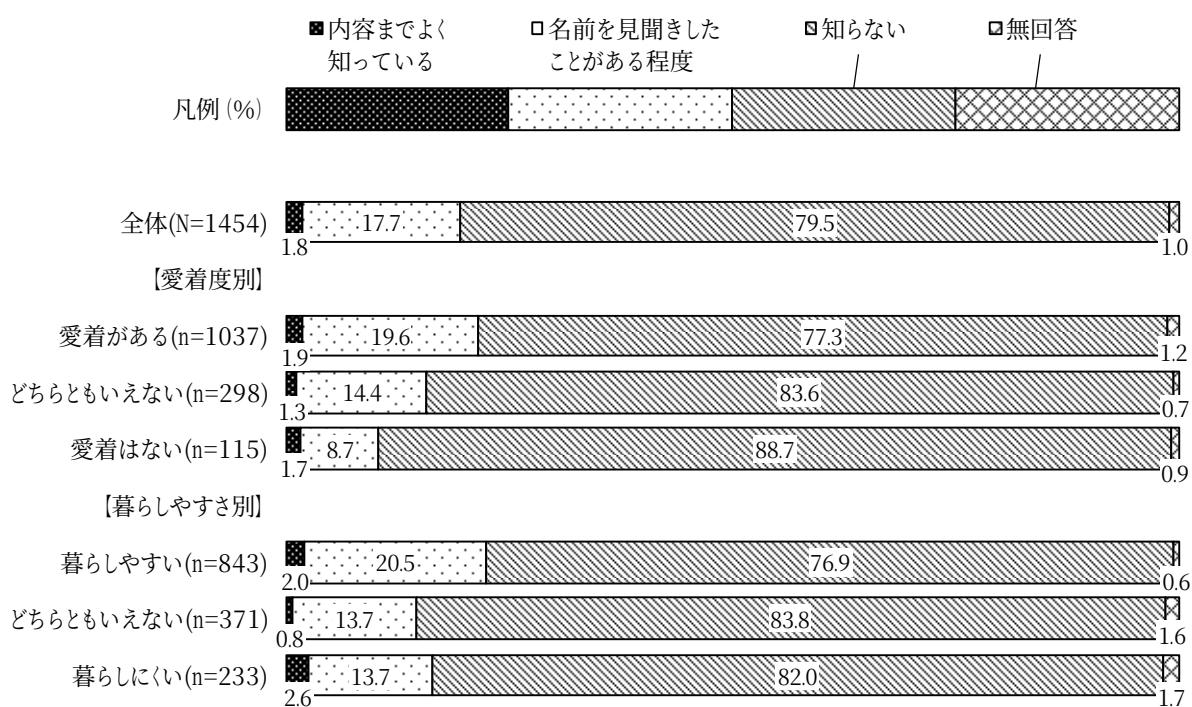
第2次さぬき市総合計画の認知状況については、「内容までよく知っている」が1.8%、「名前を見聞きしたことがある程度」が17.7%、合計で約2割(19.5%)となっている。一方、約8割(79.5%)は「知らない」と回答している。

居住地区別では大きな差はみられないが、性別では女性は男性に比べて「知らない」の割合がやや高くなっている。

年齢別では、年齢が上がるほど「名前を見聞きしたことがある程度」の割合が高くなっている。

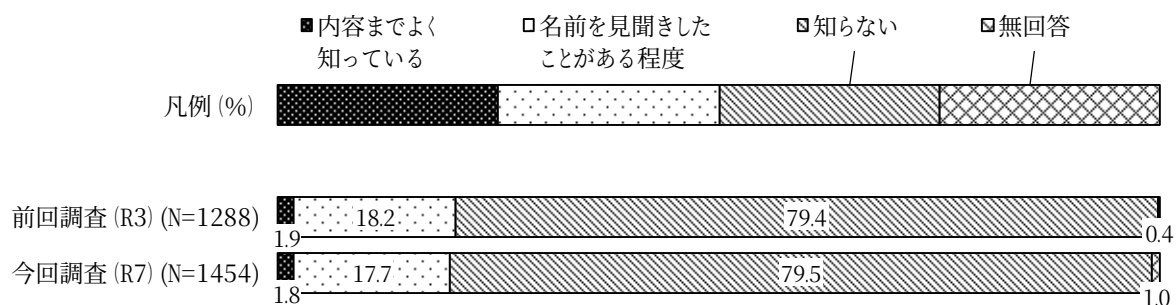


愛着度別では愛着がある層で、暮らしやすさ別では暮らしやすいと回答した層で、それぞれ「名前を見聞きしたことがある程度」の割合が他の層に比べて高くなっている。



【時系列比較】

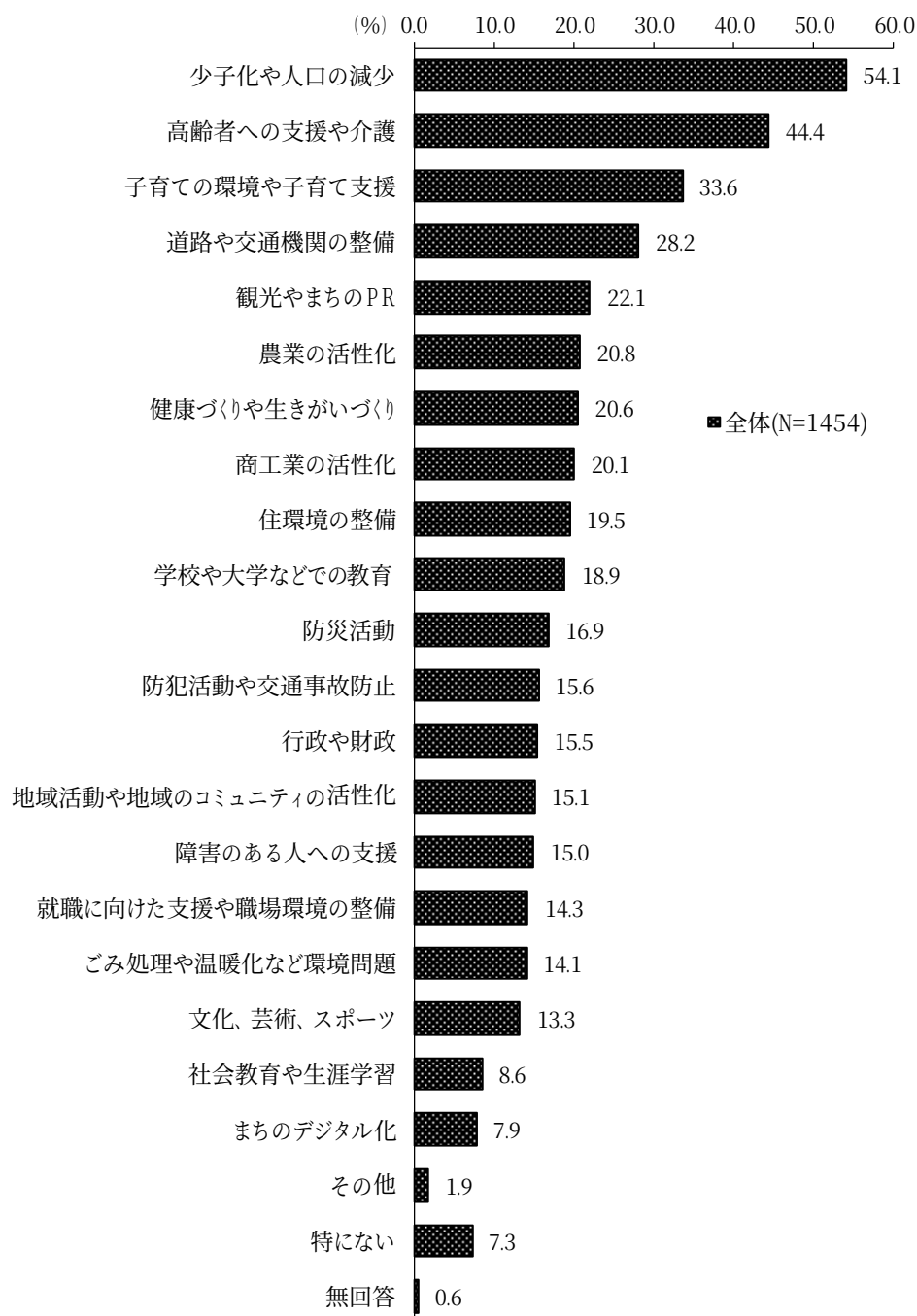
前回調査結果と比べ、大きな変化はみられない。



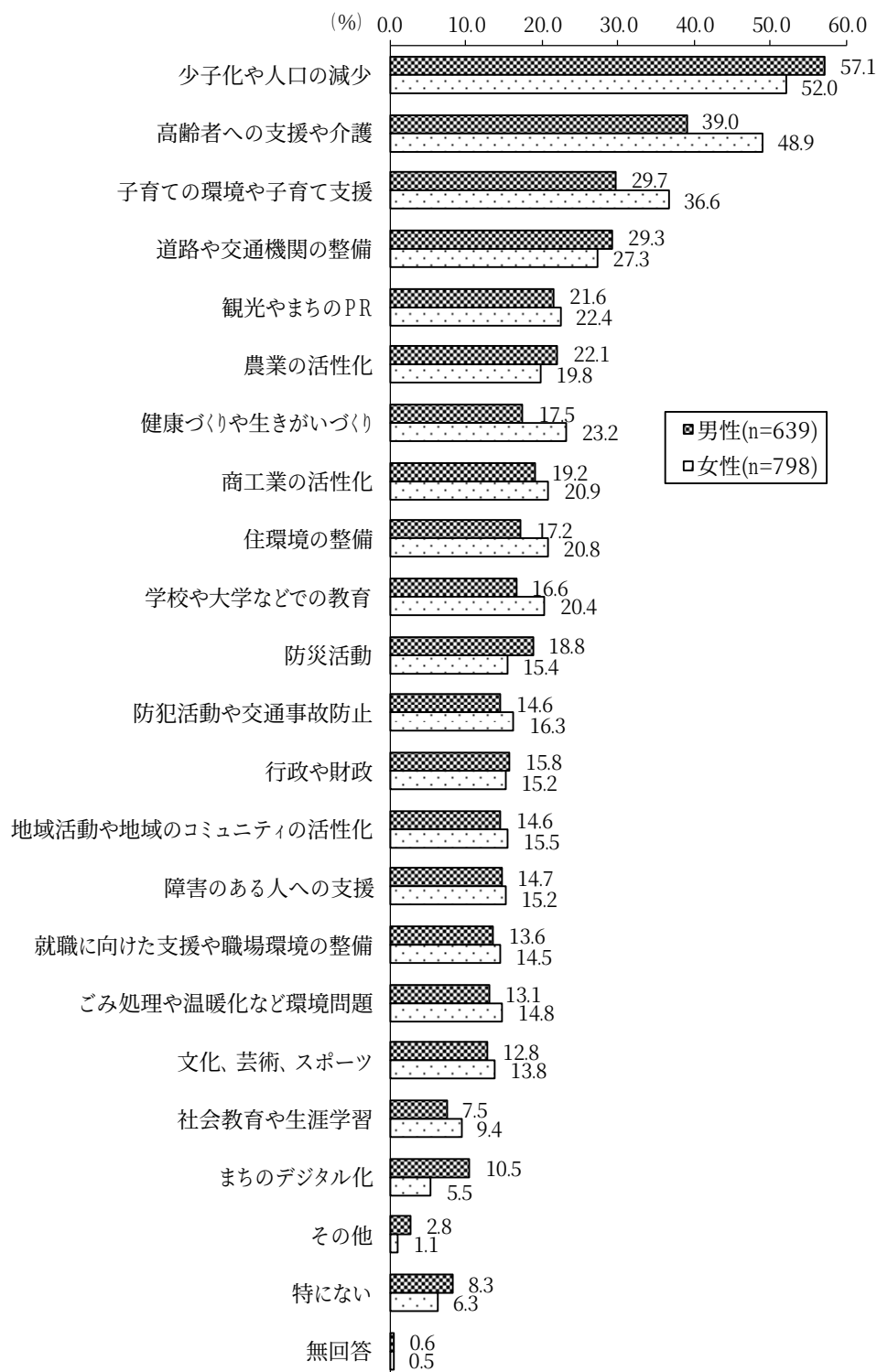
7 まちづくりにおいて関心がある分野

問 14 あなたは、さぬき市の行政やまちづくりについて、どのようなことに関心がありますか。（回答はあてはまるもの全て）

まちづくりにおいて関心がある分野については、「少子化や人口の減少」の割合が 54.1%と最も高く、次いで「高齢者への支援や介護」（44.4%）、「子育ての環境や子育て支援」（33.6%）、「道路や交通機関の整備」（28.2%）、「観光やまちのPR」（22.1%）の順となっている。



性別では、男性は女性に比べて「少子化や人口の減少」の割合が高く、女性は「高齢者への支援や介護」「子育ての環境や子育て支援」「健康づくりや生きがいがづくり」などの割合が男性を上回っている。



年齢別では、30代で「子育ての環境や子育て支援」、30～40代で「学校や大学などでの教育」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。また、年齢が上がるほど「高齢者への支援や介護」「健康づくりや生きがいづくり」の割合が高くなっている。

単位 (%)	少子化や人口の減少	高齢者への支援や介護	子育ての環境や子育て支援	道路や交通機関の整備	観光やまちのPR	農業の活性化	健康づくりや生きがいづくり	商工業の活性化	住環境の整備	学校や大学などでの教育	防災活動
全体(N=1454)	54.1	44.4	33.6	28.2	22.1	20.8	20.6	20.1	19.5	18.9	16.9
【年齢別】											
29歳以下(n=225)	41.3	13.8	35.6	25.3	21.8	11.6	12.0	13.3	11.1	22.2	12.9
30代(n=184)	52.2	26.6	58.2	25.0	23.9	21.7	14.1	23.9	17.9	32.6	14.1
40代(n=210)	50.5	35.7	46.7	25.7	25.7	24.3	17.1	26.2	21.4	31.0	19.0
50代(n=242)	59.1	56.2	31.4	32.6	25.2	19.8	21.5	24.0	22.7	15.7	19.4
60代(n=254)	57.1	59.8	25.6	30.7	23.6	23.6	24.8	22.4	25.2	12.6	17.3
70歳以上(n=334)	61.1	60.2	18.6	27.5	15.6	23.1	28.4	14.1	17.4	9.0	17.4

単位 (%)	防犯活動や交通事故防止	行政や財政	地域活動や地域のコミュニティの活性化	障害のある人への支援	就職に向けた支援や職場環境の整備	環境問題	文化、芸術、スポーツ	社会教育や生涯学習	まちのデジタル化	その他	特になし
全体(N=1454)	15.6	15.5	15.1	15.0	14.3	14.1	13.3	8.6	7.9	1.9	7.3
【年齢別】											
29歳以下(n=225)	7.1	9.8	7.6	8.0	19.1	7.6	14.7	2.7	8.4	0.4	12.4
30代(n=184)	11.4	14.7	13.0	13.0	16.3	7.1	13.6	8.2	13.6	1.1	8.7
40代(n=210)	16.2	13.8	10.5	16.7	19.0	12.4	16.2	11.9	13.3	1.4	8.1
50代(n=242)	18.6	19.8	20.2	18.2	18.6	16.1	15.3	9.5	9.5	3.7	5.4
60代(n=254)	16.9	19.7	19.3	16.5	12.2	14.2	14.2	12.6	3.5	2.4	5.5
70歳以上(n=334)	20.4	14.4	17.4	16.2	5.4	22.2	8.7	7.2	3.0	2.1	5.4

【2】地域での生活について

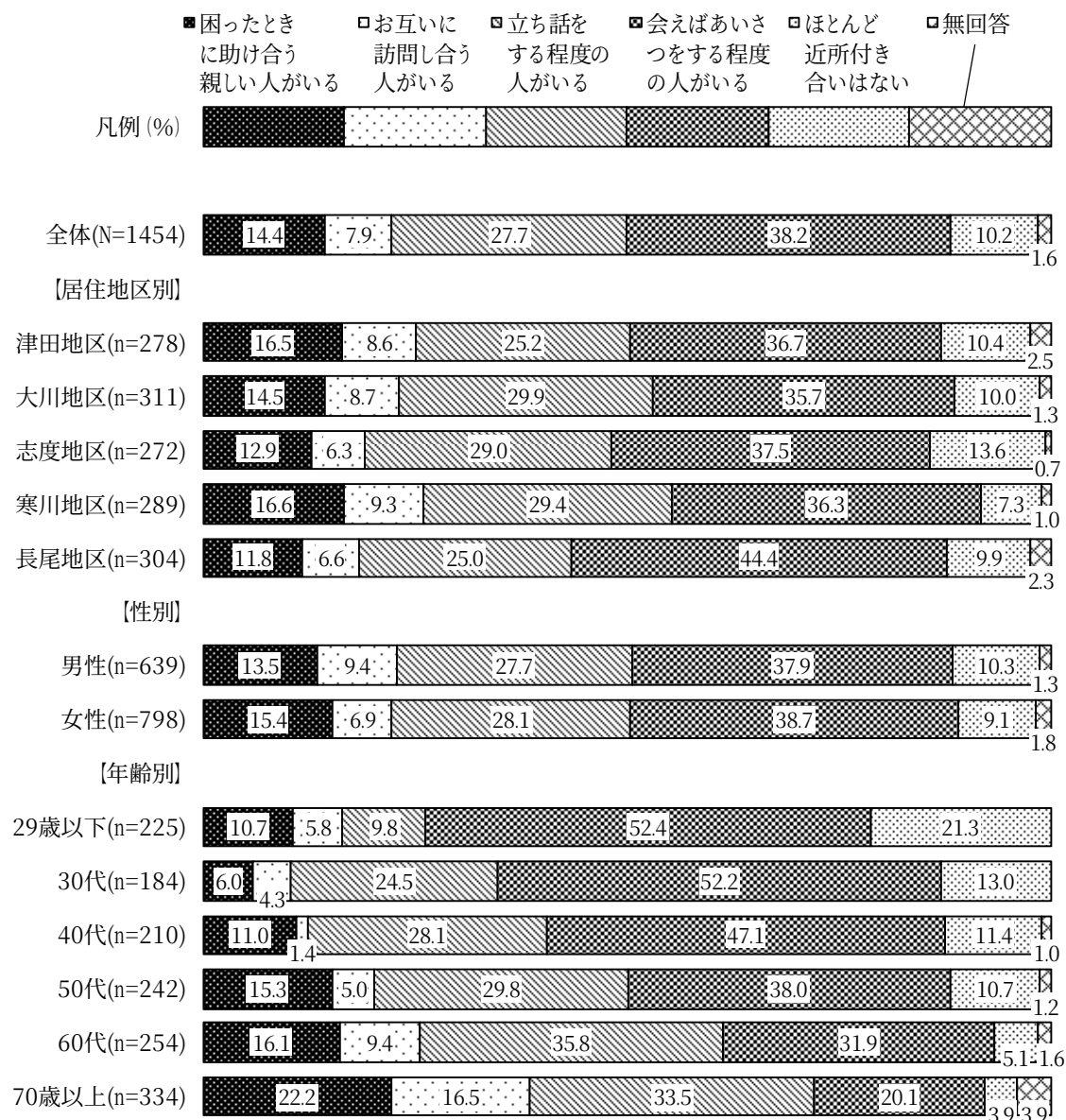
1 近所付き合いの程度

問 15 あなたとご近所の人との関係は、次のどれに最も近いですか。（回答は1つ）

近所付き合いの程度については、「会えばあいさつをする程度の人がある」の割合が38.2%と最も高く、次いで「立ち話をする程度の人がある」（27.7%）、「困ったときに助け合う親しい人がある」（14.4%）、「ほとんど近所付き合いはない」（10.2%）の順となっている。

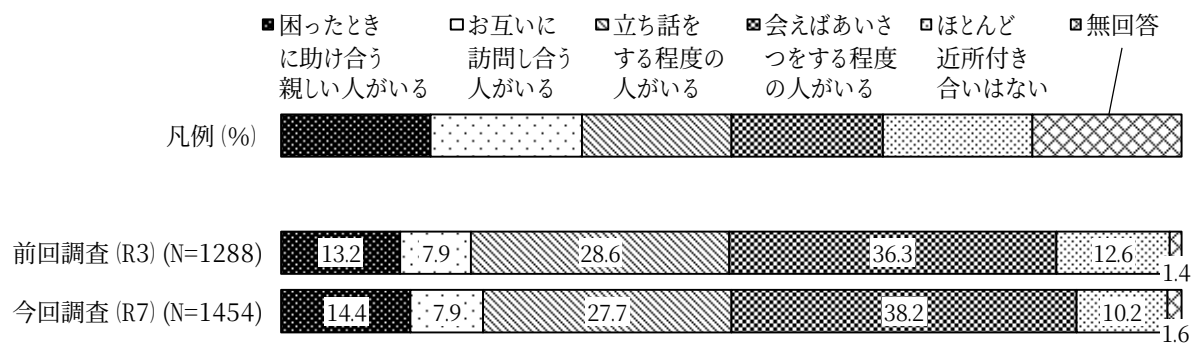
居住地区別では、長尾地区で「会えばあいさつをする程度の人がある」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では29歳以下で「ほとんど近所付き合いはない」、70歳以上で「困ったときに助け合う親しい人がある」「お互いに訪問し合う人がある」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



【時系列比較】

前回調査結果と比べ、大きな変化はみられない。

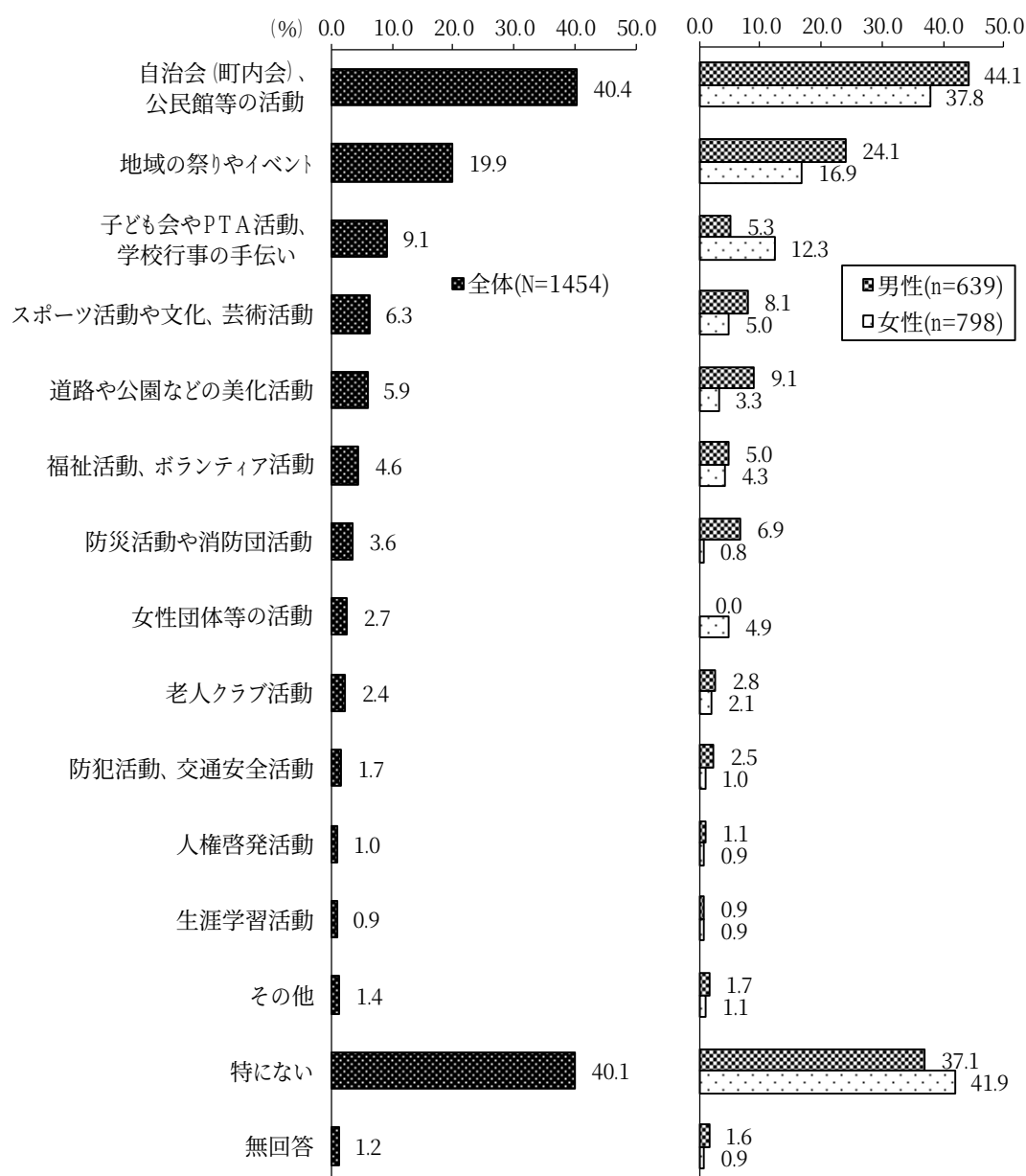


2 地域活動やボランティア活動への参加状況

問 16 あなたは現在、地域活動やボランティア活動など、地域とどのようなつながりがありますか。（回答はあてはまるもの全て）

地域活動やボランティア活動への参加状況については、「自治会（町内会）、公民館等の活動」の割合が40.4%と最も高く、次いで「地域の祭りやイベント」（19.9%）、「子ども会やPTA活動、学校行事の手伝い」（9.1%）、「スポーツ活動や文化、芸術活動」（6.3%）の順となっており、4割（40.1%）は「特にない」と回答している。

性別では、男性は女性に比べて「自治会（町内会）、公民館等の活動」「地域の祭りやイベント」「道路や公園などの美化活動」「防災活動や消防団活動」の割合が高く、女性は「子ども会やPTA活動、学校行事の手伝い」「女性団体等の活動」「特にない」の割合が男性を上回っている。



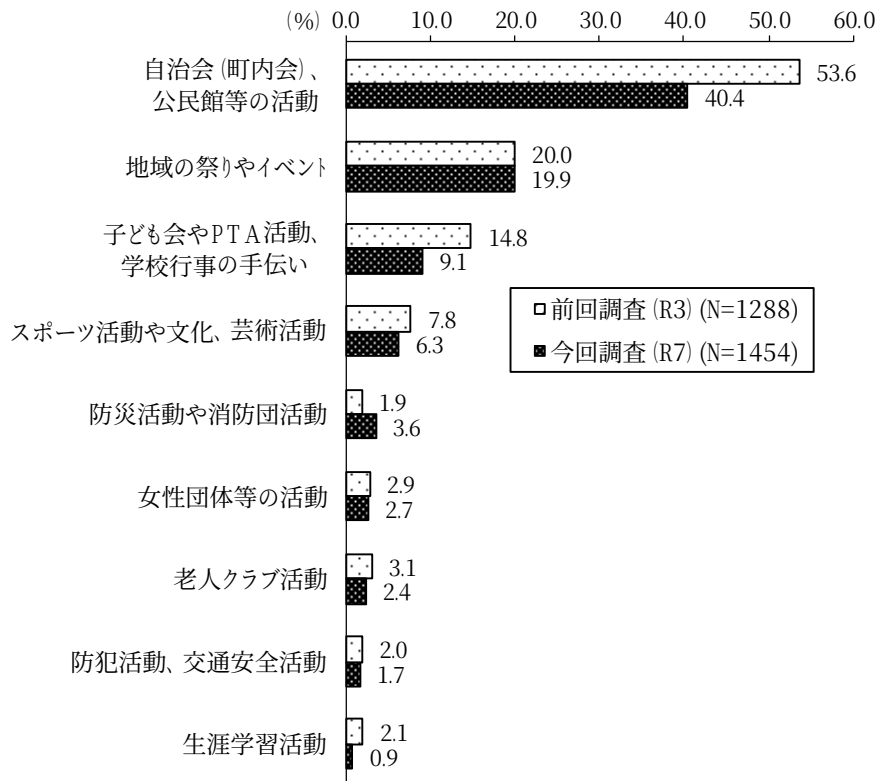
居住地区別では、津田地区や寒川地区で「自治会（町内会）、公民館等の活動」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「特になし」、30～40代で「子ども会やPTA活動、学校行事の手伝い」、60代で「自治会（町内会）、公民館等の活動」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	自治会（町内会）、公民館等の活動	地域の祭りやイベント	子ども会やPTA活動、学校行事の手伝い	スポーツ活動や文化、芸術活動	道路や公園などの美化活動	福祉活動、ボランティア	防災活動や消防団活動	女性団体等の活動	老人クラブ活動	防犯活動、交通安全活動	人権啓発活動	生涯学習活動	その他	特になし
全体(N=1454)	40.4	19.9	9.1	6.3	5.9	4.6	3.6	2.7	2.4	1.7	1.0	0.9	1.4	40.1
【居住地区別】														
津田地区(n=278)	43.9	23.7	7.6	8.6	5.8	6.5	2.9	1.4	3.2	2.2	0.7	1.1	2.2	37.1
大川地区(n=311)	38.6	20.3	10.0	5.5	4.5	4.5	4.8	1.3	2.6	1.3	1.6	1.9	0.3	42.4
志度地区(n=272)	36.8	16.2	11.4	5.1	6.6	5.5	2.2	4.0	2.9	2.2	1.1	0.7	2.2	41.5
寒川地区(n=289)	45.0	23.2	10.4	8.3	7.3	3.5	4.5	3.1	2.1	1.7	1.0	0.7	1.4	34.9
長尾地区(n=304)	37.8	16.4	6.6	4.3	5.6	3.3	3.3	3.6	1.3	1.3	0.3	0.0	1.3	44.1
【年齢別】														
29歳以下(n=225)	14.2	22.7	2.7	4.0	3.6	1.3	1.3	0.0	0.4	0.4	0.0	0.0	1.3	62.7
30代(n=184)	24.5	22.8	22.3	6.5	5.4	2.7	3.8	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	1.6	45.7
40代(n=210)	40.5	21.4	28.6	6.2	2.9	2.4	1.9	0.0	0.0	0.5	0.5	0.5	2.4	35.7
50代(n=242)	42.1	16.1	6.6	6.6	7.9	2.9	5.0	0.8	0.8	1.2	1.2	0.4	1.2	39.7
60代(n=254)	58.7	18.5	2.4	6.3	6.3	7.9	4.3	5.5	1.6	3.1	1.6	0.8	1.2	30.7
70歳以上(n=334)	51.5	19.8	1.2	7.8	8.1	8.1	4.2	6.9	8.4	3.3	1.5	2.7	1.2	32.0

【時系列比較】

前回調査結果と比べ、「自治会（町内会）、公民館等の活動」「子ども会やPTA活動、学校行事の手伝い」が減少している。



注：比較できる項目のみ掲載している。（以下同様）

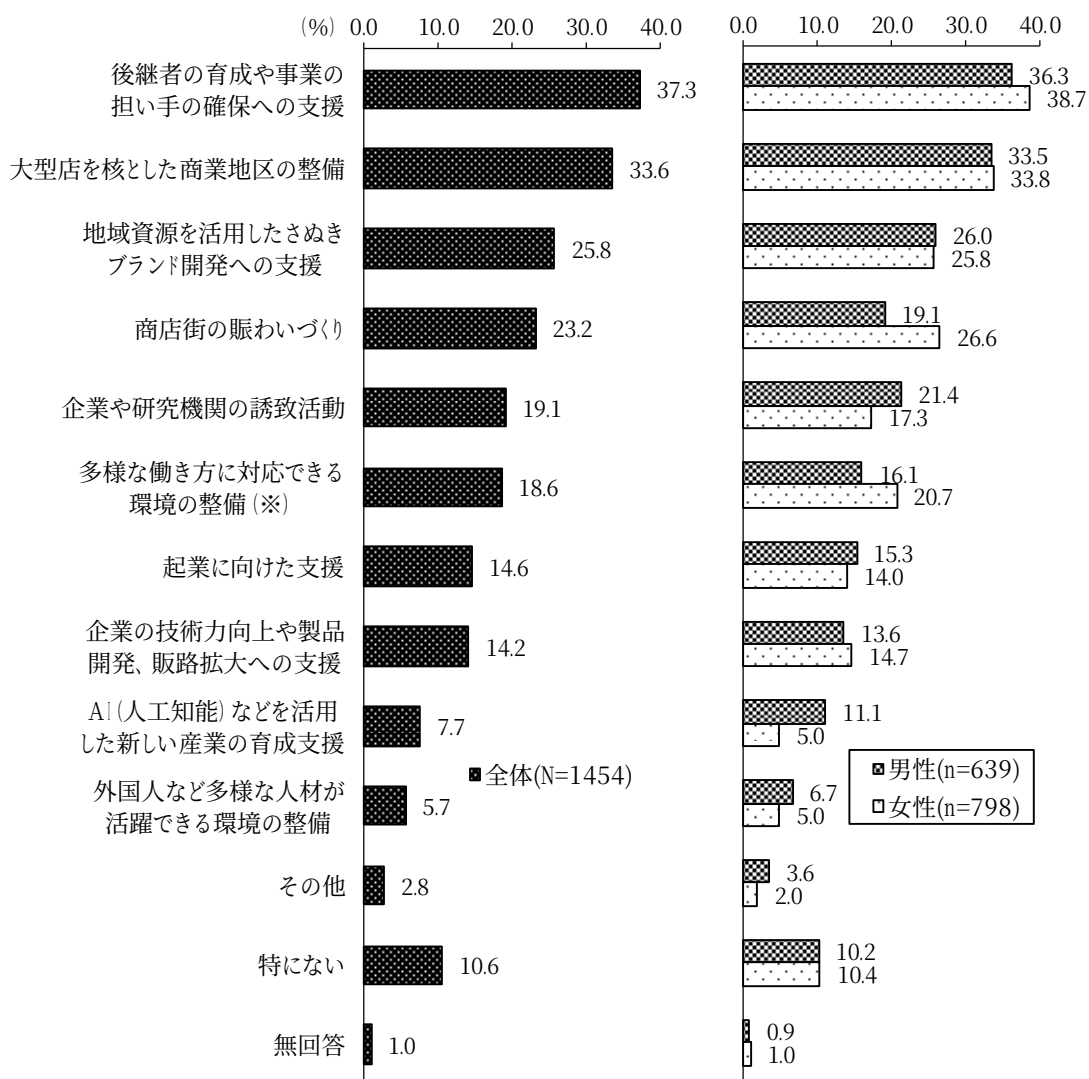
【3】これからのまちづくりについて

1 商工業を振興するために力を入れるべきこと

問 17 商工業を振興し育成するために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

商工業を振興するために力を入れるべきことについては、「後継者の育成や事業の担い手の確保への支援」の割合が37.3%と最も高く、次いで「大型店を核とした商業地区の整備」（33.6%）、「地域資源を活用したさぬきブランド開発への支援」（25.8%）、「商店街の賑わいづくり」（23.2%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「企業や研究機関の誘致活動」「A I（人工知能）などを活用した新しい産業の育成支援」の割合が高く、女性は「商店街の賑わいづくり」「多様な働き方に対応できる環境の整備（サテライトオフィスやコワーキングスペースなど）」の割合が男性を上回っている。



※ 多様な働き方に対応できる環境の整備（サテライトオフィスやコワーキングスペースなど）

居住地区別では、津田地区や志度地区で「商店街の賑わいづくり」、大川地区で「大型店を核とした商業地区の整備」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

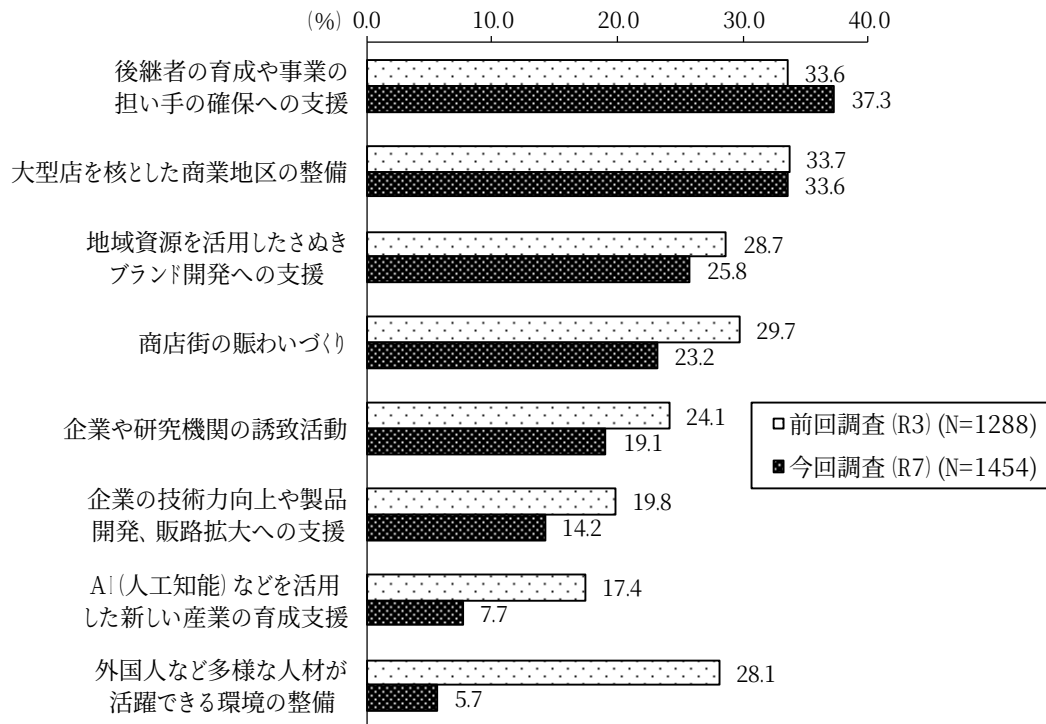
年齢別では、29歳以下で「商店街の賑わいづくり」、30代で「大型店を核とした商業地区の整備」、40代で「起業に向けた支援」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	後継者の育成や事業の担い手の確保への支援	大型店の整備	地域資源を活用したさぬきブランド開発への支援	商店街の賑わいづくり	企業や研究機関の誘致活動	多様な働き方に対応できる環境の整備(※)	起業に向けた支援	企業の技術力向上や製品開発、販路拡大への支援	支援した新しい産業の育成	AI(人工知能)などを活用した新しい産業の育成	外国人など多様な人材が活躍できる環境の整備	その他	特になし
全体(N=1454)	37.3	33.6	25.8	23.2	19.1	18.6	14.6	14.2	7.7	5.7	2.8	10.6	
【居住地区別】													
津田地区(n=278)	38.1	33.5	26.3	30.2	17.6	15.8	13.3	11.9	7.2	5.8	4.0	9.7	
大川地区(n=311)	39.2	37.6	26.0	19.6	20.9	17.4	14.5	15.1	11.3	6.4	3.5	9.0	
志度地区(n=272)	29.8	29.8	28.7	28.3	18.8	22.4	10.7	13.6	8.1	5.9	4.4	11.0	
寒川地区(n=289)	36.7	33.6	24.9	14.9	18.7	17.6	18.0	16.3	6.2	6.6	1.0	11.8	
長尾地区(n=304)	42.1	33.2	23.4	24.0	19.4	20.1	16.1	14.1	5.6	3.9	1.0	11.5	
【年齢別】													
29歳以下(n=225)	31.6	38.2	23.6	34.2	12.4	19.6	13.3	12.9	10.7	7.6	4.0	8.4	
30代(n=184)	38.6	48.9	27.2	25.5	13.6	16.8	14.7	16.8	7.1	5.4	2.7	6.5	
40代(n=210)	41.0	32.4	27.1	25.7	21.0	20.0	21.4	15.2	11.4	2.4	1.4	7.6	
50代(n=242)	38.4	36.4	24.4	19.0	20.7	18.6	14.5	15.7	7.4	5.8	5.0	11.2	
60代(n=254)	37.0	29.1	27.2	20.1	22.0	23.6	16.5	11.8	5.1	7.9	2.4	8.7	
70歳以上(n=334)	37.1	24.6	25.7	18.6	22.2	14.1	9.6	14.1	6.0	5.1	1.5	17.4	

※ 多様な働き方に対応できる環境の整備（サテライトオフィスやコワーキングスペースなど）

【時系列比較】

前回調査結果と比べ、「A I（人工知能）などを活用した新しい産業の育成支援」「外国人など多様な人材が活躍できる環境の整備」などが減少している。



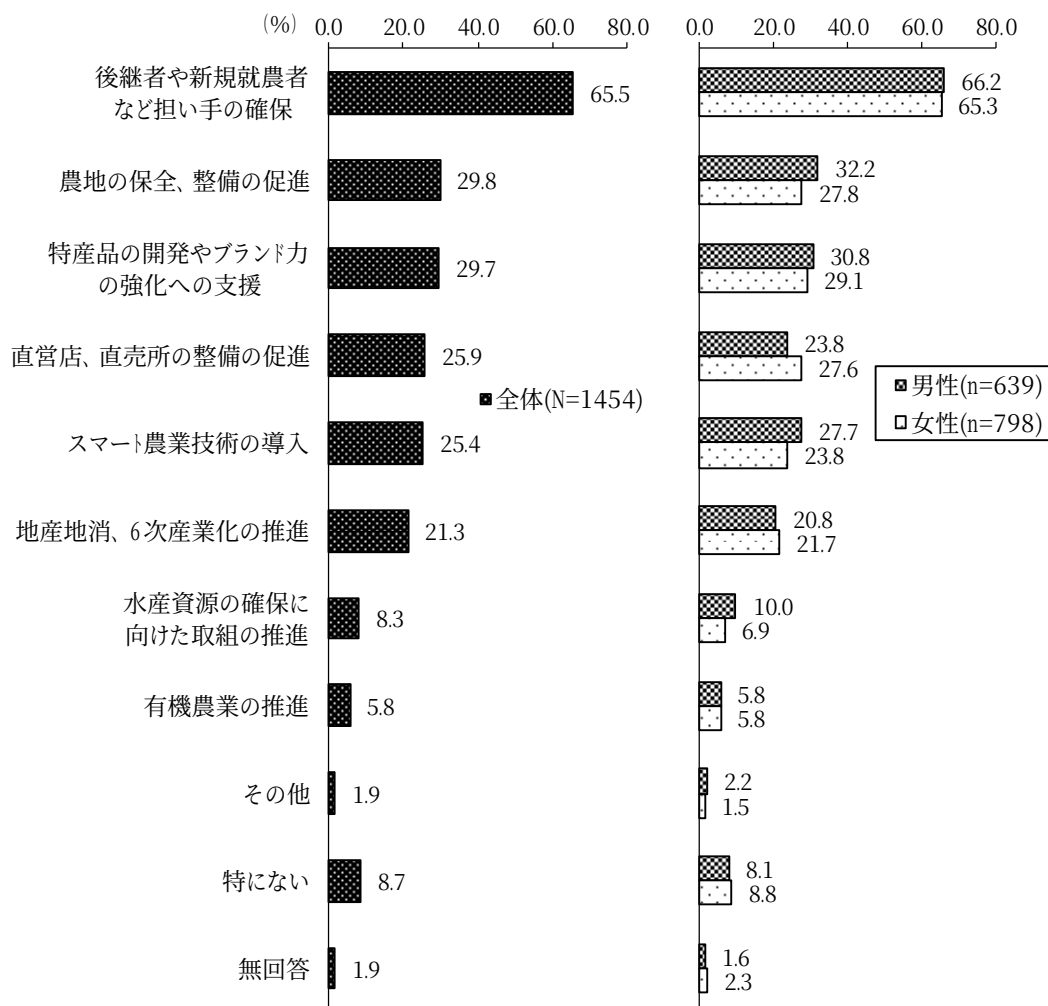
注：「外国人など多様な人材が活躍できる環境の整備」については、前回調査では「女性や高齢者、障害者、外国人など多様な人材が活躍できる環境を整備する」の結果を掲載している。

2 農林水産業を振興するために力を入れるべきこと

問 18 農林水産業を振興し育成するために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

農林水産業を振興するために力を入れるべきことについては、「後継者や新規就農者など担い手の確保」の割合が65.5%と最も高く、次いで「農地の保全、整備の促進」(29.8%)、「特産品の開発やブランド力の強化への支援」(29.7%)、「直営店、直売所の整備の促進」(25.9%)、「スマート農業技術の導入」(25.4%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「農地の保全、整備の促進」「スマート農業技術の導入」「水産資源の確保に向けた取組の推進」の割合がやや高く、女性は「直営店、直売所の整備の促進」の割合が男性をやや上回っている。



居住地区別では、津田地区や志度地区で「直営店、直売所の整備の促進」、大川地区で「後継者や新規就農者など担い手の確保」「農地の保全、整備の促進」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、30～40代で「特産品の開発やブランド力の強化への支援」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

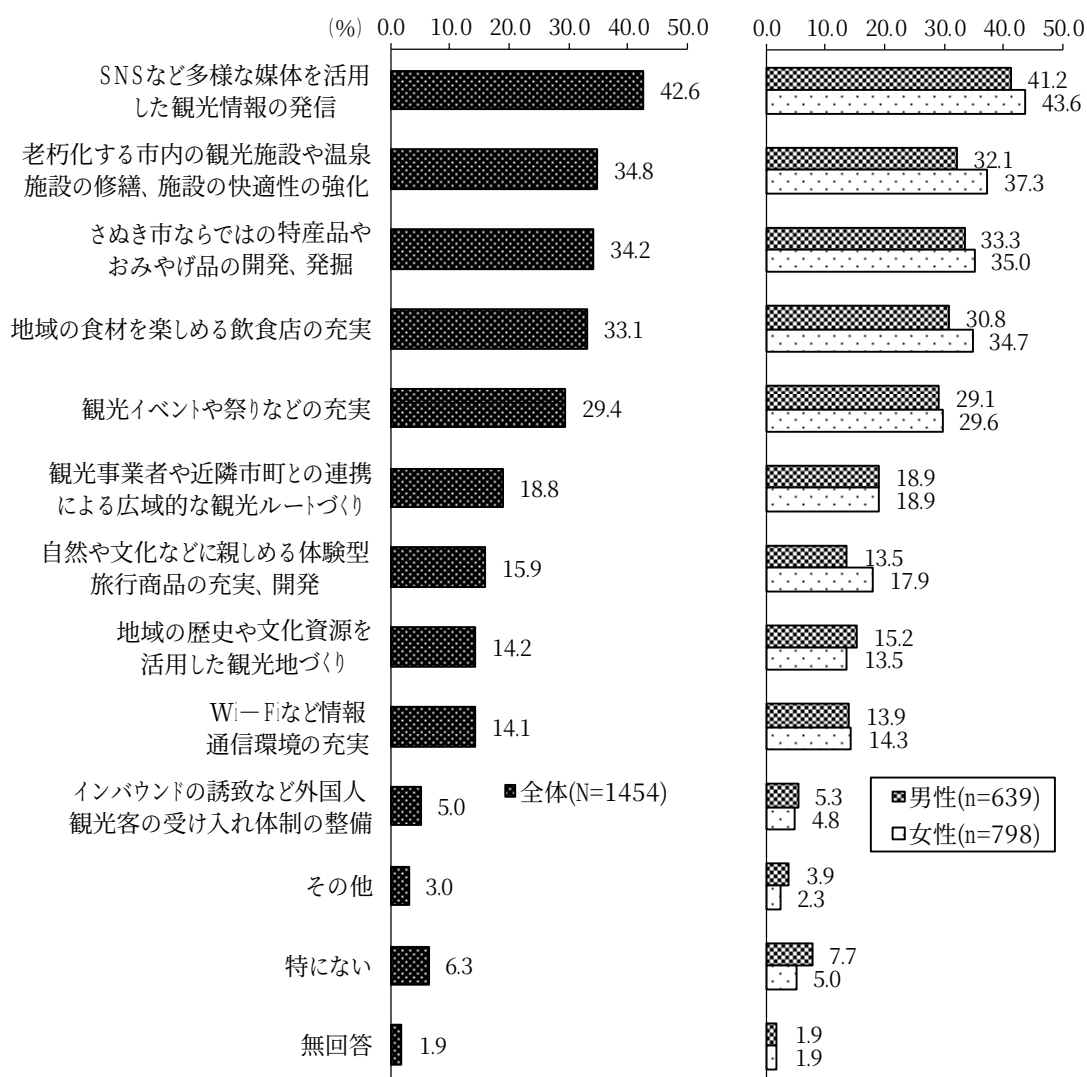
単位 (%)	担後 い継 手の者 のや 確保新規 就農者 など	農地 の保 全、 整備 の促 進	力特 の産 品の 強化 への 支援 や ブラン ド	促直 進営 店、 直売 所の 整備 の	スマ ート 農業 技術 の導 入	推地 進産 地地 消、 6次 産業 化の	取水 組産 の資 源の 確保 に向 けた 推進	有機 農業 の推 進	その他	特 に ない
全体(N=1454)	65.5	29.8	29.7	25.9	25.4	21.3	8.3	5.8	1.9	8.7
【居住地区別】										
津田地区(n=278)	60.8	24.5	28.8	32.4	26.3	23.0	16.2	4.7	1.8	7.9
大川地区(n=311)	72.0	37.6	26.4	20.6	26.7	22.2	6.1	5.5	3.2	7.1
志度地区(n=272)	63.2	22.8	31.6	31.3	24.3	20.2	7.7	7.7	2.6	7.4
寒川地区(n=289)	66.1	29.8	31.1	23.5	23.5	19.0	6.6	6.6	0.7	10.0
長尾地区(n=304)	64.5	32.9	30.9	23.0	26.0	21.7	5.3	4.9	1.0	10.9
【年齢別】										
29歳以下(n=225)	60.9	29.8	30.2	18.2	19.1	20.9	5.3	7.6	1.3	12.0
30代(n=184)	65.2	27.2	39.1	29.3	26.6	18.5	9.8	4.3	2.7	7.1
40代(n=210)	68.6	29.0	37.1	26.7	33.3	21.9	5.7	5.7	1.0	9.0
50代(n=242)	68.6	25.6	30.6	30.2	29.8	23.1	8.3	5.8	4.5	6.2
60代(n=254)	65.0	31.9	26.8	26.8	29.9	19.7	8.7	4.3	1.6	5.9
70歳以上(n=334)	65.0	33.2	21.6	24.9	17.4	22.8	10.5	6.9	0.6	10.8

3 観光産業を振興するために力を入れるべきこと

問 19 観光産業を振興し育成するために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

観光産業を振興するために力を入れるべきことについては、「SNSなど多様な媒体を活用した観光情報の発信」の割合が42.6%と最も高く、次いで「老朽化する市内の観光施設や温泉施設の修繕、施設の快適性の強化」（34.8%）、「さぬき市ならではの特産品やおみやげ品の開発、発掘」（34.2%）、「地域の食材を楽しめる飲食店の充実」（33.1%）の順となっている。

性別では、女性は男性に比べて「老朽化する市内の観光施設や温泉施設の修繕、施設の快適性の強化」「地域の食材を楽しめる飲食店の充実」「自然や文化などに親しめる体験型旅行商品の充実、開発」の割合がやや高くなっている。



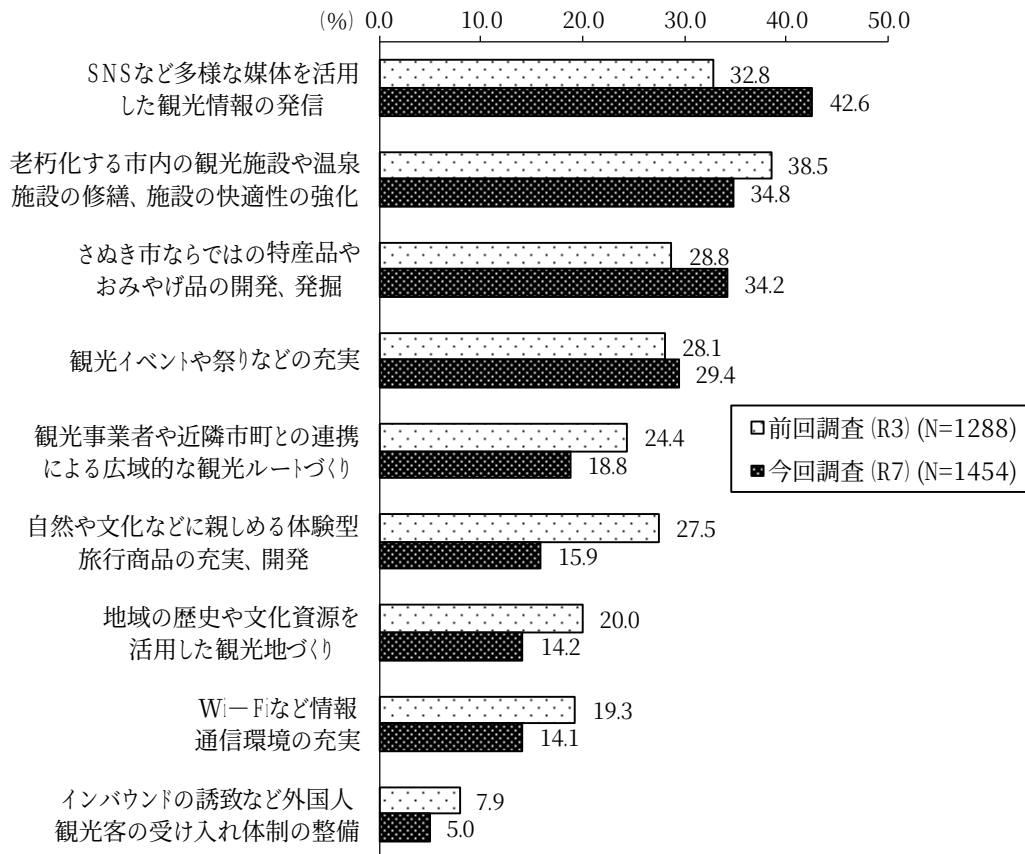
居住地区別では、津田地区で「SNSなど多様な媒体を活用した観光情報の発信」、大川地区で「老朽化する市内の観光施設や温泉施設の修繕、施設の快適性の強化」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、30代以下で「SNSなど多様な媒体を活用した観光情報の発信」、70歳以上で「地域の歴史や文化資源を活用した観光地づくり」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	用 SNS などの多様な媒体を活用した観光情報の発信	快適性の強化	老朽化する市内の修繕、施設の修繕	やおみやげ品の開発、特産品の開発	地域の食材を楽しむ飲食	観光イベントや祭りなどの実施	観光事業者や近隣の観光地との連携による広域的な観光	体験型旅行商品の充実、開	自然や文化などに親しめる	地域の歴史や文化資源を活用した観光地づくり	Wi-Fi などの情報通信環境の充実	外国人観光客の受け入れ体制の整備	インバウンドの誘致など	その他	特にな
全体(N=1454)	42.6	34.8	34.2	33.1	29.4	18.8	15.9	14.2	14.1	5.0	3.0	6.3			
【居住地区別】															
津田地区(n=278)	49.3	36.7	31.3	35.3	30.6	18.7	15.8	17.3	17.3	7.2	3.6	6.5			
大川地区(n=311)	42.4	40.5	35.4	30.9	32.2	20.9	16.1	14.8	13.8	4.8	3.5	4.8			
志度地区(n=272)	44.1	30.1	32.4	29.0	29.4	21.7	16.9	14.3	13.6	5.9	2.9	5.9			
寒川地区(n=289)	37.4	35.3	37.0	33.2	23.2	15.9	18.3	10.0	12.1	3.5	1.7	6.6			
長尾地区(n=304)	40.1	30.9	34.5	36.8	31.3	17.1	12.5	14.8	13.8	3.6	3.0	7.9			
【年齢別】															
29歳以下(n=225)	54.7	27.1	34.7	30.2	39.1	12.9	16.0	10.7	17.3	5.3	1.3	5.3			
30代(n=184)	51.1	29.9	35.9	35.3	40.8	13.0	16.8	9.2	16.3	7.1	3.8	5.4			
40代(n=210)	41.9	30.0	31.0	35.2	42.4	19.5	19.5	10.0	17.1	5.2	2.9	5.7			
50代(n=242)	44.6	37.6	37.6	36.4	27.3	19.8	19.0	13.2	20.7	7.4	4.5	6.2			
60代(n=254)	42.5	40.6	30.7	30.7	23.2	22.4	14.6	15.4	12.2	4.3	3.1	4.7			
70歳以上(n=334)	28.7	39.5	35.6	31.7	14.7	21.9	12.0	21.6	5.4	2.1	2.4	9.3			

【時系列比較】

前回調査結果と比べ、「SNSなど多様な媒体を活用した観光情報の発信」が増加し、「自然や文化などに親しめる体験型旅行商品の充実、開発」が大きく減少している。

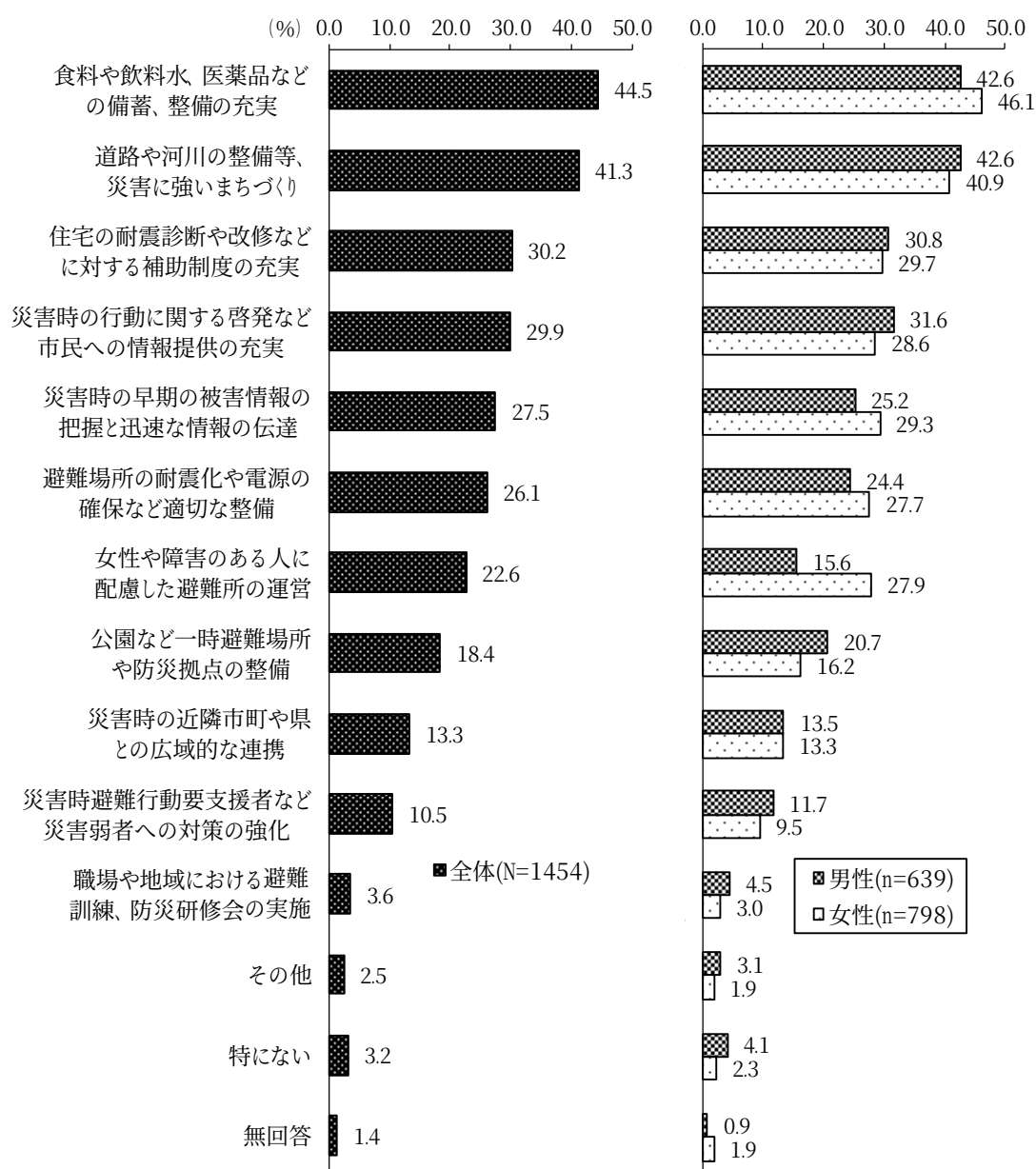


4 災害対策として力を入れるべきこと

問 20 あなたは、地震や台風、豪雨など自然災害による被害を防ぐ取組として、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

災害対策として力を入れるべきことについては、「食料や飲料水、医薬品などの備蓄、整備の充実」の割合が44.5%と最も高く、次いで「道路や河川の整備等、災害に強いまちづくり」（41.3%）、「住宅の耐震診断や改修などに対する補助制度の充実」（30.2%）、「災害時の行動に関する啓発など市民への情報提供の充実」（29.9%）の順となっている。

性別では、女性は「女性や障害のある人に配慮した避難所の運営」の割合が男性を大きく上回っている。



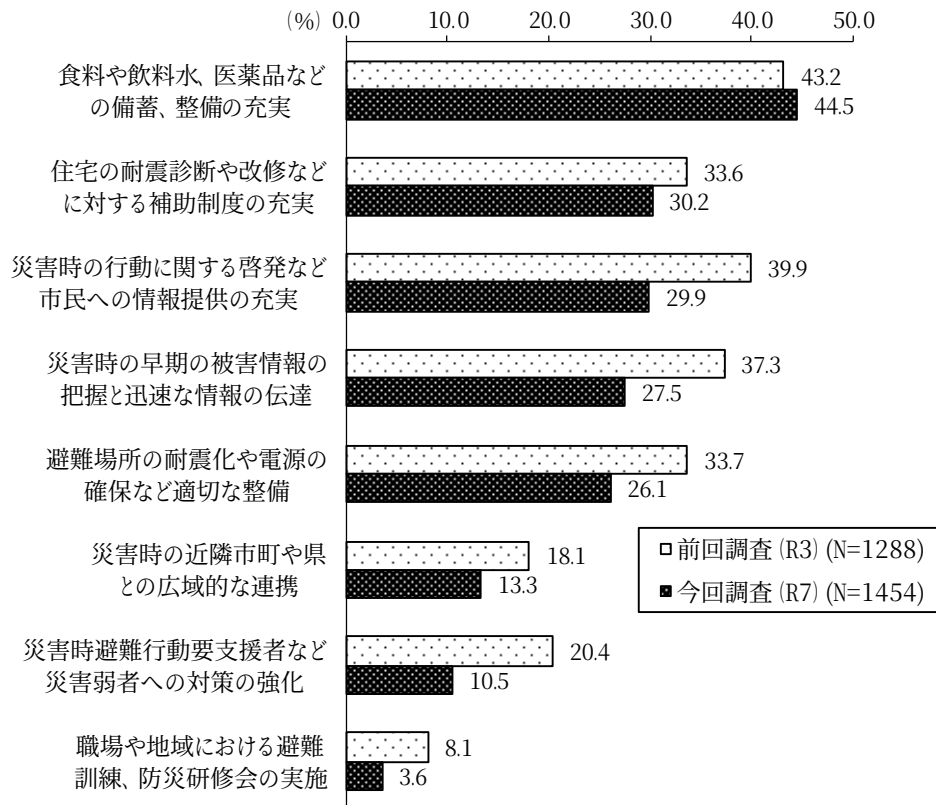
居住地区別では、津田地区で「災害時の早期の被害情報の把握と迅速な情報の伝達」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、40代で「女性や障害のある人に配慮した避難所の運営」、50～60代で「災害時の早期の被害情報の把握と迅速な情報の伝達」、60代以上で「道路や河川の整備等、災害に強いまちづくり」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	備蓄、食料や飲料水、医薬品などの充実	強いまちづくり	道路や河川の整備等、災害に	住宅の耐震診断や改修などに	災害時の行動に関する啓発など	災害時の早期の被害情報の把握と迅速な情報の伝達	避難場所の耐震化や電源の確保など適切な整備	女性や障害のある人に配慮した避難所の運営	公園など一時避難場所や防災拠点の整備	災害時の近隣市町や県との広域的な連携	災害弱者への対策の強化	災害時避難行動要支援者など	職場や地域における避難訓練、防災研修会の実施	その他	特にない
全体(N=1454)	44.5	41.3	30.2	29.9	27.5	26.1	22.6	18.4	13.3	10.5	3.6	2.5	3.2		
【居住地区別】															
津田地区(n=278)	41.0	39.6	28.1	29.5	32.0	29.5	23.4	18.0	15.8	12.2	3.2	4.7	4.0		
大川地区(n=311)	49.2	44.4	29.3	31.5	24.4	26.7	23.8	16.7	11.9	10.0	5.1	2.6	1.0		
志度地区(n=272)	47.1	39.0	32.0	32.0	26.8	20.2	22.8	21.0	15.4	8.5	2.6	2.2	2.2		
寒川地区(n=289)	43.9	43.3	28.0	30.1	26.6	26.0	24.6	16.6	13.5	12.5	3.8	1.4	4.2		
長尾地区(n=304)	41.1	40.1	33.6	26.6	28.0	27.6	18.4	19.7	10.5	9.2	3.3	1.6	4.6		
【年齢別】															
29歳以下(n=225)	53.3	29.3	36.0	28.4	24.4	26.2	22.2	19.1	8.4	2.7	3.1	2.7	6.2		
30代(n=184)	54.3	36.4	35.9	29.3	23.9	29.9	24.5	23.9	13.0	8.2	2.2	2.2	1.1		
40代(n=210)	51.0	38.6	29.0	27.1	23.3	30.5	30.0	21.0	14.8	11.0	5.2	2.9	2.9		
50代(n=242)	43.4	40.9	36.0	29.8	31.8	27.3	22.3	18.2	16.1	9.9	3.3	3.7	3.7		
60代(n=254)	36.2	48.4	28.0	31.1	33.5	26.0	18.5	14.2	15.4	12.2	3.5	2.0	1.6		
70歳以上(n=334)	36.5	48.8	21.0	32.3	26.9	20.1	20.7	16.5	12.6	15.9	4.2	1.8	3.0		

【時系列比較】

前回調査結果と比べ、「災害時の行動に関する啓発など市民への情報提供の充実」「災害時の早期の被害情報の把握と迅速な情報の伝達」「避難場所の耐震化や電源の確保など適切な整備」「災害時避難行動要支援者など災害弱者への対策の強化」などが減少している。

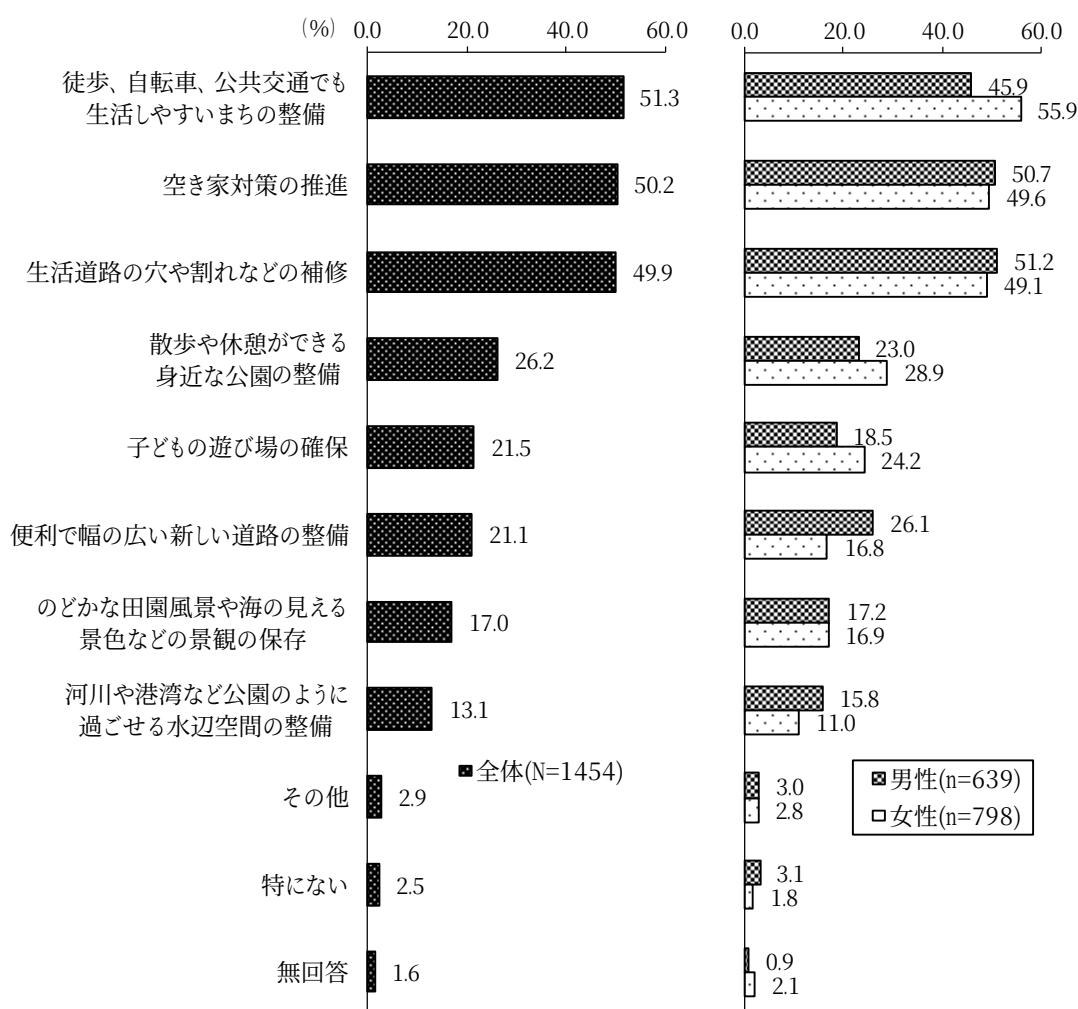


5 都市基盤や生活環境に関して力を入れるべきこと

問 21 都市基盤や生活環境に関する取組について、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

都市基盤や生活環境に関して力を入れるべきことについては、「徒歩、自転車、公共交通でも生活しやすいまちの整備」の割合が51.3%と最も高く、ほぼ並んで「空き家対策の推進」（50.2%）、「生活道路の穴や割れなどの補修」（49.9%）が続き、以下「散歩や休憩ができる身近な公園の整備」（26.2%）、「子どもの遊び場の確保」（21.5%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「便利で幅の広い新しい道路の整備」の割合が高く、女性は「徒歩、自転車、公共交通でも生活しやすいまちの整備」の割合が男性を上回っている。



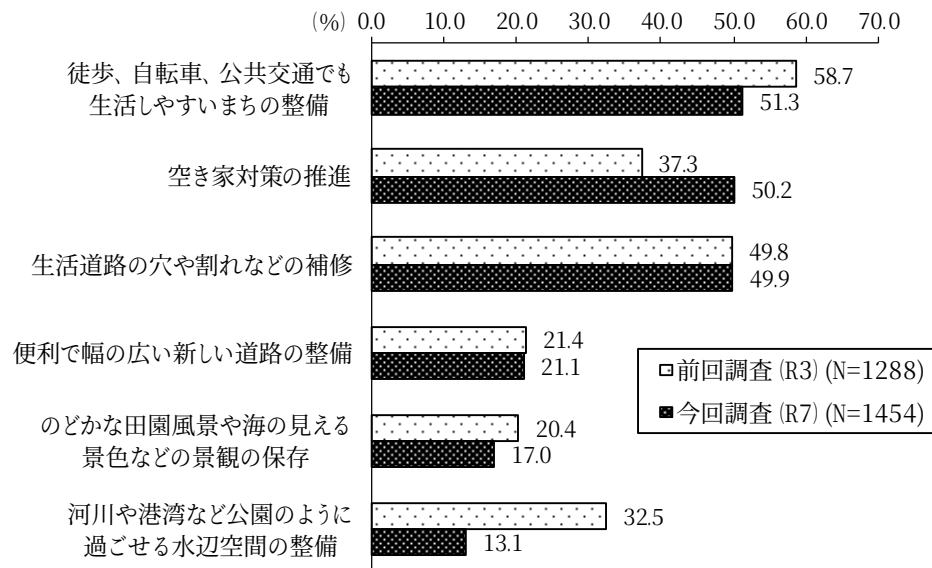
居住地区別では、大川地区で「空き家対策の推進」、志度地区や長尾地区で「子どもの遊び場の確保」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、30代以下で「のどかな田園風景や海の見える景色などの景観の保存」、30代で「子どもの遊び場の確保」、50～60代で「空き家対策の推進」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位（％）	も徒歩、自転車、公共交通で生活しやすいまちの整備	空き家対策の推進	補修生活道路の穴や割れなどの	公園の整備	散歩や休憩ができる身近な	子どもの遊び場の確保	の整備で幅の広い新しい道路	のどかな田園風景や海の見える景色などの景観の保存	河川や港湾など公園の整備に過ごせる水辺空間の整備	その他	特にな
全体(N=1454)	51.3	50.2	49.9	26.2	21.5	21.1	17.0	13.1	2.9	2.5	
【居住地区別】											
津田地区(n=278)	55.0	51.8	48.2	19.4	18.7	17.6	20.9	18.7	3.6	2.9	
大川地区(n=311)	54.3	60.5	53.4	19.9	18.0	21.5	15.8	9.3	4.2	0.6	
志度地区(n=272)	43.4	42.3	46.3	28.3	24.6	23.5	20.2	16.2	2.9	2.9	
寒川地区(n=289)	50.5	50.2	50.5	32.9	19.7	21.5	14.2	11.8	2.1	2.8	
長尾地区(n=304)	52.6	45.4	50.3	30.6	26.6	21.4	14.5	10.2	1.6	3.3	
【年齢別】											
29歳以下(n=225)	48.9	36.4	43.1	23.6	29.3	26.7	22.2	14.7	2.2	2.7	
30代(n=184)	45.1	44.0	41.8	28.8	50.0	24.5	22.8	12.5	5.4	0.5	
40代(n=210)	54.8	47.6	49.5	25.2	30.0	21.4	16.2	14.8	1.9	2.9	
50代(n=242)	52.1	57.0	52.9	21.1	16.5	24.0	12.8	13.6	3.3	3.3	
60代(n=254)	50.8	59.4	51.6	30.7	12.2	20.1	13.8	12.2	2.0	2.0	
70歳以上(n=334)	53.9	52.1	55.7	27.2	6.3	13.5	16.2	11.7	3.0	3.0	

【時系列比較】

前回調査結果と比べ、「空き家対策の推進」が増加し、「河川や港湾など公園のように過ごせる水辺空間の整備」が大きく減少している。

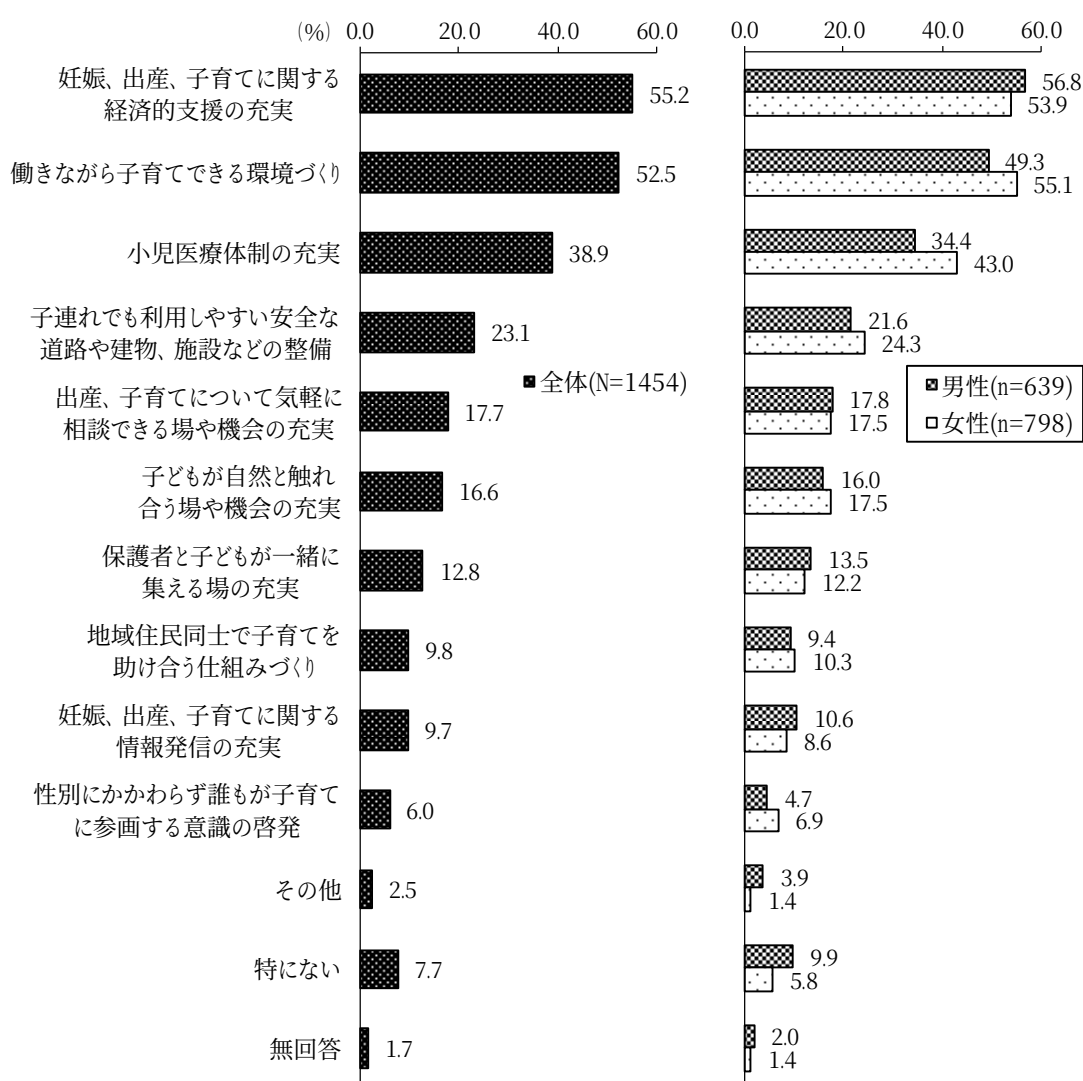


6 子育て支援に関して力を入れるべきこと

問 22 子育てしやすくするために、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

子育て支援に関して力を入れるべきことについては、「妊娠、出産、子育てに関する経済的支援の充実」の割合が55.2%と最も高く、次いで「働きながら子育てできる環境づくり」（52.5%）、「小児医療体制の充実」（38.9%）、「子連れでも利用しやすい安全な道路や建物、施設などの整備」（23.1%）の順となっている。

性別では、女性は男性に比べて「働きながら子育てできる環境づくり」「小児医療体制の充実」の割合が高くなっている。



居住地区別では、大川地区で「妊娠、出産、子育てに関する経済的支援の充実」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、30代以下で「妊娠、出産、子育てに関する経済的支援の充実」「妊娠、出産、子育てに関する情報発信の充実」、30代で「子連れでも利用しやすい安全な道路や建物、施設などの整備」、40代で「小児医療体制の充実」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

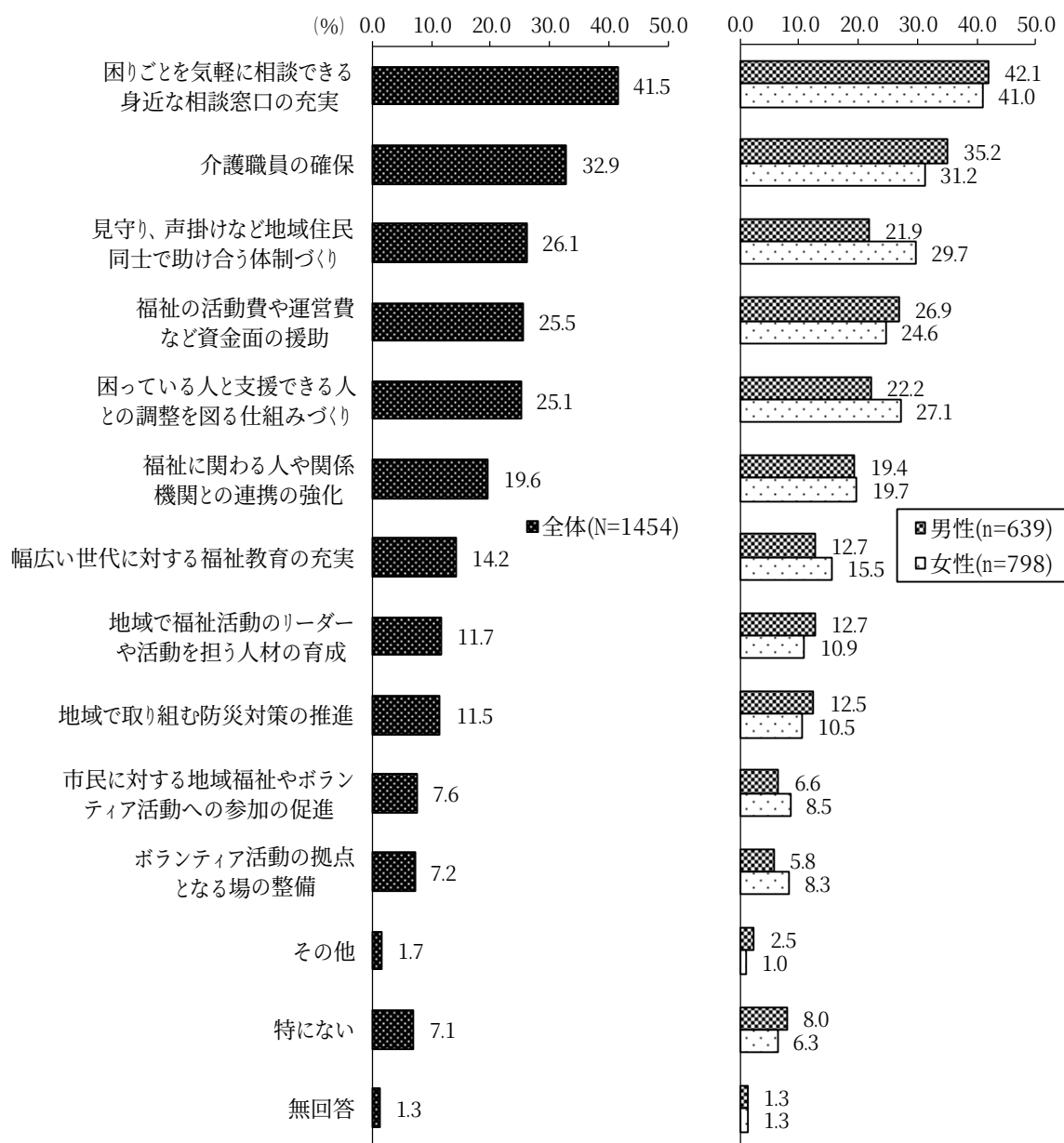
単位 (%)	妊娠、出産、子育てに関する経済的支援の充実	働きながら子育てできる環境づくり	小児医療体制の充実	備な道路や建物、施設などの安全整備	子連れでも利用しやすい安全な道路や建物、施設などの整備	相談できる場や機会の充実	出産、子育てについて気軽に相談できる場や機会の充実	子どもが自然と触れ合う場や機会の充実	子どもが自然と触れ合う場や機会の充実	保護者と子どもが一緒に集える場の充実	地域住民同士で子育てを助ける仕組みづくり	情報発信の充実	妊娠、出産、子育てに関する情報発信の充実	性別にかかわらず誰もが子育てに参画する意識の啓発	その他	特にな
全体(N=1454)	55.2	52.5	38.9	23.1	17.7	16.6	12.8	9.8	9.7	6.0	2.5	7.7				
【居住地区別】																
津田地区(n=278)	55.4	52.5	35.3	25.5	19.8	20.5	10.8	10.4	6.8	6.8	3.6	7.6				
大川地区(n=311)	61.1	55.0	40.8	21.2	16.4	12.2	11.6	8.7	8.4	6.4	1.6	7.7				
志度地区(n=272)	50.4	48.2	42.6	20.2	18.0	16.5	12.9	9.9	13.2	4.8	2.6	8.5				
寒川地区(n=289)	53.3	53.3	36.3	22.5	17.6	15.6	15.2	11.1	9.0	6.2	2.8	5.5				
長尾地区(n=304)	55.3	53.3	39.5	26.0	17.1	18.8	13.5	9.2	11.2	5.6	2.0	9.2				
【年齢別】																
29歳以下(n=225)	71.6	50.2	32.9	24.9	17.3	14.7	12.4	6.7	12.4	12.0	2.7	4.9				
30代(n=184)	70.1	51.1	37.0	32.1	13.0	22.8	16.3	7.6	14.7	6.0	3.8	6.5				
40代(n=210)	56.2	56.7	49.5	28.1	14.8	19.0	15.2	7.1	5.7	5.7	1.9	6.2				
50代(n=242)	47.1	55.0	42.6	19.4	16.1	14.9	13.2	11.2	8.3	6.2	4.5	8.3				
60代(n=254)	48.4	52.0	45.3	21.3	21.7	16.9	13.8	8.3	9.1	3.9	2.0	7.1				
70歳以上(n=334)	46.7	51.2	29.9	17.4	20.7	13.8	8.7	15.3	9.3	3.6	0.9	11.4				

7 地域福祉を推進するために力を入れるべきこと

問 23 地域福祉を推進するために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

地域福祉を推進するために力を入れるべきことについては、「困りごとを気軽に相談できる身近な相談窓口の充実」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「介護職員の確保」（32.9%）、「見守り、声掛けなど地域住民同士で助け合う体制づくり」（26.1%）、「福祉の活動費や運営費など資金面の援助」（25.5%）の順となっている。

性別では、女性は男性に比べて「見守り、声掛けなど地域住民同士で助け合う体制づくり」「困っている人と支援できる人との調整を図る仕組みづくり」の割合が高くなっている。



居住地区別では、志度地区で「困りごとを気軽に相談できる身近な相談窓口の充実」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、30～40代で「福祉に関わる人や関係機関との連携の強化」、60代以上で「困りごとを気軽に相談できる身近な相談窓口の充実」、70歳以上で「見守り、声掛けなど地域住民同士で助け合う体制づくり」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

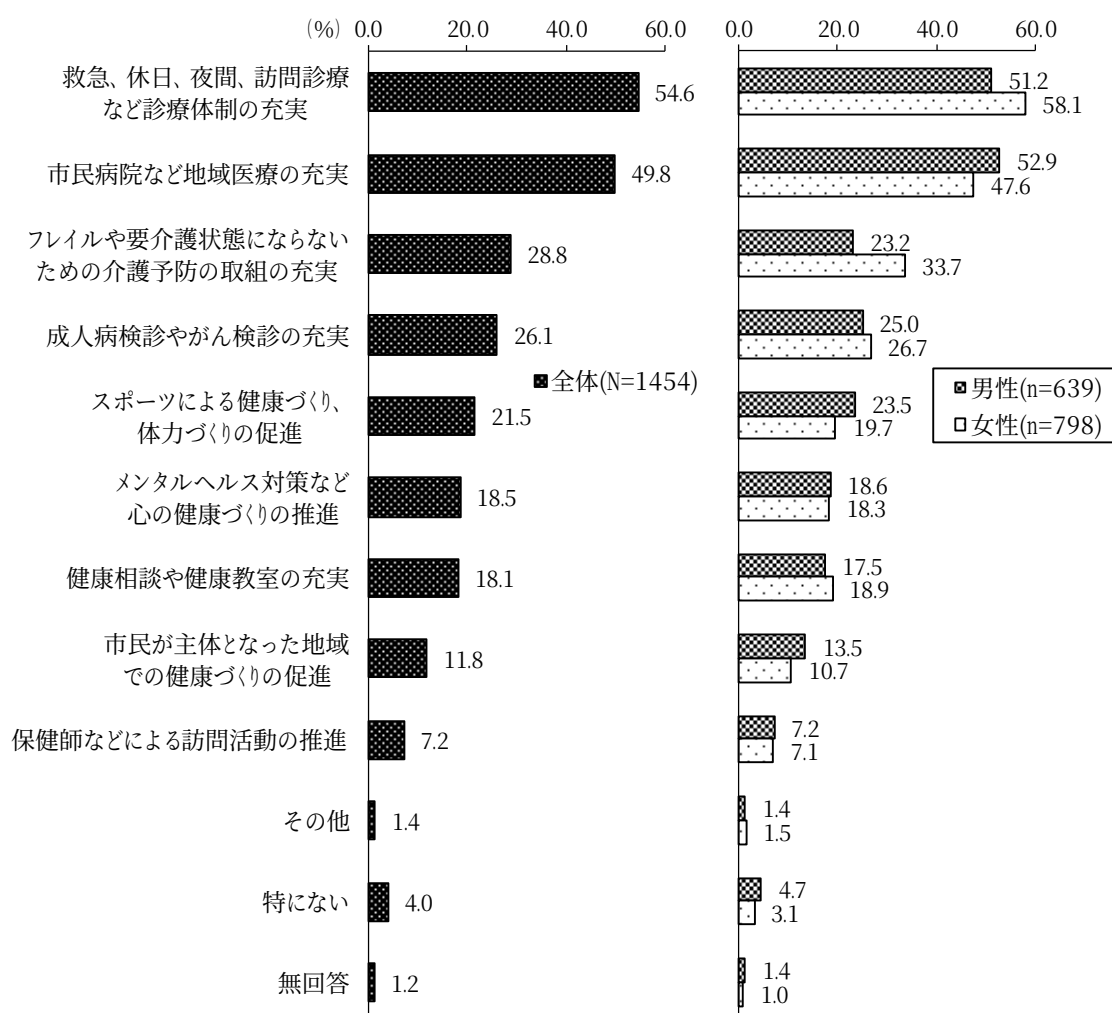
単位 (%)	身近な相談窓口の充実	介護職員の確保	見守り、声掛けなど地域住民同士で助け合う体制づくり	福祉の活動費や運営費など資金面の援助	困っている人と支援できる人との調整を図る仕組みづくり	福祉に関わる人や関係機関との連携の強化	幅広い世代に対する福祉教育の充実	地域で福祉活動のリーダーや活動を担う人材の育成	地域で取り組む防災対策の推進	市民に対する地域福祉やボランティア活動への参加の促進	ボランティア活動の拠点となる場の整備	その他	特にな
全体(N=1454)	41.5	32.9	26.1	25.5	25.1	19.6	14.2	11.7	11.5	7.6	7.2	1.7	7.1
【居住地区別】													
津田地区(n=278)	43.2	30.9	29.1	24.5	27.3	18.3	13.7	12.9	10.8	8.6	8.6	2.9	5.4
大川地区(n=311)	41.2	32.5	26.4	26.0	25.4	19.9	17.0	7.7	11.9	5.8	7.1	1.0	6.4
志度地区(n=272)	47.1	36.8	22.4	25.7	22.4	20.6	11.8	11.8	14.0	7.7	7.0	2.2	6.3
寒川地区(n=289)	42.6	34.6	26.0	27.3	30.4	18.0	11.1	13.5	8.7	7.3	5.9	1.0	6.6
長尾地区(n=304)	34.2	29.9	26.3	24.0	20.1	21.1	17.1	12.8	12.2	8.6	7.6	1.3	10.5
【年齢別】													
29歳以下(n=225)	34.2	31.6	20.0	30.7	16.9	19.1	16.4	10.7	10.7	7.1	7.6	0.9	11.6
30代(n=184)	26.6	35.9	21.7	28.3	17.9	25.5	19.6	12.0	12.5	7.6	7.6	3.8	10.3
40代(n=210)	37.1	32.9	23.3	27.1	31.4	25.2	20.0	8.1	14.3	5.2	8.1	1.0	6.2
50代(n=242)	42.1	33.9	24.0	24.4	30.6	19.4	13.6	15.7	8.3	9.1	7.9	2.5	5.8
60代(n=254)	48.0	35.8	24.8	26.0	27.2	16.9	11.8	11.8	9.8	7.9	5.9	2.0	4.7
70歳以上(n=334)	51.8	29.0	36.2	20.1	25.1	15.3	8.7	11.7	13.2	8.1	6.9	0.6	5.7

8 健康づくりを推進するために力を入れるべきこと

問 24 生涯にわたる健康づくりを推進し、誰もが元気に暮らせる環境をつくるために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
(回答は3つまで)

健康づくりを推進するために力を入れるべきことについては、「救急、休日、夜間、訪問診療など診療体制の充実」の割合が54.6%と最も高く、次いで「市民病院など地域医療の充実」(49.8%)、「フレイルや要介護状態にならないための介護予防の取組の充実」(28.8%)、「成人病検診やがん検診の充実」(26.1%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「市民病院など地域医療の充実」の割合が高く、女性は「救急、休日、夜間、訪問診療など診療体制の充実」「フレイルや要介護状態にならないための介護予防の取組の充実」の割合が男性を上回っている。



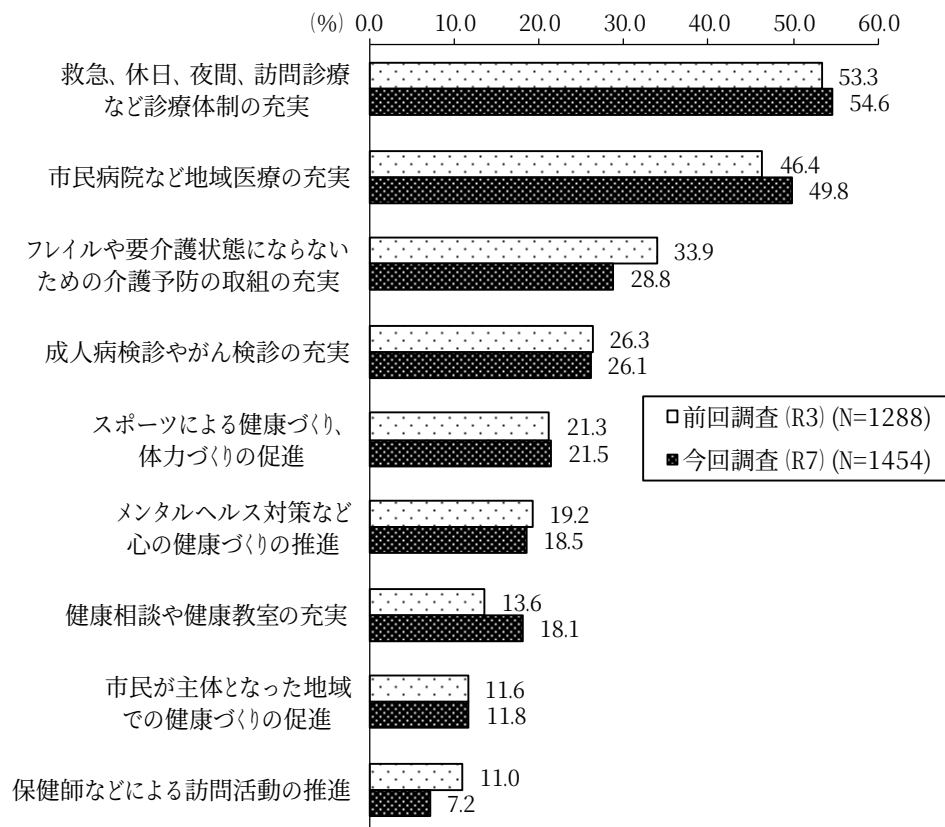
居住地区別では、志度地区で「健康相談や健康教室の充実」の割合が他の地区に比べてやや高くなっている。

年齢別では、29 歳以下で「成人病検診やがん検診の充実」、30 代で「メンタルヘルス対策など心の健康づくりの推進」、50 代で「市民病院など地域医療の充実」、70 歳以上で「フレイルや要介護状態にならないための介護予防の取組の充実」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	救急、休日、夜間、訪問診療などの充実	市民病院など地域医療の充実	組の充実	フレイルや要介護状態にならないための介護予防の取組	成人病検診やがん検診の充実	スポーツによる健康づくりの促進	メンタルヘルス対策など心の健康づくりの推進	健康相談や健康教室の充実	市民が主体となった地域での健康づくりの促進	保健師などによる訪問活動の推進	その他	特にな
全体(N=1454)	54.6	49.8	28.8	26.1	21.5	18.5	18.1	11.8	7.2	1.4	4.0	
【居住地区別】												
津田地区(n=278)	57.2	48.9	29.9	25.5	23.7	16.9	17.6	12.9	7.9	1.4	3.6	
大川地区(n=311)	50.2	52.7	28.0	28.0	21.9	21.9	17.7	10.3	7.4	1.3	2.9	
志度地区(n=272)	57.4	47.8	25.0	26.1	23.9	18.0	21.7	12.5	5.9	3.3	3.7	
寒川地区(n=289)	52.2	49.1	29.8	23.9	19.0	18.3	17.6	11.8	8.3	1.0	4.5	
長尾地区(n=304)	56.6	50.0	31.3	27.0	19.4	17.1	16.1	11.8	6.3	0.3	5.3	
【年齢別】												
29歳以下(n=225)	44.0	44.9	13.8	39.1	30.2	21.8	11.6	10.7	5.3	1.3	7.6	
30代(n=184)	52.2	50.0	21.7	32.6	31.0	27.2	14.1	10.3	6.5	2.7	2.7	
40代(n=210)	59.0	49.5	30.0	27.6	28.1	19.0	13.3	11.0	5.7	0.5	3.8	
50代(n=242)	58.3	57.0	28.1	25.2	20.7	18.6	20.7	8.3	7.4	2.9	4.1	
60代(n=254)	59.1	52.8	34.3	23.6	14.2	21.3	20.9	13.0	7.9	0.8	2.4	
70歳以上(n=334)	54.2	45.8	38.3	15.6	12.3	8.7	23.7	15.9	8.7	0.9	3.6	

【時系列比較】

前回調査結果と比べ、「市民病院など地域医療の充実」「健康相談や健康教室の充実」がやや増加し、「フレイルや要介護状態にならないための介護予防の取組の充実」「保健師などによる訪問活動の推進」が減少している。



9 市民病院の利用状況

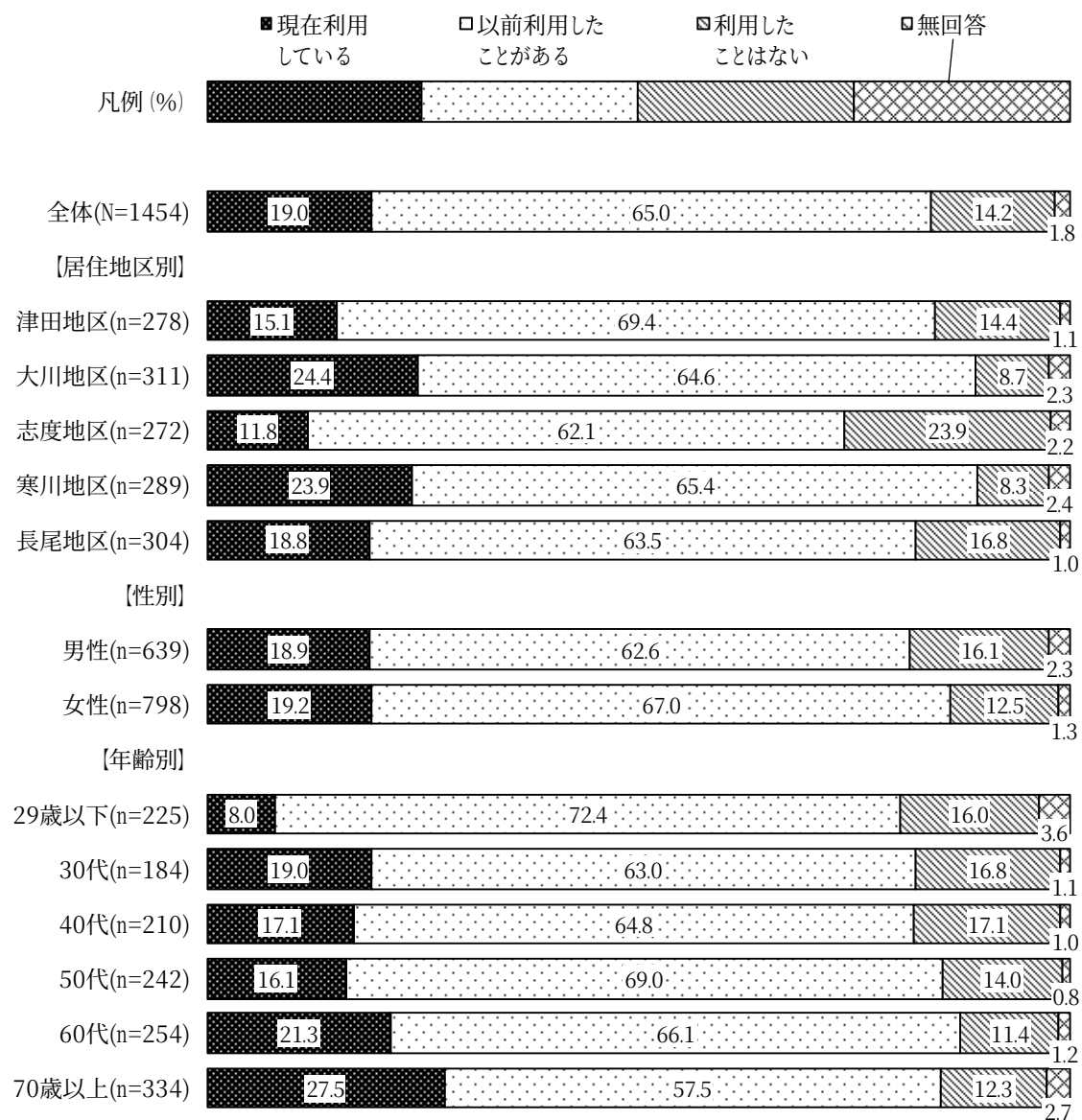
問 25 あなたは、市民病院を利用したことがありますか。（回答は1つ）

市民病院の利用状況については、「現在利用している」が19.0%、「以前利用したことがある」が65.0%、「利用したことはない」が14.2%となっている。

居住地区別では、大川地区や寒川地区で「現在利用している」、志度地区で「利用したことはない」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

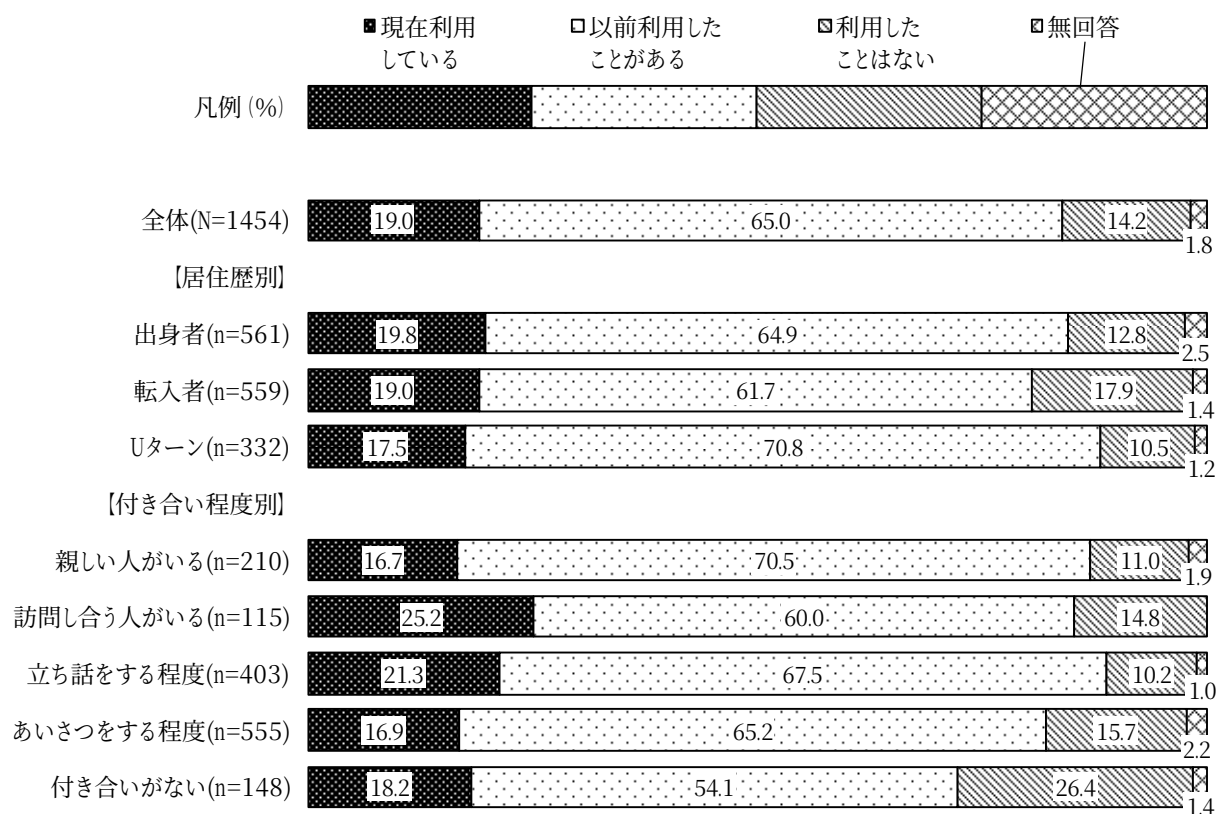
性別では、女性は男性に比べて「以前利用したことがある」の割合がやや高くなっている。

年齢別では、70歳以上で「現在利用している」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



居住歴別では、転入者で「利用したことはない」、Uターンで「以前利用したことがある」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

付き合い程度別では、付き合いがない層で「利用したことはない」の割合が他の層を大きく上回っている。

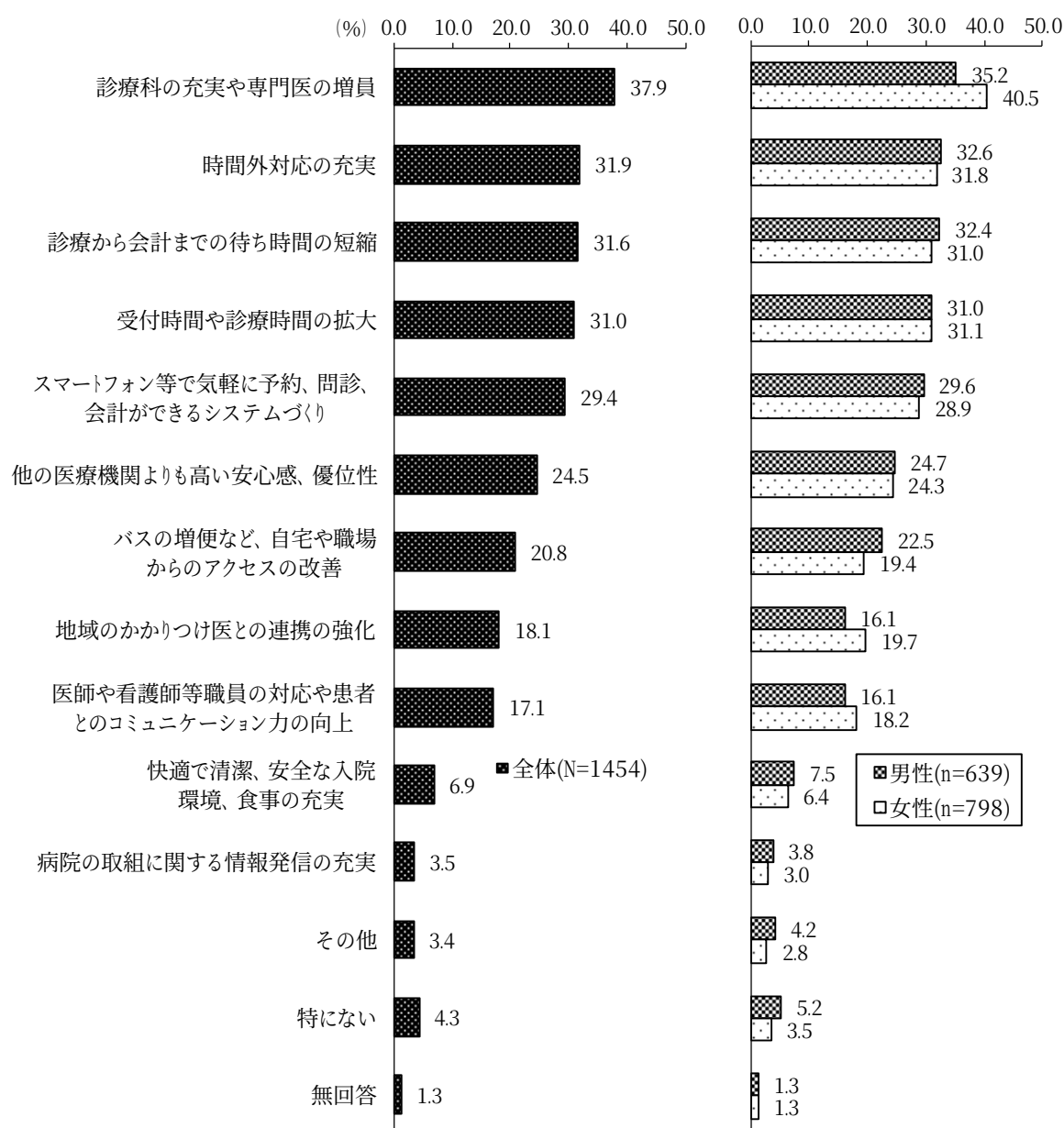


10 市民病院を利用しやすくするために力を入れるべきこと

問 26 市民病院が、市民の皆様にとってより利用しやすくなるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

市民病院を利用しやすくするために力を入れるべきことについては、「診療科の充実や専門医の増員」の割合が37.9%と最も高く、次いで「時間外対応の充実」（31.9%）、「診療から会計までの待ち時間の短縮」（31.6%）、「受付時間や診療時間の拡大」（31.0%）の順となっている。

性別では、女性は男性に比べて「診療科の充実や専門医の増員」の割合が高くなっている。



居住地区別では、津田地区で「バスの増便など、自宅や職場からのアクセスの改善」、大川地区で「時間外対応の充実」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、30代で「診療から会計までの待ち時間の短縮」「スマートフォン等で気軽に予約、問診、会計ができるシステムづくり」、60代で「診療科の充実や専門医の増員」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高く、年齢が上がるほど「他の医療機関よりも高い安心感、優位性」の割合が高くなっている。

市民病院の利用状況別（問25）では、現在利用している人で「時間外対応の充実」、以前利用したことがある人で「スマートフォン等で気軽に予約、問診、会計ができるシステムづくり」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

単位 (%)	診療科の充実や専門医の増員	時間外対応の充実	診療から会計までの待ち時間の短縮	受付時間や診療時間の拡大	予約、問診、会計ができるシステムづくり	スマートフォン等で気軽に予約、問診、会計ができるシステムづくり	心感、優位性	他の医療機関よりも高い安心感	バスの増便など、自宅や職場からのアクセスの改善	地域の強化	シヨンの力の向上	医師や看護師等職員の対応	境、食事の充実	快適で清潔、安全な入院環境	情報の充実	病院の取組に関する情報発信	特になし
全体(N=1454)	37.9	31.9	31.6	31.0	29.4	24.5	20.8	18.1	17.1	6.9	3.5	4.3					
【居住地区別】																	
津田地区(n=278)	38.1	32.0	29.5	35.3	29.5	20.1	31.3	18.0	16.9	6.5	3.2	4.3					
大川地区(n=311)	36.3	36.7	32.8	30.5	32.5	23.2	17.0	16.1	15.4	8.0	3.5	1.6					
志度地区(n=272)	39.3	26.1	32.4	26.5	25.4	25.7	27.9	16.9	16.9	5.5	3.7	6.3					
寒川地区(n=289)	38.1	32.2	29.1	33.6	27.3	25.6	14.9	17.6	19.4	8.0	3.5	4.8					
長尾地区(n=304)	37.8	31.9	33.9	29.3	31.9	27.6	14.1	21.7	17.1	6.6	3.6	4.9					
【年齢別】																	
29歳以下(n=225)	24.9	26.2	31.6	36.0	43.1	15.6	19.1	14.7	11.6	8.9	4.0	8.0					
30代(n=184)	26.1	30.4	40.2	36.4	54.3	18.5	17.4	15.8	9.8	10.3	3.3	5.4					
40代(n=210)	31.9	35.7	30.5	37.6	41.4	19.5	22.9	20.5	12.9	7.1	1.4	3.3					
50代(n=242)	43.8	36.0	29.3	36.0	28.5	23.1	24.0	17.4	20.2	5.8	2.1	2.1					
60代(n=254)	50.4	35.4	29.1	26.0	19.3	29.9	16.1	19.7	18.5	5.5	4.7	3.1					
70歳以上(n=334)	43.4	28.4	30.8	21.0	7.2	33.8	24.0	19.5	24.0	5.4	4.5	4.5					
【市民病院の利用状況別】																	
現在利用している(n=276)	40.2	37.3	29.0	28.3	23.6	26.1	23.2	18.8	15.9	6.2	4.0	3.6					
以前利用したことがある(n=945)	38.2	32.9	33.7	34.0	33.1	23.3	20.2	18.5	17.9	7.1	3.2	3.4					
利用したことはない(n=207)	36.7	22.2	28.0	23.7	22.7	30.0	22.2	16.9	16.4	7.7	4.3	9.2					

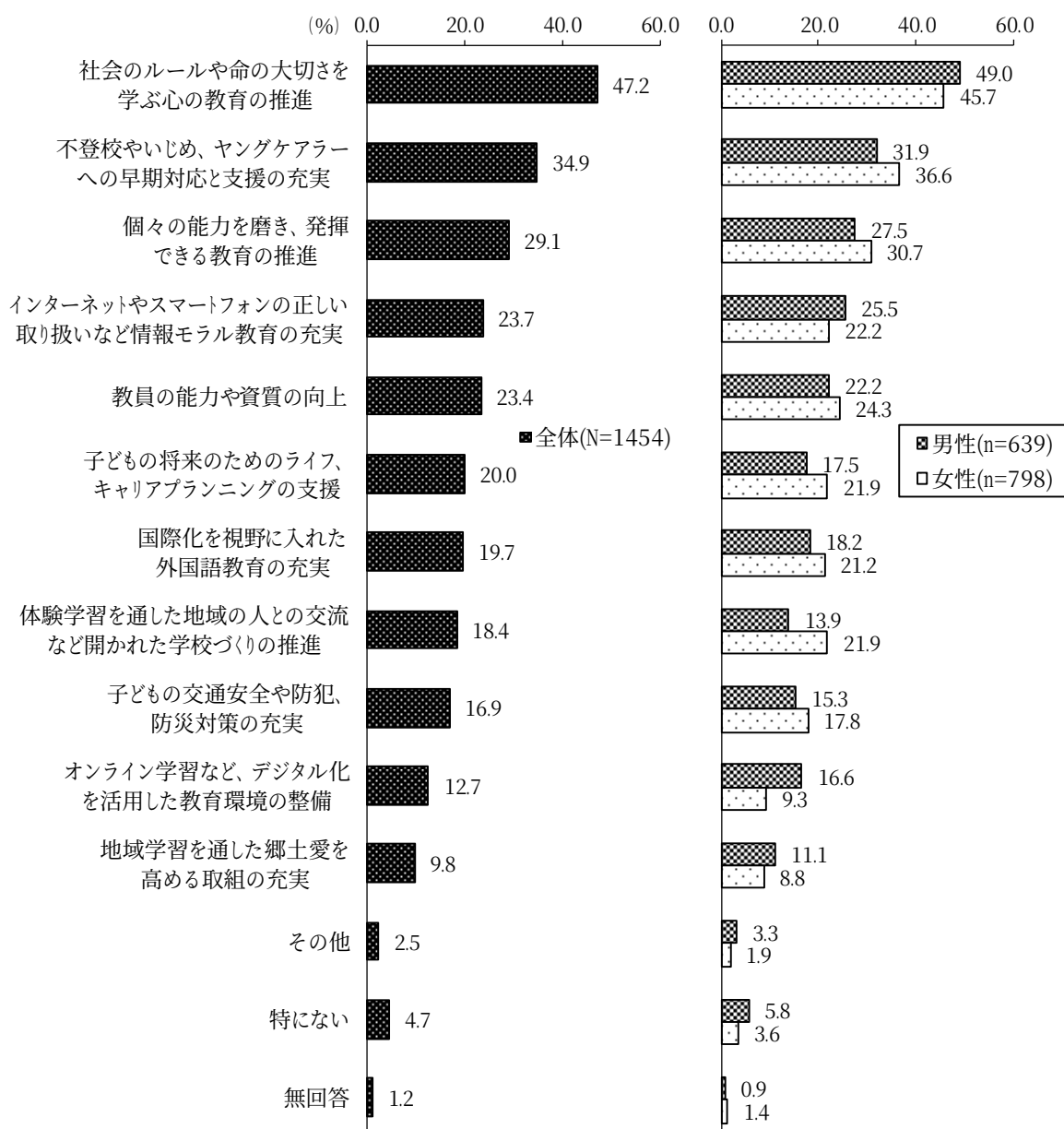
注：「その他」は表記から省略している。

11 学校教育に関して力を入れるべきこと

問 27 持続可能な社会の担い手となる子どもの、質の高い学校教育を支える環境をつくるために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
(回答は3つまで)

学校教育に関して力を入れるべきことについては、「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」の割合が47.2%と最も高く、次いで「不登校やいじめ、ヤングケアラーへの早期対応と支援の充実」(34.9%)、「個々の能力を磨き、発揮できる教育の推進」(29.1%)、「インターネットやスマートフォンの正しい取り扱いなど情報モラル教育の充実」(23.7%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「オンライン学習など、デジタル化を活用した教育環境の整備」の割合が高く、女性は「体験学習を通じた地域の人との交流など開かれた学校づくりの推進」の割合が男性を上回っている。



居住地区別では、大川地区で「インターネットやスマートフォンの正しい取り扱いなど情報モラル教育の充実」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

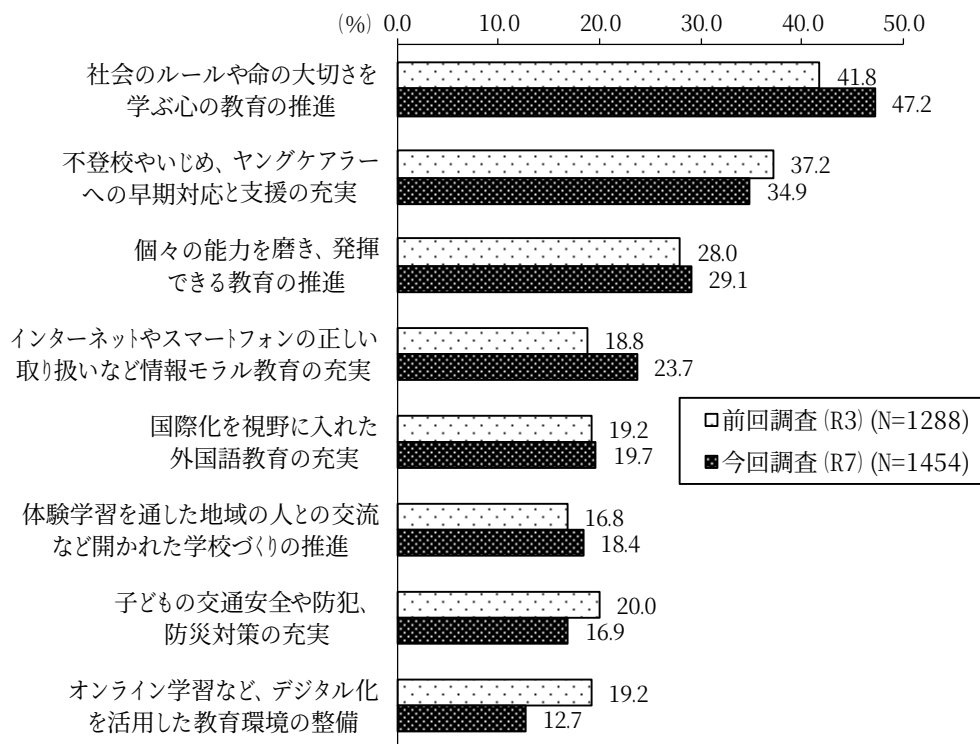
年齢別では、30代以下で「インターネットやスマートフォンの正しい取り扱いなど情報モラル教育の充実」、30代で「子どもの将来のためのライフ、キャリアプランニングの支援」、60代で「教員の能力や資質の向上」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位（％）	社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進	不登校やいじめ、ヤングケアラーへの早期対応と支援の充実	個々の能力を磨き、発揮できる教育の推進	情報モラル正しい取り扱いな	インターネットやスマートフォン	教員の能力や資質の向上	子どもの将来のためのライフ、キャリアプランニングの支援	国際化を視野に入れた外国語教育の充実	体験学習を通じた地域の人の交流など開かれた学校づくりの推進	子どもの交通安全や防犯、防災対策の充実	オンライン学習など、デジタル化を活用した教育環境の整備	地域学習を通じた郷土愛を高める取組の充実	特にない
全体(N=1454)	47.2	34.9	29.1	23.7	23.4	20.0	19.7	18.4	16.9	12.7	9.8	4.7	
【居住地区別】													
津田地区(n=278)	44.6	33.1	28.1	22.3	21.9	18.3	21.9	22.3	13.7	12.6	9.0	5.8	
大川地区(n=311)	51.1	34.1	33.1	28.6	21.2	19.6	18.0	17.0	15.4	10.6	11.9	1.9	
志度地区(n=272)	47.8	38.2	29.4	22.1	24.6	17.3	20.2	18.8	18.8	11.8	10.7	6.3	
寒川地区(n=289)	47.4	36.0	28.4	21.5	23.9	21.8	18.3	17.3	16.3	14.5	7.6	4.5	
長尾地区(n=304)	45.1	33.2	26.3	23.7	25.3	22.7	20.4	17.1	20.1	14.1	9.5	5.3	
【年齢別】													
29歳以下(n=225)	36.9	34.7	29.3	30.2	23.6	16.9	17.8	20.4	14.7	14.7	9.8	5.3	
30代(n=184)	45.1	34.2	33.2	29.3	19.0	30.4	22.3	17.9	19.0	16.8	8.2	2.7	
40代(n=210)	41.0	32.4	31.4	23.3	20.0	26.7	20.5	24.3	22.4	14.3	9.0	3.8	
50代(n=242)	49.6	31.8	29.3	22.7	25.6	20.2	22.3	17.4	19.8	14.0	9.5	4.1	
60代(n=254)	52.0	38.2	28.0	17.7	30.7	16.1	18.1	20.5	14.2	10.2	11.4	5.1	
70歳以上(n=334)	54.5	36.2	25.7	21.9	21.0	14.7	18.9	13.2	13.5	9.3	9.9	6.0	

注：「その他」は表記から省略している。

【時系列比較】

前回調査結果と比べ、「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」「インターネットやスマートフォンの正しい取り扱いなど情報モラル教育の充実」が増加し、「オンライン学習など、デジタル化を活用した教育環境の整備」が減少している。

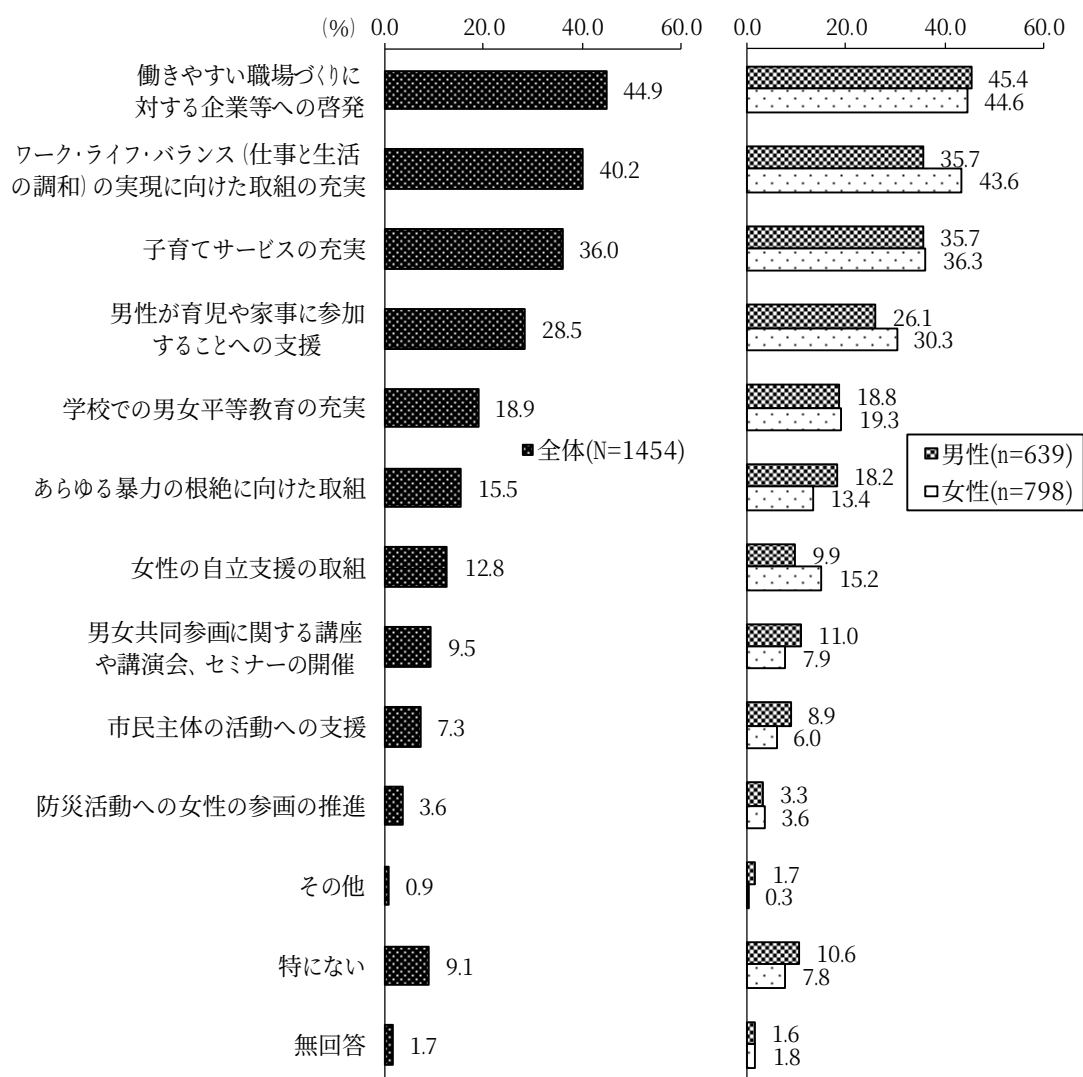


12 男女共同参画を推進するために力を入れるべきこと

問 28 あなたは、性別にかかわらず誰もが家庭や職場、地域における活動を両立し、社会のあらゆる分野に参画していくために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

男女共同参画を推進するために力を入れるべきことについては、「働きやすい職場づくりに対する企業等への啓発」の割合が44.9%と最も高く、次いで「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に向けた取組の充実」（40.2%）、「子育てサービスの充実」（36.0%）、「男性が育児や家事に参加することへの支援」（28.5%）の順となっている。

性別では、女性は男性に比べて「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に向けた取組の充実」「男性が育児や家事に参加することへの支援」「女性の自立支援の取組」などの割合が高くなっている。



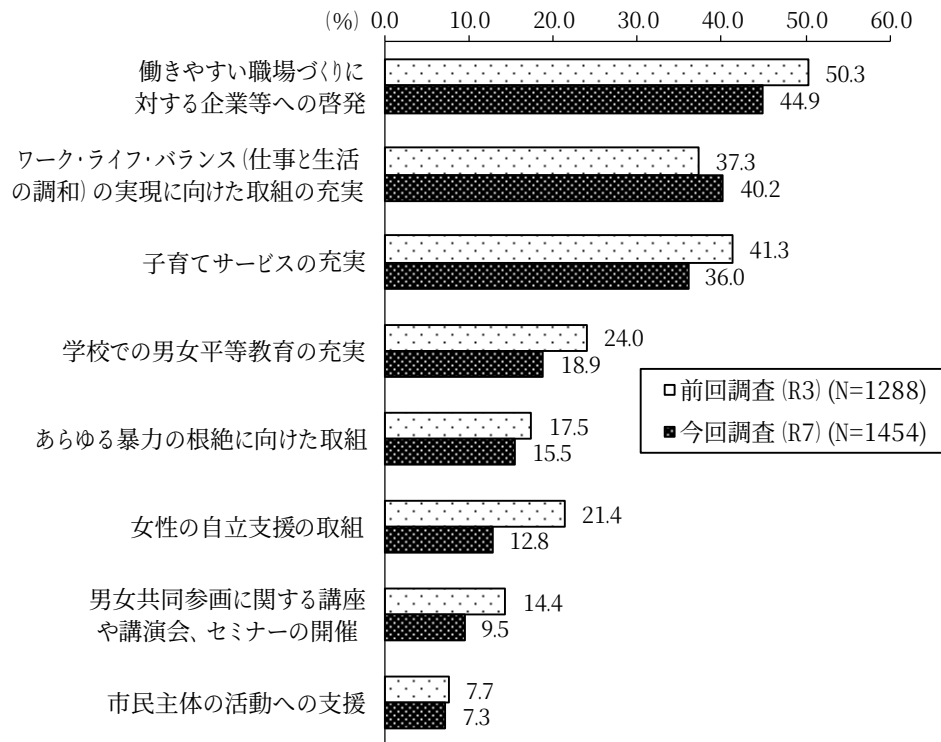
居住地区別では、大川地区で「学校での男女平等教育の充実」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、30代以下で「子育てサービスの充実」、30代で「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に向けた取組の充実」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位（％）	働きやすい職場づくりに対する企業等への啓発	現（仕事と生活の調和）の実現に向けた取組の充実	ワーク・ライフ・バランス	子育てサービスの充実	男性が育児や家事に参加することへの支援	学校での男女平等教育の充実	あらゆる暴力の根絶に向けた取組	女性の自立支援の取組	男女共同参画に関する講座や講演会、セミナーの開催	市民主体の活動への支援	防災活動への女性の参画の推進	その他	特にない
全体(N=1454)	44.9	40.2	36.0	28.5	18.9	15.5	12.8	9.5	7.3	3.6	0.9	9.1	
【居住地区別】													
津田地区(n=278)	43.5	43.2	32.4	28.4	18.3	15.5	11.9	10.4	7.6	2.5	1.4	10.1	
大川地区(n=311)	46.6	38.3	37.0	26.4	26.7	15.4	13.5	8.4	7.4	4.5	1.0	7.1	
志度地区(n=272)	43.4	39.3	37.9	31.6	14.7	18.8	14.7	9.2	5.9	3.3	1.1	8.8	
寒川地区(n=289)	43.6	41.9	32.9	28.4	15.6	13.5	11.8	11.1	7.6	4.5	0.7	10.4	
長尾地区(n=304)	47.0	38.8	39.5	28.0	18.4	14.5	12.2	8.6	7.9	3.0	0.3	9.2	
【年齢別】													
29歳以下(n=225)	42.7	45.8	45.3	34.2	24.4	12.4	12.9	5.8	4.9	1.8	0.9	6.2	
30代(n=184)	48.4	49.5	48.4	32.1	17.4	16.3	11.4	3.8	4.3	1.6	2.2	6.0	
40代(n=210)	48.6	45.7	40.0	26.7	21.0	10.5	12.9	6.2	7.1	3.8	0.5	9.5	
50代(n=242)	45.5	38.8	36.0	32.2	16.1	14.5	14.5	12.0	4.5	5.4	1.2	7.9	
60代(n=254)	46.9	38.6	30.7	25.6	19.3	18.5	11.4	11.8	8.7	3.1	0.4	9.1	
70歳以上(n=334)	40.7	30.8	24.9	22.8	16.8	18.6	13.2	13.5	11.7	4.5	0.6	13.5	

【時系列比較】

前回調査結果と比べ、「働きやすい職場づくりに対する企業等への啓発」「子育てサービスの充実」「学校での男女平等教育の充実」「女性の自立支援の取組」などが減少している。

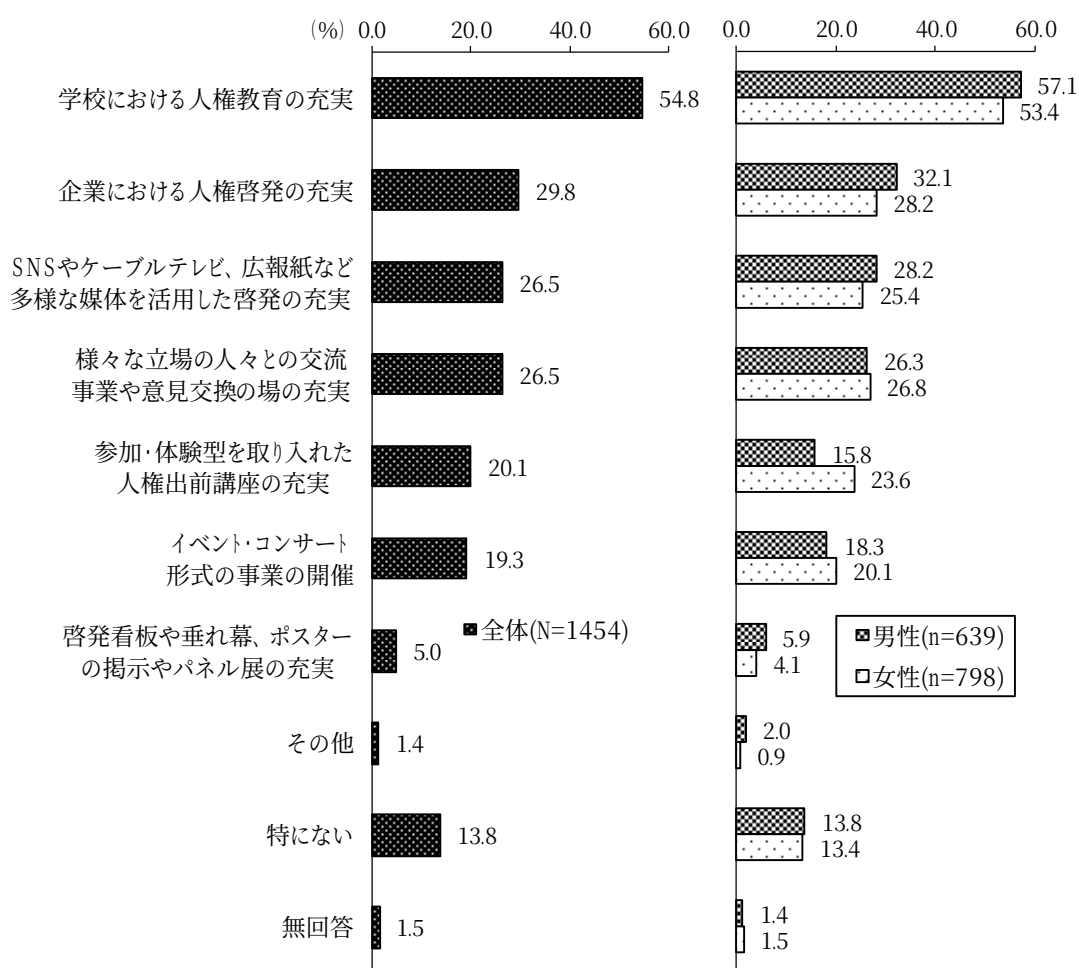


13 人権を大切にするために力を入れるべきこと

問 29 「一人ひとりの人権が大切にされる、住みやすいさぬき市」を実現するために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
(回答は3つまで)

人権を大切にするために力を入れるべきことについては、「学校における人権教育の充実」の割合が54.8%と最も高く、次いで「企業における人権啓発の充実」(29.8%)、「SNSやケーブルテレビ、広報紙など多様な媒体を活用した啓発の充実」「様々な立場の人々との交流事業や意見交換の場の充実」(各26.5%)の順となっている。

性別では、女性は男性に比べて「参加・体験型を取り入れた人権出前講座の充実」の割合が高くなっている。



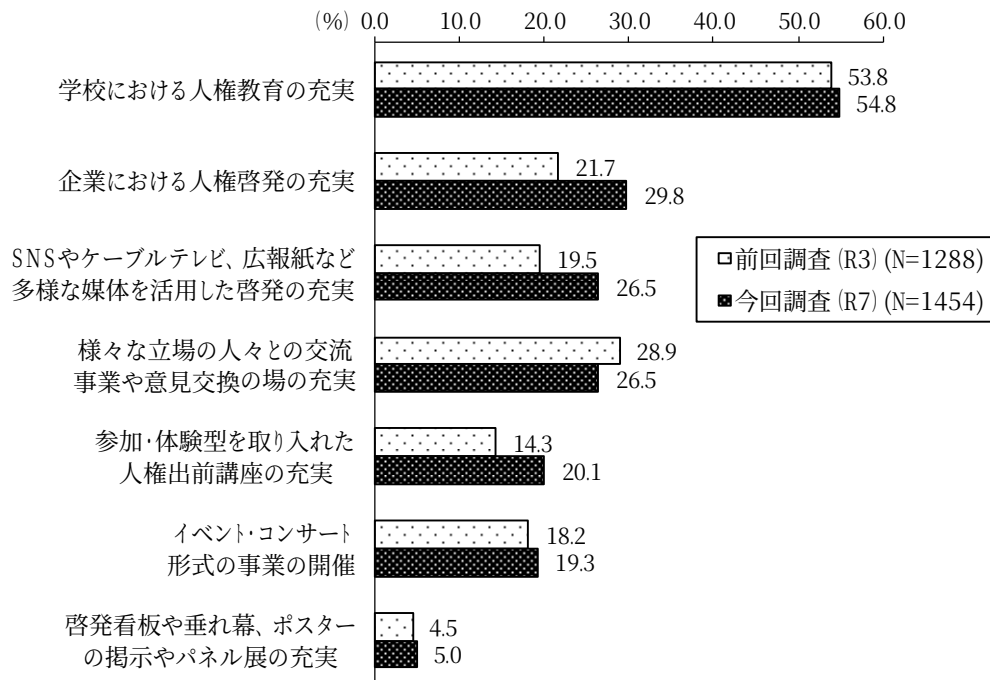
居住地区別では、津田地区や志度地区で「様々な立場の人々との交流事業や意見交換の場の充実」、寒川地区で「参加・体験型を取り入れた人権出前講座の充実」の割合がそれぞれ他の地区に比べてやや高くなっている。

年齢別では、30代で「学校における人権教育の充実」、50～60代で「企業における人権啓発の充実」、60代以上で「様々な立場の人々との交流事業や意見交換の場の充実」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位（％）	学校における人権教育の充実	企業における人権啓発の充実	報道など多様な媒体を活用した啓発の充実	SNSやケーブルテレビ、広	業や意見交換の場の充実	様々な立場の人々との交流事	権出前講座の充実	参加・体験型を取り入れた人	事業の開催	イベント・コンサート形式の	啓発看板や垂れ幕、ポスターの掲示やパネル展の充実	その他	特にない
全体(N=1454)	54.8	29.8	26.5	26.5	20.1	19.3	5.0	1.4	13.8				
【居住地区別】													
津田地区(n=278)	49.3	28.8	26.3	29.9	19.1	22.3	4.3	1.8	16.9				
大川地区(n=311)	58.8	30.9	28.3	25.4	19.0	19.6	7.1	1.0	12.9				
志度地区(n=272)	55.9	32.7	25.7	28.7	19.9	21.3	5.1	2.9	11.8				
寒川地区(n=289)	53.3	29.8	28.0	23.9	23.2	15.6	3.5	0.7	13.8				
長尾地区(n=304)	56.3	27.0	24.3	25.0	19.4	17.8	4.6	0.7	13.8				
【年齢別】													
29歳以下(n=225)	53.3	26.7	28.0	22.7	14.7	24.0	5.8	0.9	15.1				
30代(n=184)	64.7	26.6	32.1	21.7	18.5	20.1	3.8	2.2	14.1				
40代(n=210)	56.7	31.0	24.3	22.4	23.3	20.5	7.6	0.5	14.3				
50代(n=242)	50.8	33.9	19.4	24.8	20.2	19.8	5.4	3.7	15.3				
60代(n=254)	52.4	34.6	26.4	32.7	22.8	23.6	3.9	0.8	10.2				
70歳以上(n=334)	54.5	26.3	29.0	31.1	20.7	11.4	3.6	0.6	14.1				

【時系列比較】

前回調査結果と比べ、「企業における人権啓発の充実」「SNSやケーブルテレビ、広報紙など多様な媒体を活用した啓発の充実」「参加・体験型を取り入れた人権出前講座の充実」が増加している。

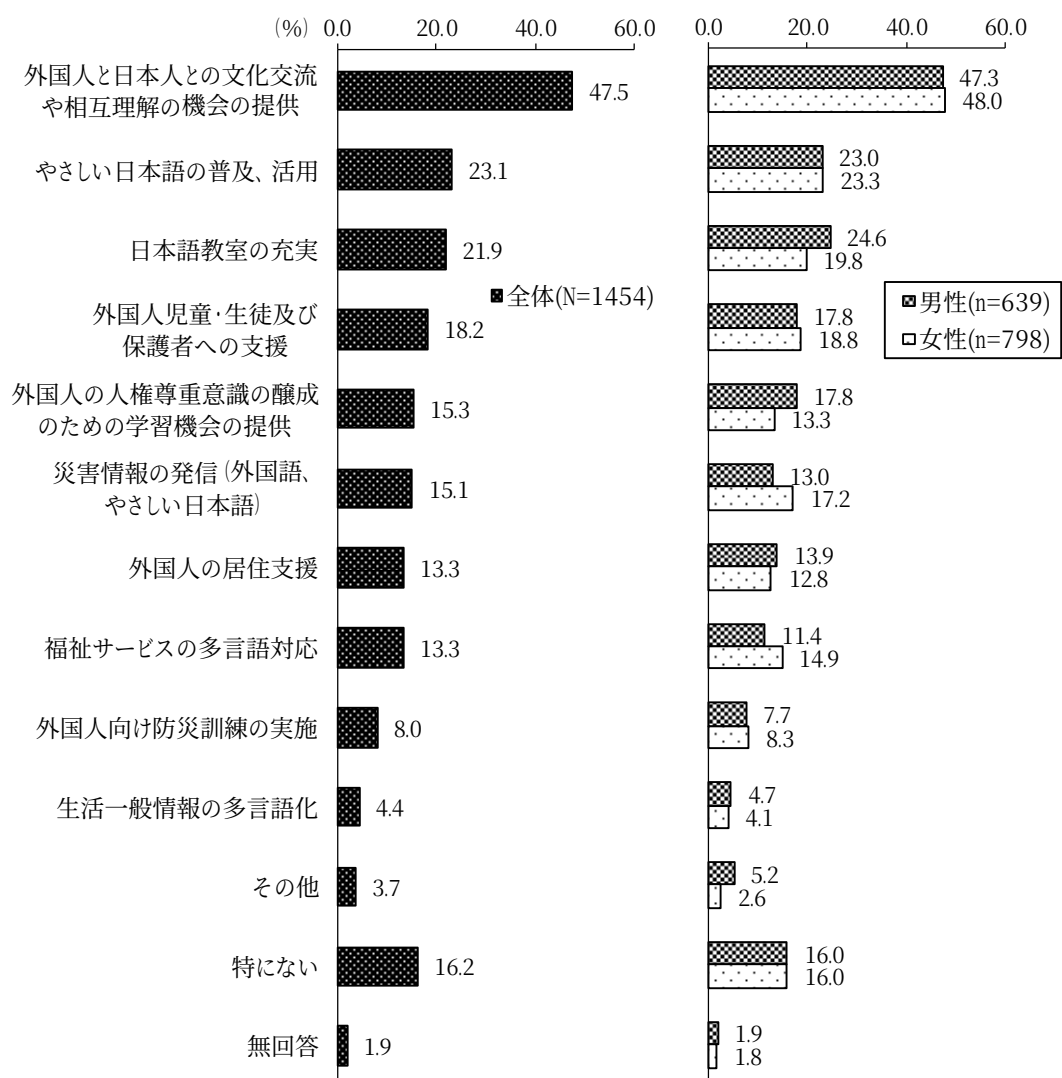


14 多文化共生に向けて力を入れるべきこと

問 30 日本人住民と外国人住民が共に安心して暮らし、活躍できる地域社会にするため、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
(回答は3つまで)

多文化共生に向けて力を入れるべきことについては、「外国人と日本人との文化交流や相互理解の機会の提供」の割合が47.5%と最も高く、次いで「やさしい日本語の普及、活用」(23.1%)、「日本語教室の充実」(21.9%)、「外国人児童・生徒及び保護者への支援」(18.2%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「日本語教室の充実」「外国人の人権尊重意識の醸成のための学習機会の提供」の割合がやや高くなっている。



居住地区別では、志度地区で「災害情報の発信（外国語、やさしい日本語）」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、40代や60代で「外国人児童・生徒及び保護者への支援」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	外国人と日本人との文化交流の機会提供	やさしい日本語の普及、活用	日本語教室の充実	外国人児童・生徒及び保護者への支援	外国人の学習・生活の権利尊重意識の醸成	災害情報の発信（外国語、やさしい日本語）	外国人の居住支援	福祉サービスの多言語対応	外国人向け防災訓練の実施	生活一般情報の多言語化	その他	特になし
全体(N=1454)	47.5	23.1	21.9	18.2	15.3	15.1	13.3	13.3	8.0	4.4	3.7	16.2
【居住地区別】												
津田地区(n=278)	49.3	23.0	21.6	19.1	14.4	12.6	12.9	15.1	8.6	4.7	6.5	14.7
大川地区(n=311)	51.4	23.8	23.2	16.4	13.8	15.8	12.5	12.9	8.4	2.9	3.9	16.1
志度地区(n=272)	48.9	21.3	21.7	18.8	15.1	21.0	12.1	14.7	7.0	7.4	3.3	15.1
寒川地区(n=289)	44.3	25.6	22.1	19.4	17.3	13.5	15.9	12.5	8.3	4.5	1.7	15.2
長尾地区(n=304)	43.4	21.7	20.7	17.8	16.1	13.2	12.8	11.8	7.9	3.0	3.3	19.4
【年齢別】												
29歳以下(n=225)	40.0	20.4	19.1	13.3	15.1	16.0	13.3	15.6	10.7	2.7	3.6	17.3
30代(n=184)	47.8	19.0	21.7	15.2	15.2	14.1	13.0	9.2	9.2	6.5	8.2	21.2
40代(n=210)	45.2	24.8	24.8	23.3	13.8	17.6	14.8	12.9	11.0	3.8	3.8	16.2
50代(n=242)	48.3	22.3	24.0	15.3	16.5	14.5	12.8	12.4	7.0	6.2	4.1	16.1
60代(n=254)	51.6	26.4	20.1	23.2	15.7	14.6	13.0	15.4	6.3	5.1	3.1	13.0
70歳以上(n=334)	50.6	24.3	21.9	18.6	15.6	14.1	13.2	13.2	6.0	3.0	1.5	15.0

なお「生活一般情報の多言語化」については、自由記述により、その内容を尋ねたところ、以下のような回答がみられた。（要約）

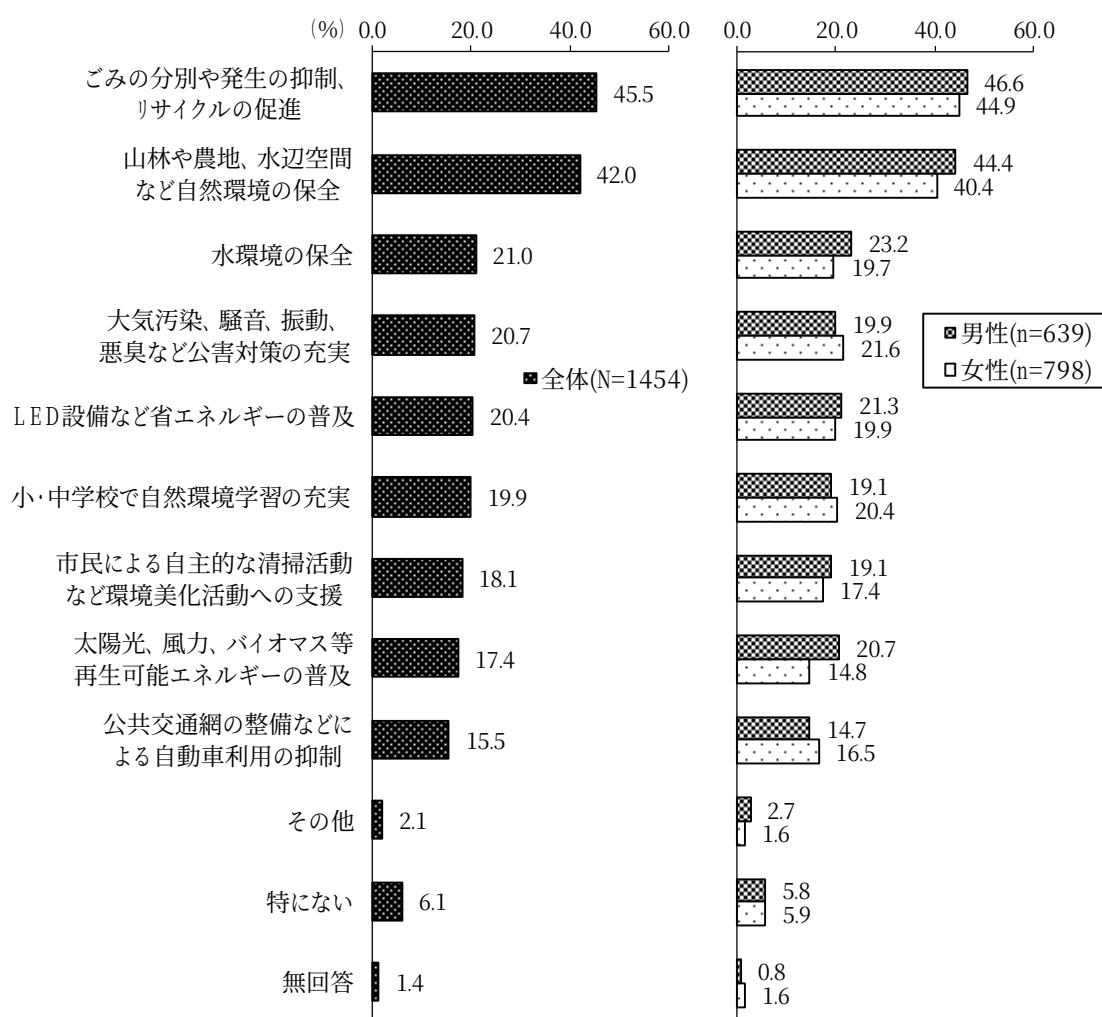
- ・ ごみ収集日や分別方法、交通ルール（自転車・自動車含む）、地域の基本的な生活マナーを理解してもらう。
- ・ 広報資料、防災・防犯情報、避難行動案内、公共交通機関の案内などを多言語化する。
- ・ 市役所の窓口、ポスターや看板、スーパーの音声案内、病院や福祉施設などで多言語表示や自動翻訳機を導入する。
- ・ 居住地域の地図や生活に必要な情報（街角情報）を多言語で提供する。
- ・ 外国人が日本語や日本文化を理解することで、双方が安心して暮らせる。

15 環境保全に関して力を入れるべきこと

問 31 人と地球にやさしい環境づくりに向けた取組として、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

環境保全に関して力を入れるべきことについては、「ごみの分別や発生の抑制、リサイクルの促進」の割合が45.5%と最も高く、次いで「山林や農地、水辺空間など自然環境の保全」（42.0%）、「水環境の保全」（21.0%）、「大気汚染、騒音、振動、悪臭など公害対策の充実」（20.7%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「太陽光、風力、バイオマス等再生可能エネルギーの普及」の割合が高くなっている。



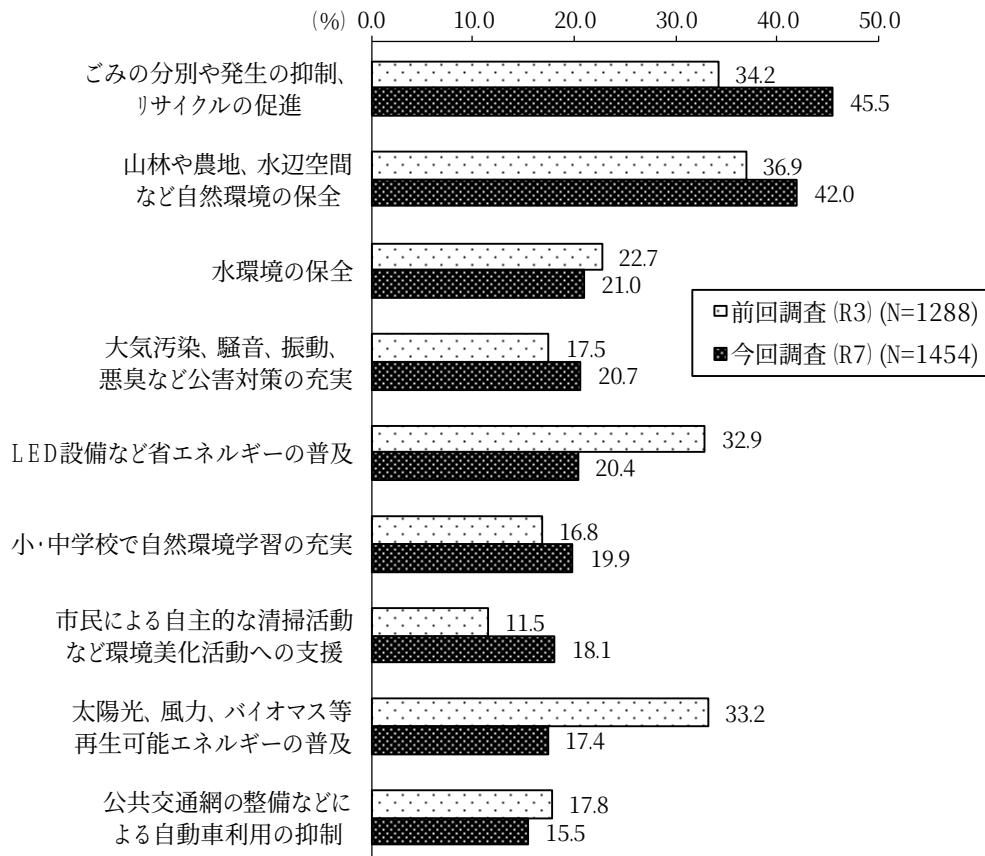
居住地区別では、志度地区や寒川地区で「ごみの分別や発生の抑制、リサイクルの促進」、津田地区や志度地区で「水環境の保全」の割合がそれぞれ他の地区に比べてやや高くなっている。

年齢別では、30代で「小・中学校で自然環境学習の充実」、60代以上で「山林や農地、水辺空間など自然環境の保全」、70歳以上で「ごみの分別や発生の抑制、リサイクルの促進」「市民による自主的な清掃活動など環境美化活動への支援」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	ごみの分別や発生の抑制、リサイクルの促進	山林や農地、水辺空間など自然環境の保全	水環境の保全	大気汚染、騒音、振動、悪臭など公害対策の充実	LED設備など省エネルギーの普及	小・中学校で自然環境学習の充実	市民による自主的な清掃活動など環境美化活動への支援	再生可能エネルギーの普及	太陽光、風力、バイオマス等	公共交通網の整備などによる自動車利用の抑制	その他	特になし
全体(N=1454)	45.5	42.0	21.0	20.7	20.4	19.9	18.1	17.4	15.5	2.1	6.1	
【居住地区別】												
津田地区(n=278)	45.0	41.4	23.7	19.4	18.7	15.8	18.7	15.5	15.5	1.4	7.6	
大川地区(n=311)	41.8	45.7	18.3	23.5	22.5	19.0	19.0	18.0	14.8	3.5	5.8	
志度地区(n=272)	49.3	39.3	25.4	21.7	20.2	18.8	17.6	18.8	16.5	2.9	4.8	
寒川地区(n=289)	48.1	41.5	19.0	20.1	18.3	21.1	19.4	20.1	14.9	1.0	5.2	
長尾地区(n=304)	44.1	41.8	19.4	18.8	22.0	24.3	15.8	14.8	16.1	1.3	7.2	
【年齢別】												
29歳以下(n=225)	44.4	34.2	17.3	20.9	20.4	23.1	17.8	13.8	13.8	1.3	8.9	
30代(n=184)	41.8	38.6	18.5	22.3	23.9	29.3	10.9	16.8	11.4	2.7	7.6	
40代(n=210)	32.4	38.1	28.1	25.7	24.3	23.3	17.6	20.0	20.5	1.9	6.2	
50代(n=242)	44.6	33.9	21.5	21.9	23.6	20.2	12.8	20.2	20.2	4.5	5.4	
60代(n=254)	46.1	51.2	24.0	20.5	21.3	13.0	18.9	16.9	15.0	2.0	4.3	
70歳以上(n=334)	56.9	50.6	18.0	15.6	12.9	15.3	25.4	17.1	13.2	0.6	5.4	

【時系列比較】

前回調査結果と比べ、「ごみの分別や発生の抑制、リサイクルの促進」「山林や農地、水辺空間など自然環境の保全」「市民による自主的な清掃活動など環境美化活動への支援」などが増加し、「LED設備など省エネルギーの普及」「太陽光、風力、バイオマス等再生可能エネルギーの普及」が大きく減少している。

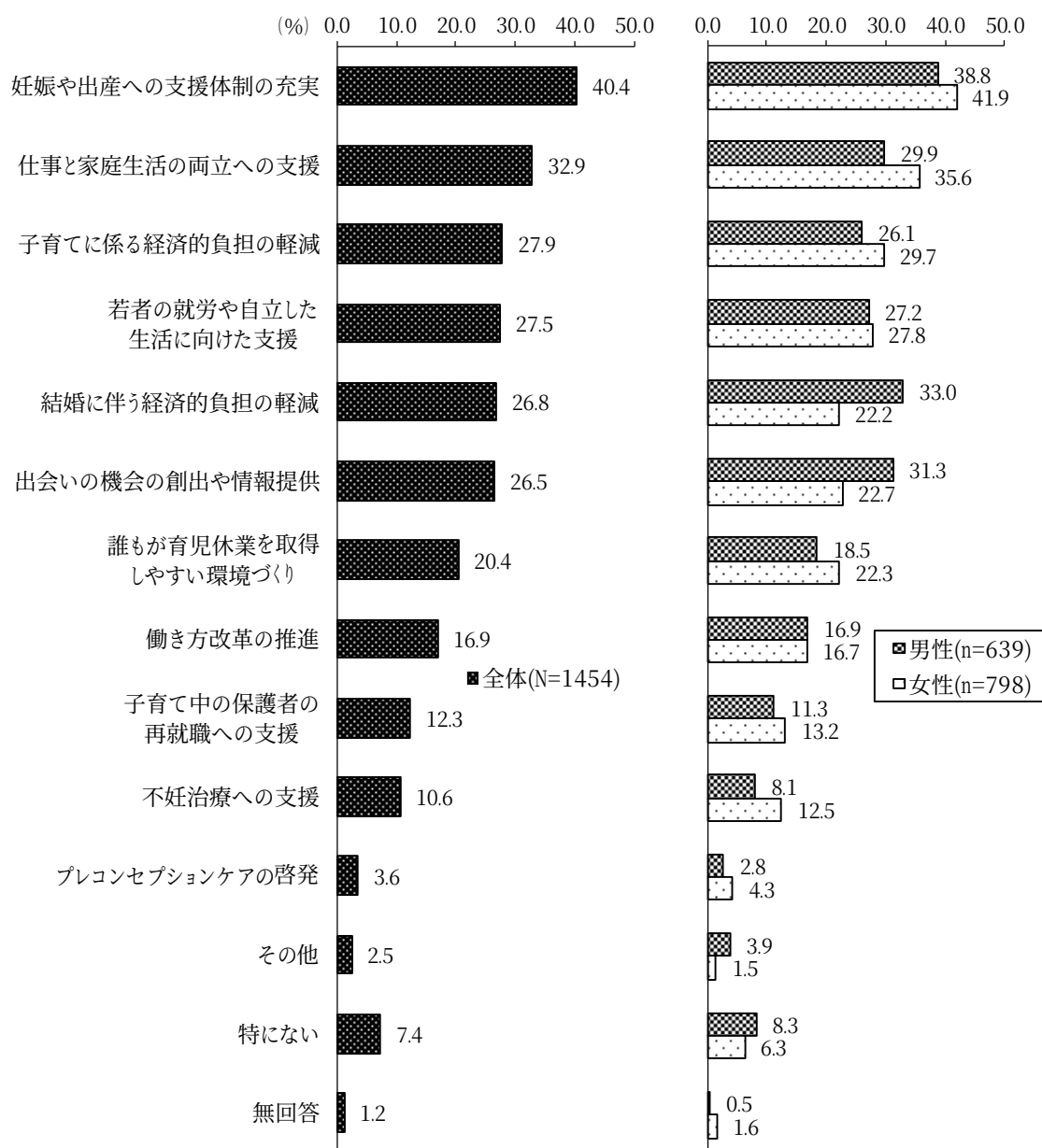


16 少子化対策として力を入れるべきこと

問 32 あなたは、少子化への対策として、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

少子化対策として力を入れるべきことについては、「妊娠や出産への支援体制の充実」の割合が40.4%と最も高く、次いで「仕事と家庭生活の両立への支援」（32.9%）、「子育てに係る経済的負担の軽減」（27.9%）、「若者の就労や自立した生活に向けた支援」（27.5%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「結婚に伴う経済的負担の軽減」「出会いの機会の創出や情報提供」の割合が高く、女性は「仕事と家庭生活の両立への支援」の割合が男性を上回っている。



居住地区別では、津田地区や寒川地区で「仕事と家庭生活の両立への支援」、長尾地区で「子育てに係る経済的負担の軽減」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、30代以下で「妊娠や出産への支援体制の充実」「結婚に伴う経済的負担の軽減」、30代で「子育てに係る経済的負担の軽減」、60代で「仕事と家庭生活の両立への支援」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

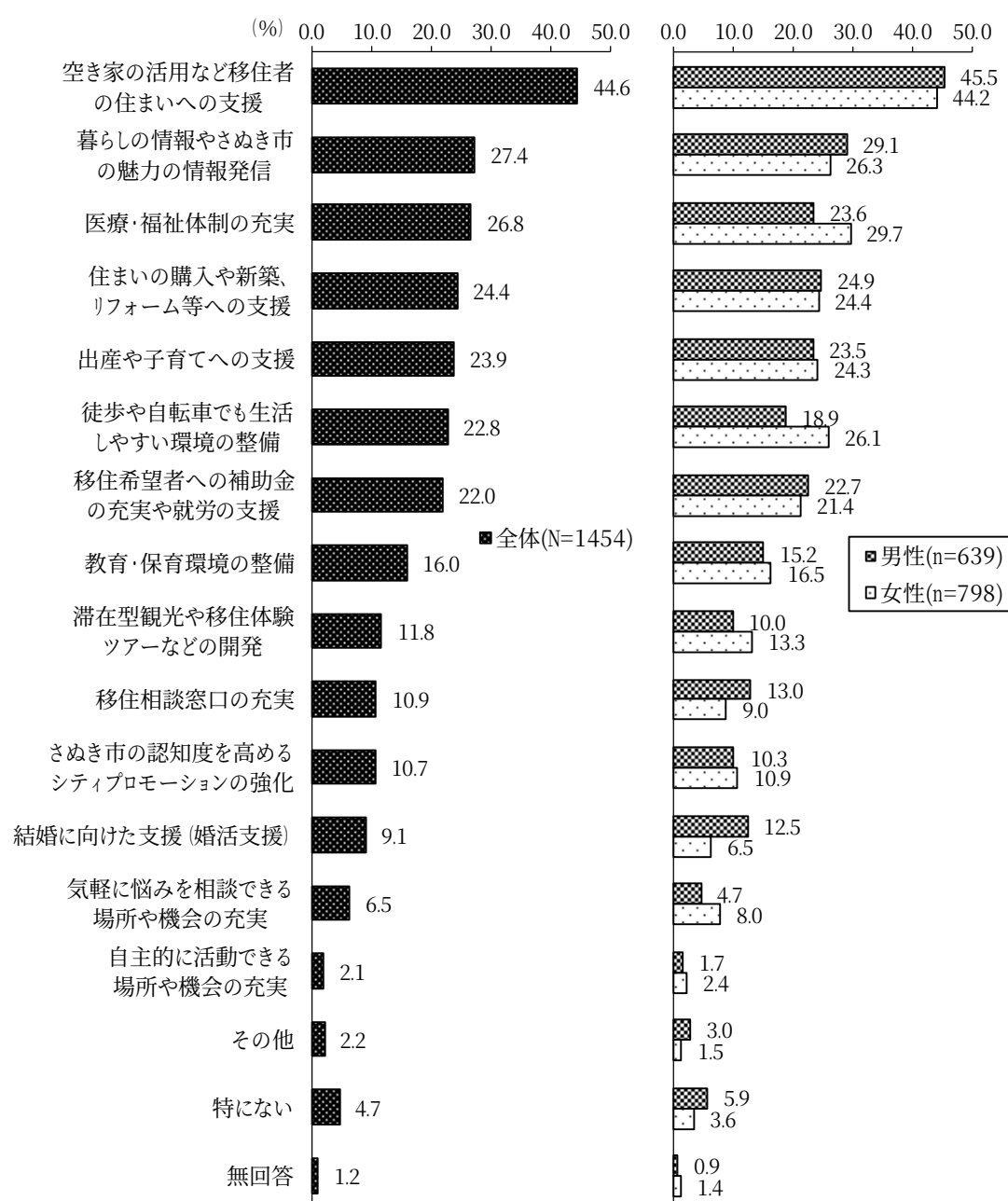
単位 (%)	実 妊 娠 や 出 産 へ の 支 援 体 制 の 充 実	援 仕 事 と 家 庭 生 活 の 両 立 へ の 支 援	減 子 育 て に 係 る 経 済 的 負 担 の 軽 減	向 若 者 の 就 労 や 自 立 し た 生 活 に 関 心 を も た せ る 支 援	結 婚 に 伴 う 経 済 的 負 担 の 軽 減	供 出 会 い の 機 会 の 創 出 や 情 報 提 供	誰 も が 育 児 休 業 を 取 得 し や す い 環 境 づ く り	働 き 方 改 革 の 推 進	子 育 て 中 の 保 護 者 の 再 就 職 へ の 支 援	不 妊 治 療 へ の 支 援	発 プ レ コ ン セ プ シ ョ ン ケ ア の 啓 蒙	そ の 他	特 に な い
全体(N=1454)	40.4	32.9	27.9	27.5	26.8	26.5	20.4	16.9	12.3	10.6	3.6	2.5	7.4
【居住地区別】													
津田地区(n=278)	39.6	36.0	25.9	26.6	27.7	28.4	21.6	17.3	9.0	9.7	2.9	3.2	7.9
大川地区(n=311)	40.5	30.5	28.0	29.6	28.9	26.7	19.9	15.8	12.5	11.9	2.6	3.9	5.5
志度地区(n=272)	41.9	30.5	26.8	26.1	25.4	23.2	19.9	18.4	13.6	12.5	4.8	3.3	8.1
寒川地区(n=289)	40.1	36.0	26.3	29.4	24.6	27.0	21.1	15.9	13.1	9.3	4.5	0.3	5.9
長尾地区(n=304)	39.8	31.9	31.9	25.7	27.3	27.3	19.7	17.4	13.2	9.5	3.6	2.0	9.5
【年齢別】													
29歳以下(n=225)	53.3	25.8	24.9	23.1	43.1	26.2	19.6	15.6	8.9	11.6	2.7	2.7	7.6
30代(n=184)	56.0	29.9	38.6	20.1	39.7	29.3	14.1	16.8	10.9	14.7	3.8	3.3	5.4
40代(n=210)	45.7	35.2	30.5	24.8	29.5	21.0	20.5	19.0	15.2	16.2	4.8	2.4	7.6
50代(n=242)	36.8	30.2	30.2	31.4	26.4	25.6	17.4	21.1	11.2	12.8	5.4	5.4	5.4
60代(n=254)	33.5	39.0	26.0	27.2	17.3	28.0	21.7	16.9	13.0	9.8	3.1	2.0	7.1
70歳以上(n=334)	28.1	35.3	22.5	33.5	14.7	28.7	24.9	13.8	13.8	3.3	2.7	0.6	9.6

17 移住や定住を促進するために力を入れるべきこと

問 33 さぬき市への移住や定住を促進するために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

移住や定住を促進するために力を入れるべきことについては、「空き家の活用など移住者の住まいへの支援」の割合が44.6%と最も高く、次いで「暮らしの情報やさぬき市の魅力の情報発信」（27.4%）、「医療・福祉体制の充実」（26.8%）、「住まいの購入や新築、リフォーム等への支援」（24.4%）の順となっている。

性別では、女性は男性に比べて「医療・福祉体制の充実」「徒歩や自転車でも生活しやすい環境の整備」の割合が高くなっている。



居住地区別では、津田地区で「徒歩や自転車でも生活しやすい環境の整備」、長尾地区で「医療・福祉体制の充実」の割合がそれぞれ他の地区に比べてやや高くなっている。

単位 (%)	援住空 者の家の 住まいの 活用など 支移	信き暮 市のらし の魅力の 情報やさ 報報さぬ	実医療 ・福祉 体制の充	の築、住 支、まい 援、リの フフォー ム入や ム等新 へ	援出 産や子 育てへ の支	備活 しやす い環境 でも整	援金移 の住希 充実望 や者へ 就労の 補助	備教育 ・保育 環境の 整備	験滞 ツ在 アー 型観 光や の移 住体	移住 相談 窓口 の充 実
全体(N=1454)	44.6	27.4	26.8	24.4	23.9	22.8	22.0	16.0	11.8	10.9
【居住地区別】										
津田地区(n=278)	43.2	27.7	27.7	18.0	24.5	26.3	21.2	14.7	14.0	11.5
大川地区(n=311)	47.6	27.3	25.1	25.1	23.5	22.2	24.8	14.8	13.8	9.0
志度地区(n=272)	48.9	27.6	26.8	25.0	23.5	24.6	22.4	16.9	9.2	11.0
寒川地区(n=289)	46.7	28.4	24.6	26.6	22.5	19.7	22.1	14.2	13.1	11.4
長尾地区(n=304)	37.2	26.3	29.9	27.0	25.7	21.7	19.4	19.1	8.6	11.8

単位 (%)	モ高さ ーめぬ シるき ン市の テの認 のイ知 の強プ 化口度 を	(結 婚婚 活に 支向 援け た支 援)	実き る場 に悩 みや みを 相会 談の 充談 で	場自 所主 や的 に機 会に 活動 の充 実で きる	そ の 他	特 に ない
全体(N=1454)	10.7	9.1	6.5	2.1	2.2	4.7
【居住地区別】						
津田地区(n=278)	9.7	8.3	7.9	2.2	4.0	5.8
大川地区(n=311)	10.0	10.9	7.7	1.6	2.6	2.9
志度地区(n=272)	11.0	9.6	2.2	1.5	1.8	4.0
寒川地区(n=289)	11.8	7.6	8.0	2.1	1.0	4.8
長尾地区(n=304)	10.9	8.9	6.3	3.0	1.6	6.3

年齢別では、30代で「住まいの購入や新築、リフォーム等への支援」「出産や子育てへの支援」「教育・保育環境の整備」、70歳以上で「暮らしの情報やさぬき市の魅力の情報発信」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高く、年齢が上がるほど「空き家の活用など移住者の住まいへの支援」の割合が高くなっている。

居住歴別では、出身者で「暮らしの情報やさぬき市の魅力の情報発信」、Uターンで「移住希望者への補助金の充実や就労の支援」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

単位 (%)	援住空 者の家の 住の活用 へのなど 支移	信き市 市のの 魅力の情 報や報さ 発ぬ	暮ら のし 情報や 報さぬ	実医療 ・福祉 体制の 充	の支 援	築、ま いの購 入や新 へ	住、ま いの購 入や新 へ	援出 産や子 育てへ の支	備活 しやす い転車 環境で も整生	援金 の充 実や就 労の補 支助	移住 希望者 への補 支助	備教育 ・保育 環境の 整	験滞 ツ在 ア型 ！観 な光 やの 移開 住住 体体	移住 相談 窓口 の充 実
全体(N=1454)	44.6	27.4	26.8	24.4	23.9	22.8	22.0	16.0	11.8	10.9				
【年齢別】														
29歳以下(n=225)	31.1	25.8	22.2	21.3	36.9	25.8	15.1	19.6	9.8	10.2				
30代(n=184)	34.2	23.9	28.3	35.9	47.8	18.5	27.2	26.1	9.8	4.3				
40代(n=210)	45.2	21.4	31.0	27.6	25.2	27.1	22.4	19.5	16.2	8.1				
50代(n=242)	46.3	25.2	28.1	28.5	16.1	25.6	23.6	14.5	12.8	13.6				
60代(n=254)	50.8	29.9	30.7	21.7	17.3	22.0	23.2	13.4	10.2	10.2				
70歳以上(n=334)	52.7	34.1	22.8	17.1	12.3	19.2	21.6	9.0	12.0	15.6				
【居住歴別】														
出身者(n=561)	42.8	33.5	26.9	24.1	24.8	23.0	18.5	15.0	13.0	11.4				
転入者(n=559)	45.3	24.7	27.5	25.0	21.6	24.9	21.6	15.6	7.9	10.6				
Uターン(n=332)	46.7	22.0	25.6	23.8	26.5	19.3	28.3	18.4	16.0	10.8				

単位 (%)	モ高 ！め シぬ ヨき ン市の テの の認 強プ 化知 度 を	さぬ き市 のイ の知 度 を	(結 婚に 向け た支 援)	実き る場 に悩 みや 機を 会相 談充 で	気軽 に所 や機 会活 動充 実	場自 所主 的に 会活 動充 実	そ の 他	特 に な い
全体(N=1454)	10.7	9.1	6.5	2.1	2.2	4.7		
【年齢別】								
29歳以下(n=225)	6.2	16.0	4.0	1.8	1.8	6.7		
30代(n=184)	6.0	12.5	2.7	0.5	3.3	4.9		
40代(n=210)	10.5	10.0	6.2	1.9	2.9	3.8		
50代(n=242)	11.6	7.4	6.6	3.3	5.0	4.1		
60代(n=254)	12.2	6.7	6.3	1.6	0.4	4.3		
70歳以上(n=334)	14.4	5.1	9.9	2.7	0.9	4.8		
【居住歴別】								
出身者(n=561)	8.9	11.2	6.2	1.8	2.3	4.8		
転入者(n=559)	11.1	5.9	6.8	1.4	1.4	5.4		
Uターン(n=332)	13.0	10.8	6.3	3.6	3.3	3.6		

18 住民と行政の協働について

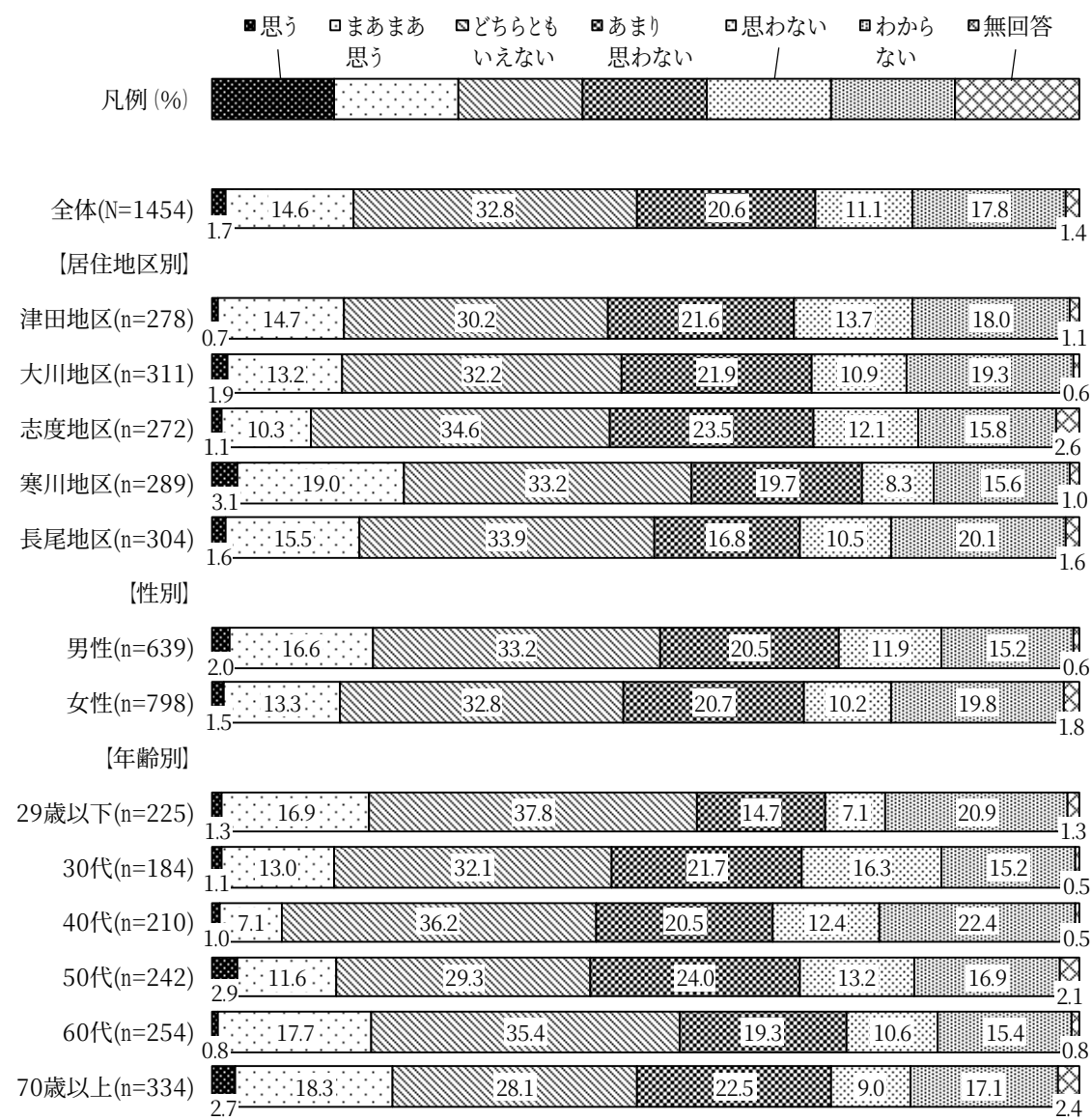
問 34 さぬき市では、住民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思いますか。
(回答は1つ)

住民と行政の協働については、協働してまちづくりに取り組んでいると「思う」が1.7%、「まあまあ思う」が14.6%、合計で16.3%が『思う』と回答している。一方、「あまり思わない」(20.6%)、「思わない」(11.1%)の合計は約3割(31.7%)となっている。

居住地区別では、寒川地区で『思う(合計)』の割合が他の地区に比べて高くなっている。

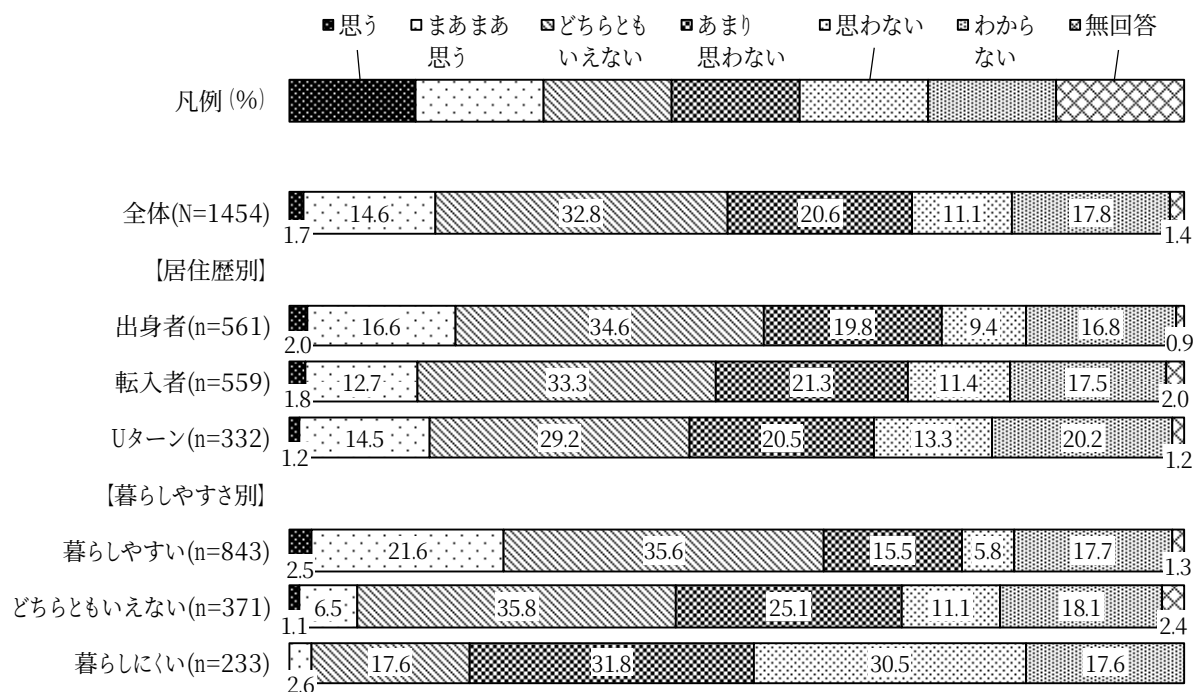
性別では、女性は男性に比べて「わからない」の割合がやや高くなっている。

年齢別では、40代で『思う(合計)』の割合が他の年齢層に比べて低くなっている。



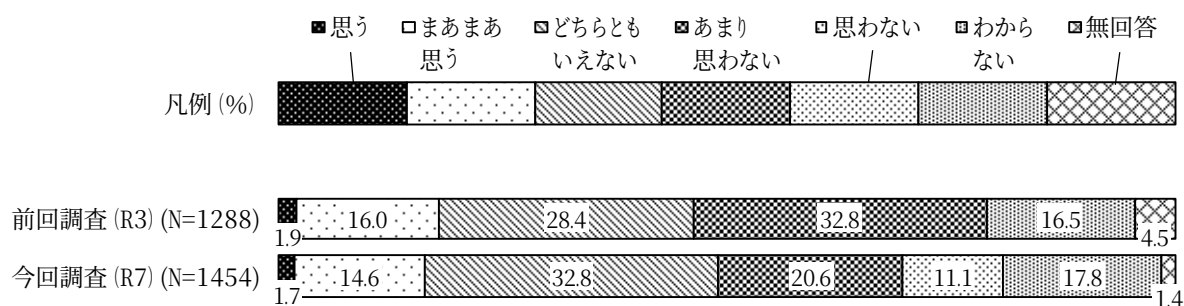
居住歴別では大きな差はみられない。

暮らしやすさ別では、暮らしやすいと回答した層で『思う（合計）』、暮らしにくいと回答した層で『思わない（合計）』の割合がそれぞれ他の層を大きく上回っている。



【時系列比較】

前回調査結果と比べ、「どちらともいえない」がやや増加している。



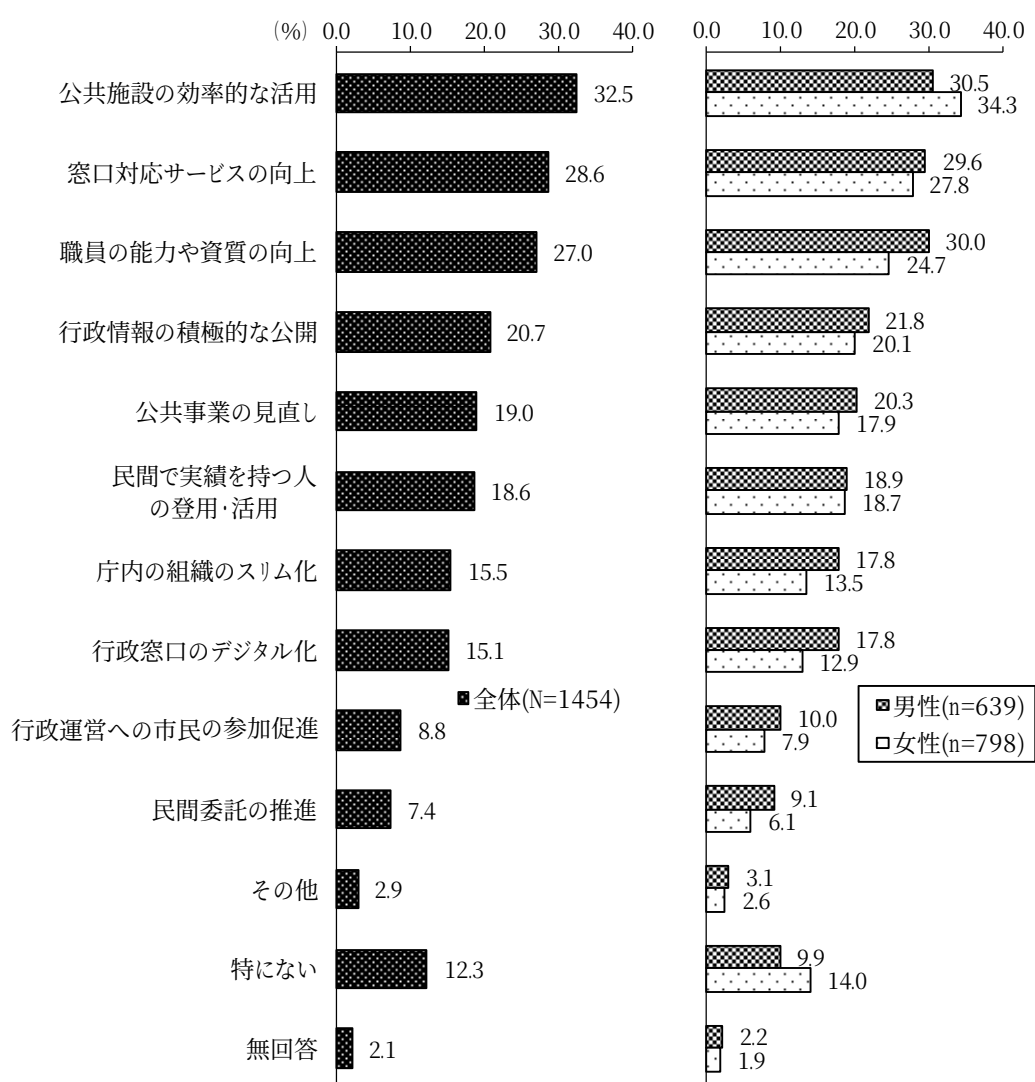
注：前回調査では「思わない」の選択肢はない。

19 今後取り組むべき行政運営

問 35 あなたは、さぬき市の行政運営について、今後、どのようなことに取り組むべきだと思いますか。（回答は3つまで）

今後取り組むべき行政運営については、「公共施設の効率的な活用」の割合が32.5%と最も高く、次いで「窓口対応サービスの向上」（28.6%）、「職員の能力や資質の向上」（27.0%）、「行政情報の積極的な公開」（20.7%）、「公共事業の見直し」（19.0%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「職員の能力や資質の向上」「庁内の組織のスリム化」「行政窓口のデジタル化」などの割合が高くなっている。



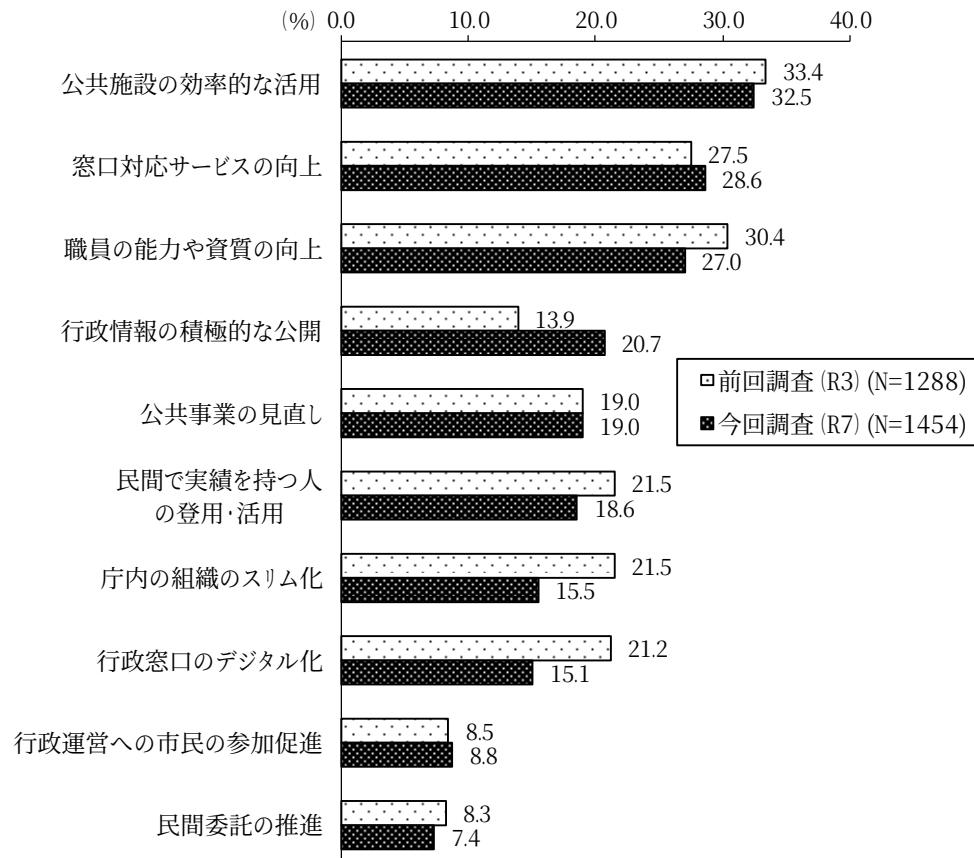
居住地区別では、津田地区で「窓口対応サービスの向上」の割合が他の地区に比べてやや高くなっている。

年齢別では、30代で「行政窓口のデジタル化」、40～50代で「民間で実績を持つ人の登用・活用」、70歳以上で「行政情報の積極的な公開」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べてやや高くなっている。

単位 (%)	公共施設の効率的な活用	窓口対応サービスの向上	職員の能力や資質の向上	行政情報の積極的な公開	公共事業の見直し	民間で実績を持つ人の登用・活用	庁内の組織のスリム化	行政窓口のデジタル化	行政運営への市民の参加	民間委託の推進	その他	特にない
全体(N=1454)	32.5	28.6	27.0	20.7	19.0	18.6	15.5	15.1	8.8	7.4	2.9	12.3
【居住地区別】												
津田地区(n=278)	34.2	33.1	28.1	21.9	18.3	18.3	14.7	12.6	9.4	6.8	2.9	12.9
大川地区(n=311)	30.5	28.0	27.7	21.5	18.3	19.0	17.0	16.1	7.7	9.3	4.2	10.3
志度地区(n=272)	36.8	29.0	26.8	18.4	17.6	18.8	14.7	13.6	9.2	7.0	2.6	12.5
寒川地区(n=289)	34.9	24.9	27.7	19.7	18.7	20.1	15.2	15.2	7.6	8.3	2.4	13.5
長尾地区(n=304)	26.6	28.3	25.0	21.7	21.7	16.8	15.5	17.4	10.2	5.6	2.3	12.5
【年齢別】												
29歳以下(n=225)	28.0	24.0	22.2	14.7	20.4	14.2	10.7	19.6	6.7	4.0	3.1	16.9
30代(n=184)	31.0	23.9	27.2	17.9	19.6	17.4	13.6	26.6	10.9	7.1	3.8	15.2
40代(n=210)	31.9	26.7	25.2	21.9	21.9	22.4	10.5	23.8	8.6	10.0	2.4	13.8
50代(n=242)	33.5	31.0	29.3	18.6	24.0	23.6	21.9	17.4	7.4	9.5	5.0	8.3
60代(n=254)	36.2	33.5	31.1	22.0	17.3	17.7	15.0	8.3	11.0	8.3	2.4	9.8
70歳以上(n=334)	32.6	30.5	26.6	26.0	13.2	16.5	18.3	3.9	8.4	6.0	1.5	11.7

【時系列比較】

前回調査結果と比べ、「行政情報の積極的な公開」が増加し、「庁内の組織のスリム化」「行政窓口のデジタル化」などが減少している。



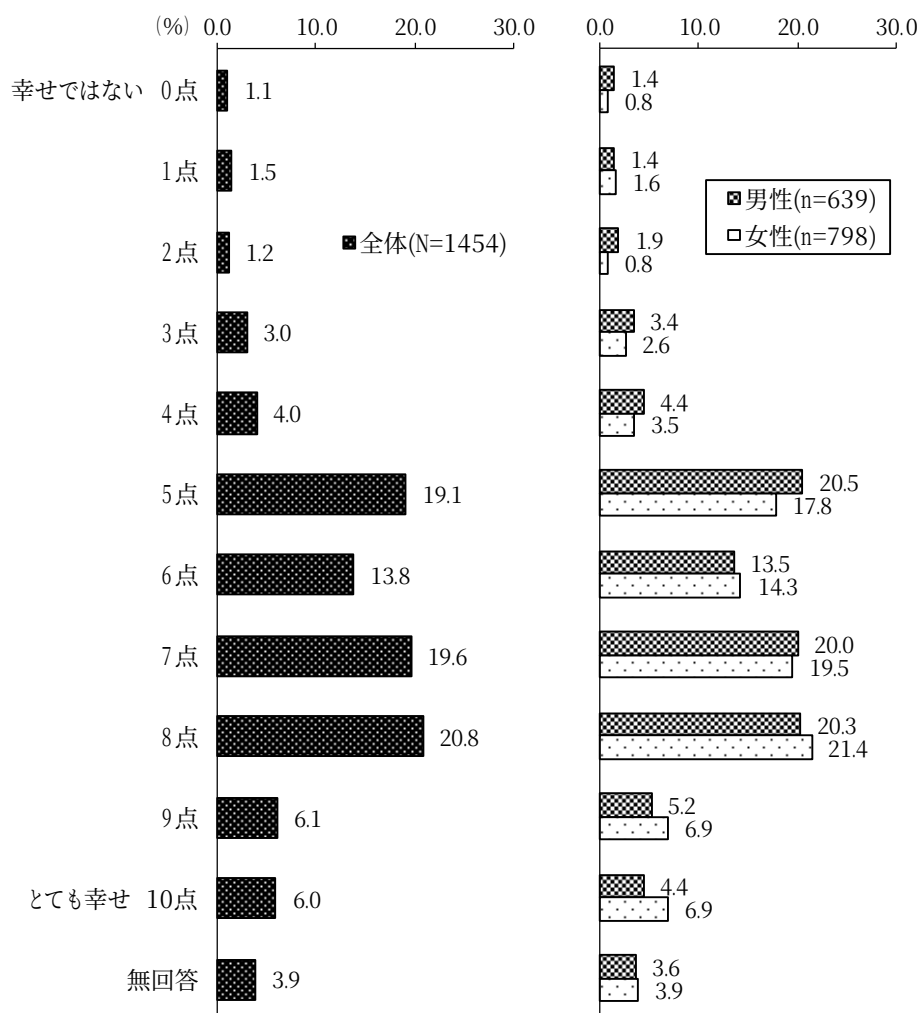
【4】暮らしについて

1 幸福度

問 36 あなたは、今の暮らしを、どの程度「幸せ」だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「幸せではない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。
(回答は1つ)

幸福度については、「8点」の割合が20.8%と最も高く、次いで「7点」(19.6%)、「5点」(19.1%)、「6点」(13.8%)の順となっており、全体の平均点数は6.5点となっている。

性別では、男性は女性に比べて「5点」の割合がやや高くなっている。



	平均 (点)
全体(N=1454)	6.5
男性(n=639)	6.3
女性(n=798)	6.7

居住地区別や居住歴別では、大きな差はみられない。

年齢別では、29歳以下や60代で「8点」、30代で「7点」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べてやや高くなっている。

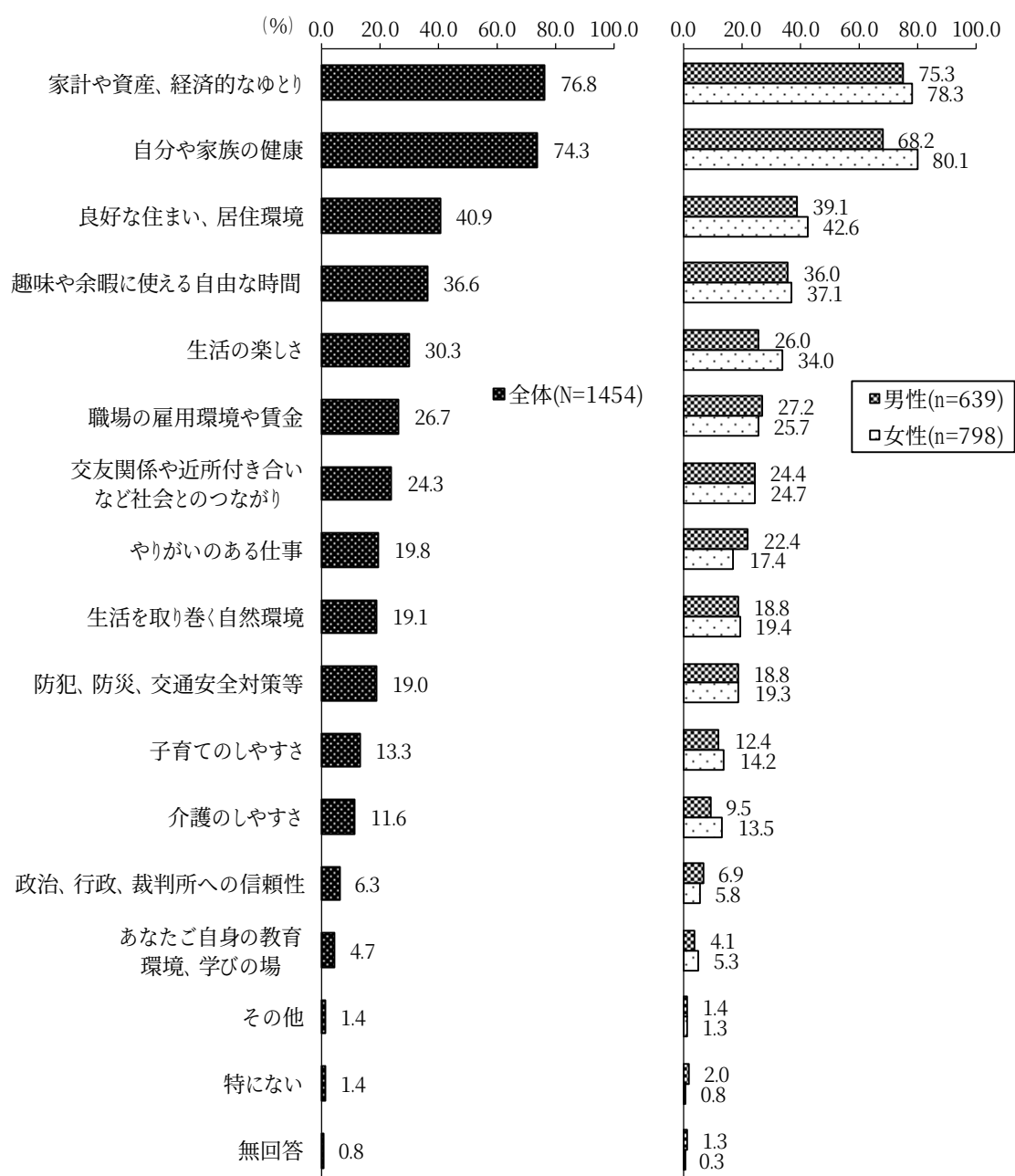
単位 (%)	0点 幸せではない	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 とても幸せ	平均(点)
全体(N=1454)	1.1	1.5	1.2	3.0	4.0	19.1	13.8	19.6	20.8	6.1	6.0	6.5
【居住地区別】												
津田地区(n=278)	1.8	1.1	1.4	2.9	6.5	16.9	13.7	18.0	20.1	4.7	8.3	6.5
大川地区(n=311)	0.6	1.3	1.0	4.2	2.6	19.9	13.2	20.9	21.9	5.8	5.8	6.6
志度地区(n=272)	0.4	2.6	0.4	2.6	3.3	21.3	13.2	20.6	19.9	7.0	5.5	6.5
寒川地区(n=289)	1.4	0.7	2.4	2.8	3.5	18.7	15.9	18.3	23.9	4.5	2.8	6.4
長尾地区(n=304)	1.3	2.0	1.0	2.6	4.3	18.4	12.8	20.1	18.1	8.6	7.6	6.6
【年齢別】												
29歳以下(n=225)	1.3	1.8	0.9	1.8	3.1	14.7	13.3	19.6	25.3	7.1	7.6	6.8
30代(n=184)	1.6	0.5	1.1	3.8	4.3	17.9	14.7	23.9	15.2	9.2	7.6	6.6
40代(n=210)	1.4	1.4	2.4	4.3	4.3	18.1	15.2	19.0	16.2	5.7	9.5	6.4
50代(n=242)	1.2	2.5	1.2	2.1	2.9	21.1	13.6	19.0	20.2	4.1	7.0	6.4
60代(n=254)	0.8	1.6	0.8	2.0	5.1	22.0	13.8	19.3	25.2	3.9	2.8	6.4
70歳以上(n=334)	0.6	1.2	1.2	3.9	4.2	18.9	12.9	18.6	21.0	7.2	3.3	6.5
【居住歴別】												
出身者(n=561)	0.4	1.6	1.1	4.1	2.7	20.3	13.0	19.6	20.9	6.6	6.2	6.6
転入者(n=559)	1.4	1.8	1.3	2.3	5.0	18.1	13.4	18.6	21.1	6.3	6.1	6.5
Uターン(n=332)	1.8	0.9	1.5	2.4	4.5	18.7	15.7	21.4	20.2	5.1	5.1	6.4

2 「幸せ」であるために重要なこと

問 37 あなたが「幸せ」であるために、特に重要だと思うことは何ですか。
(回答は5つまで)

「幸せ」であるために重要なことについては、「家計や資産、経済的なゆとり」の割合が76.8%と最も高く、次いで「自分や家族の健康」(74.3%)、「良好な住まい、居住環境」(40.9%)、「趣味や余暇に使える自由な時間」(36.6%)、「生活の楽しさ」(30.3%)の順となっている。

性別では、女性は男性に比べて「自分や家族の健康」「生活の楽しさ」などの割合が高くなっている。



年齢別では、30代で「職場の雇用環境や賃金」「子育てのしやすさ」、60代で「防犯、防災、交通安全対策等」、70歳以上で「交友関係や近所付き合いなど社会とのつながり」「生活を取り巻く自然環境」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。また、若い年齢層ほど「趣味や余暇に使える自由な時間」の割合が高くなっている。

単位 (%)	ゆとり 家計や資産、 経済的な	自分や家族の健康	境良好な住まい、 居住環境	由趣味や余暇に 使える自由な時間	生活の楽しさ	職場の雇用環境 や賃金	りいなど社会と 近所付き合いが合	やりがいのある 仕事	境生活を取り巻く 自然環境	対策等 防犯、防災、 交通安全	子育てのしやすさ
全体(N=1454)	76.8	74.3	40.9	36.6	30.3	26.7	24.3	19.8	19.1	19.0	13.3
【年齢別】											
29歳以下(n=225)	68.9	57.3	37.3	50.7	34.7	38.7	17.8	28.0	12.0	13.3	17.8
30代(n=184)	84.8	70.1	41.3	50.5	31.0	42.4	14.1	25.5	11.4	14.7	29.9
40代(n=210)	82.9	72.9	45.7	42.9	32.9	35.2	13.8	25.7	13.3	18.6	21.0
50代(n=242)	81.0	77.7	36.4	36.4	31.0	35.5	20.7	23.1	14.5	17.8	10.3
60代(n=254)	80.3	81.9	45.3	28.7	27.2	16.1	28.3	15.0	22.4	26.0	5.5
70歳以上(n=334)	68.6	80.2	40.1	21.6	27.5	6.6	40.4	8.7	31.7	20.4	4.8

単位 (%)	介護のしやすさ	の政治、行政、 裁判所へ 信頼性	境、あなたが 自身の教育環 境、学びの場	その他	特 に ない
全体(N=1454)	11.6	6.3	4.7	1.4	1.4
【年齢別】					
29歳以下(n=225)	0.9	4.9	9.3	2.7	0.9
30代(n=184)	4.9	7.6	6.5	1.1	0.0
40代(n=210)	12.9	5.7	3.8	1.0	1.4
50代(n=242)	12.4	6.6	3.3	2.5	1.2
60代(n=254)	15.4	5.9	3.1	0.4	2.0
70歳以上(n=334)	18.3	6.6	3.3	0.9	2.1

【5】まちづくりの満足度と重要度について

1 各施策の満足度と重要度

問 38 さぬき市の各施策についておたずねします。あなたは、次の施策それぞれについて、現在、どのくらい満足していますか。また、今後、どの程度重要だと思いますか。（回答はそれぞれ1つずつ）

（1）現在の満足度

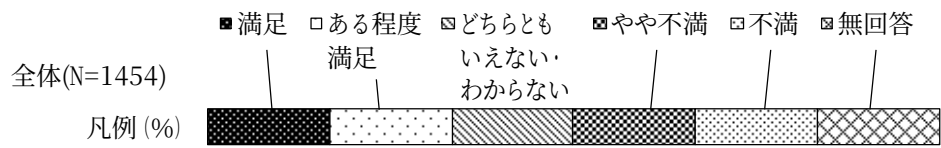
各施策 40 項目について、現在の満足度を 5 段階評価で質問したところ、『満足』（「満足」と「ある程度満足」の合計）と『不満』（「不満」と「やや不満」の合計）の割合が高い順に下記のようになっている。

「10 道路等の社会基盤の整備」「19 地域医療の充実」については、満足度が高い一方で、不満も比較的高くなっている。

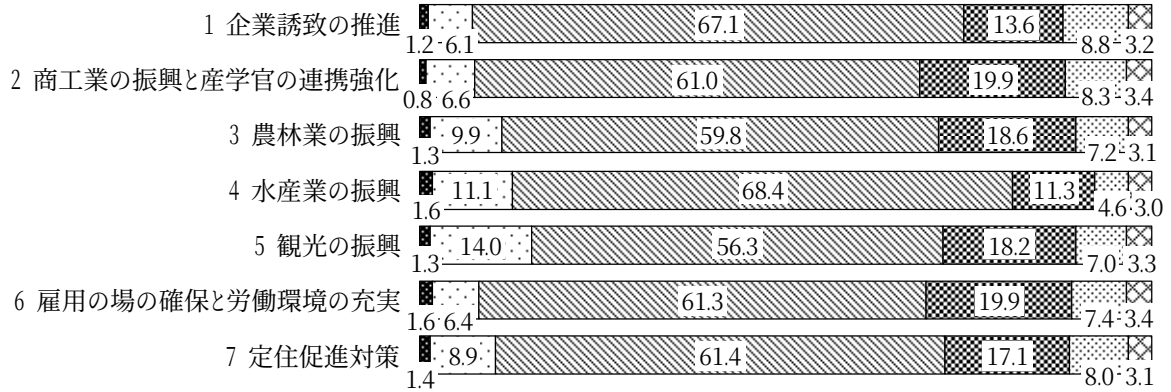
順位	『満足』の割合が高い施策	割合 (%)
1	9 生活安全対策の推進	32.7
2	32 上下水道の維持・整備	32.0
3	18 心身の健康づくりに対する支援	31.2
4	31 資源循環型社会の構築	30.5
5	8 消防・防災体制の充実	29.7
6	13 墓地・斎場の整備	26.5
7	10 道路等の社会基盤の整備	25.4
8	24 生涯学習・スポーツの推進	23.5
9	19 地域医療の充実	20.9
10	15 高齢者福祉の充実	20.8

順位	『不満』の割合が高い施策	割合 (%)
1	11 公共交通網の充実	35.3
2	12 住環境の整備と都市計画の推進	33.5
3	10 道路等の社会基盤の整備	29.7
4	2 商工業の振興と産学官の連携強化	28.2
5	6 雇用の場の確保と労働環境の充実	27.3
6	3 農林業の振興	25.8
7	19 地域医療の充実	25.5
8	5 観光の振興	25.2
9	7 定住促進対策	25.1
10	1 企業誘致の推進	22.4

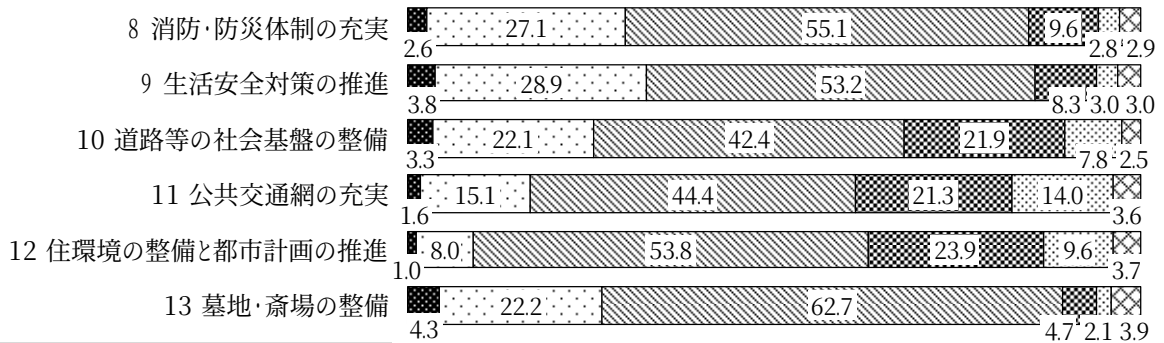
注：表中の網掛けは「満足」及び「不満」の両方に挙がっている項目を示す。



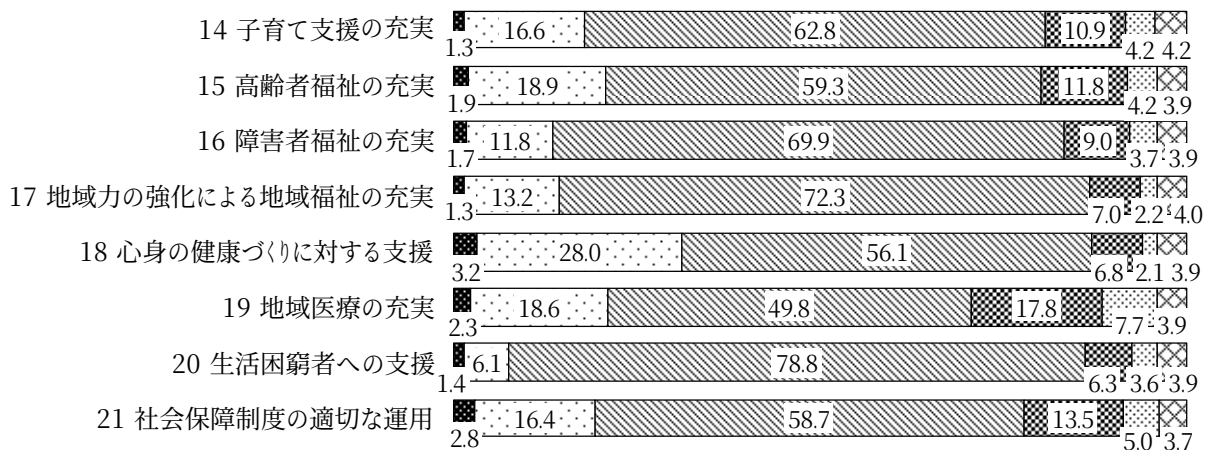
I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち

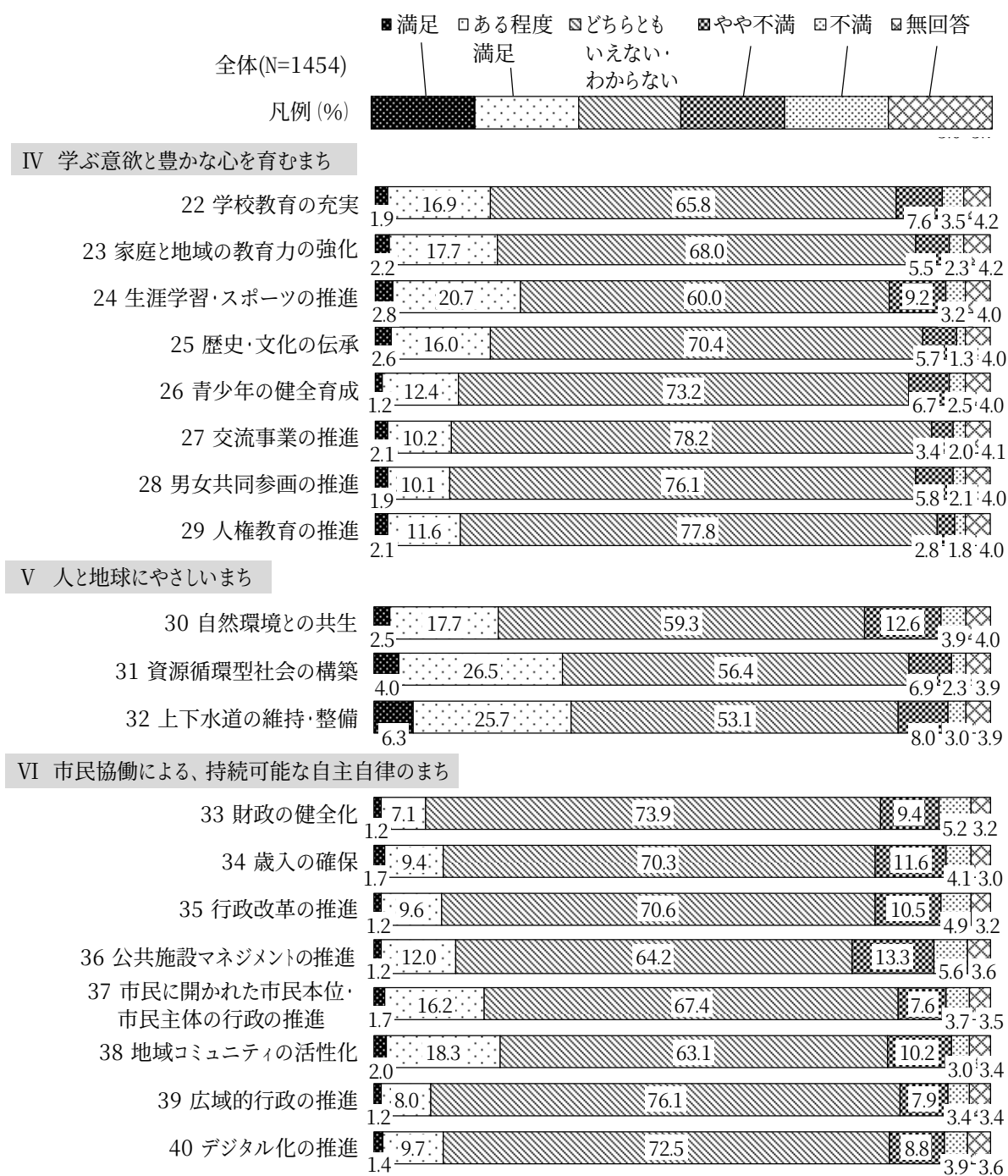


II 安全、安心、快適に暮らせるまち



III 健全な心身と思いやりを育むまち





【 満足度／平均評定値による集計 】

満足度は以下に示す平均評定値を算出する方法で点数化している。

- 「満足度」については「満足」「ある程度満足」への回答とともに、「やや不満」「不満」「どちらともいえない・わからない」という選択肢もある。そのため、この「満足度」をよりの確に分析するために、平均評定値による指標化を行った。
- 平均評定値は、「満足」に＋10点、「ある程度満足」に＋5点、「やや不満」に－5点、「不満」に－10点、「どちらともいえない・わからない」に0点の係数（ウェイト）を設定し、

【（「満足」の回答件数）×10（点）＋（「ある程度満足」の回答件数）×5（点）＋（「やや不満」の回答件数）×－5（点）＋（「不満」の回答件数）×－10（点）＋（「どちらともいえない・わからない」の回答件数）×0（点）】÷【回答者件数－無回答件数】

の計算によって算出し、指標としている。

- この指標によって、「満足度」の強弱を、より明確に分析することができる。

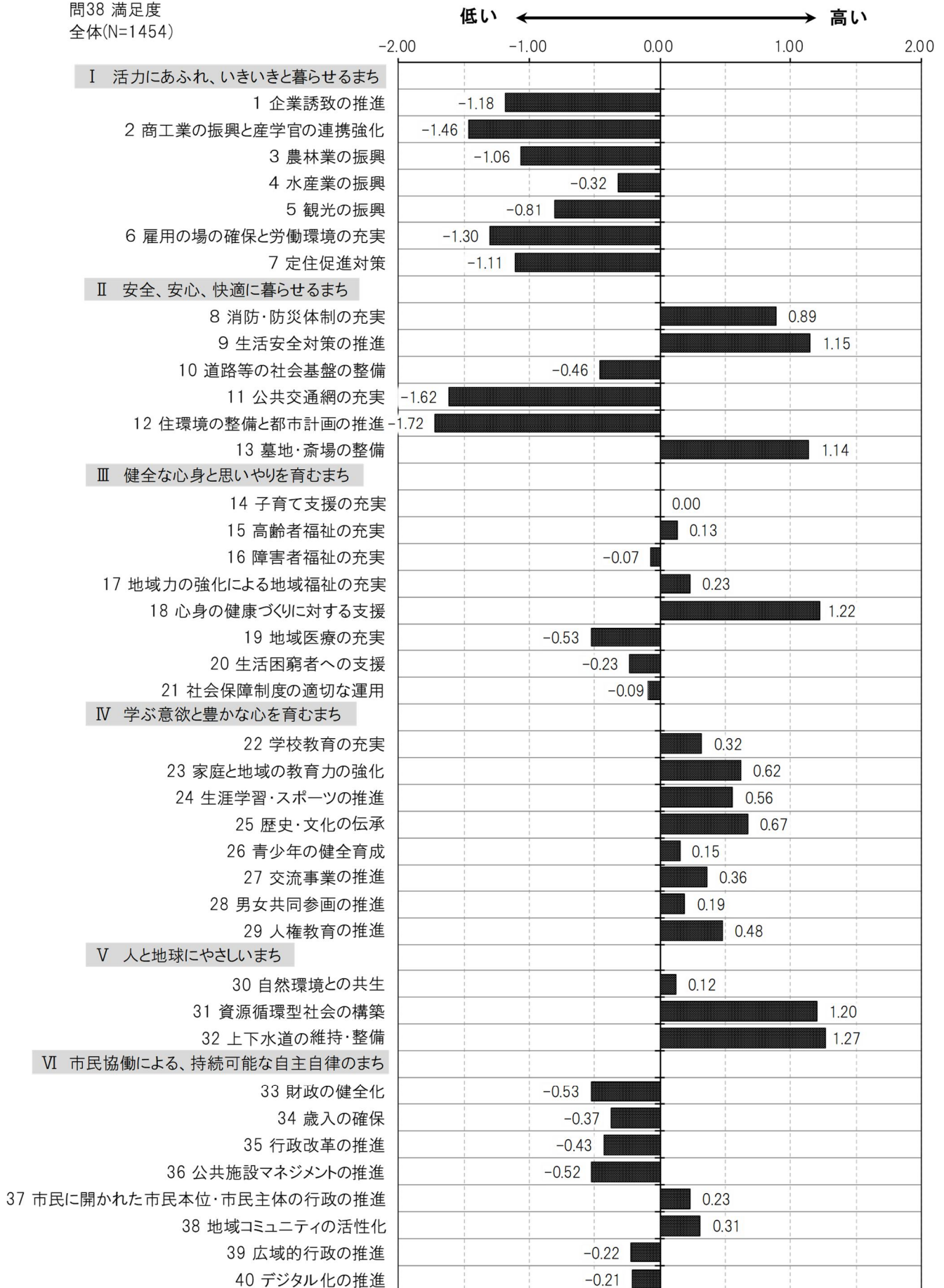
この指標による分析結果をみると、満足度評価が高い施策及び満足度評価が低い施策は下記のとおりとなっている。

40項目中で平均評定値がプラス評価だったのは19項目、マイナス評価だったのは20項目、平均評定値0が1項目（「14 子育て支援の充実」）となっている。

順位	満足度評価が高い施策	
1	32 上下水道の維持・整備	1.27
2	18 心身の健康づくりに対する支援	1.22
3	31 資源循環型社会の構築	1.20
4	9 生活安全対策の推進	1.15
5	13 墓地・斎場の整備	1.14
6	8 消防・防災体制の充実	0.89
7	25 歴史・文化の伝承	0.67
8	23 家庭と地域の教育力の強化	0.62
9	24 生涯学習・スポーツの推進	0.56
10	29 人権教育の推進	0.48

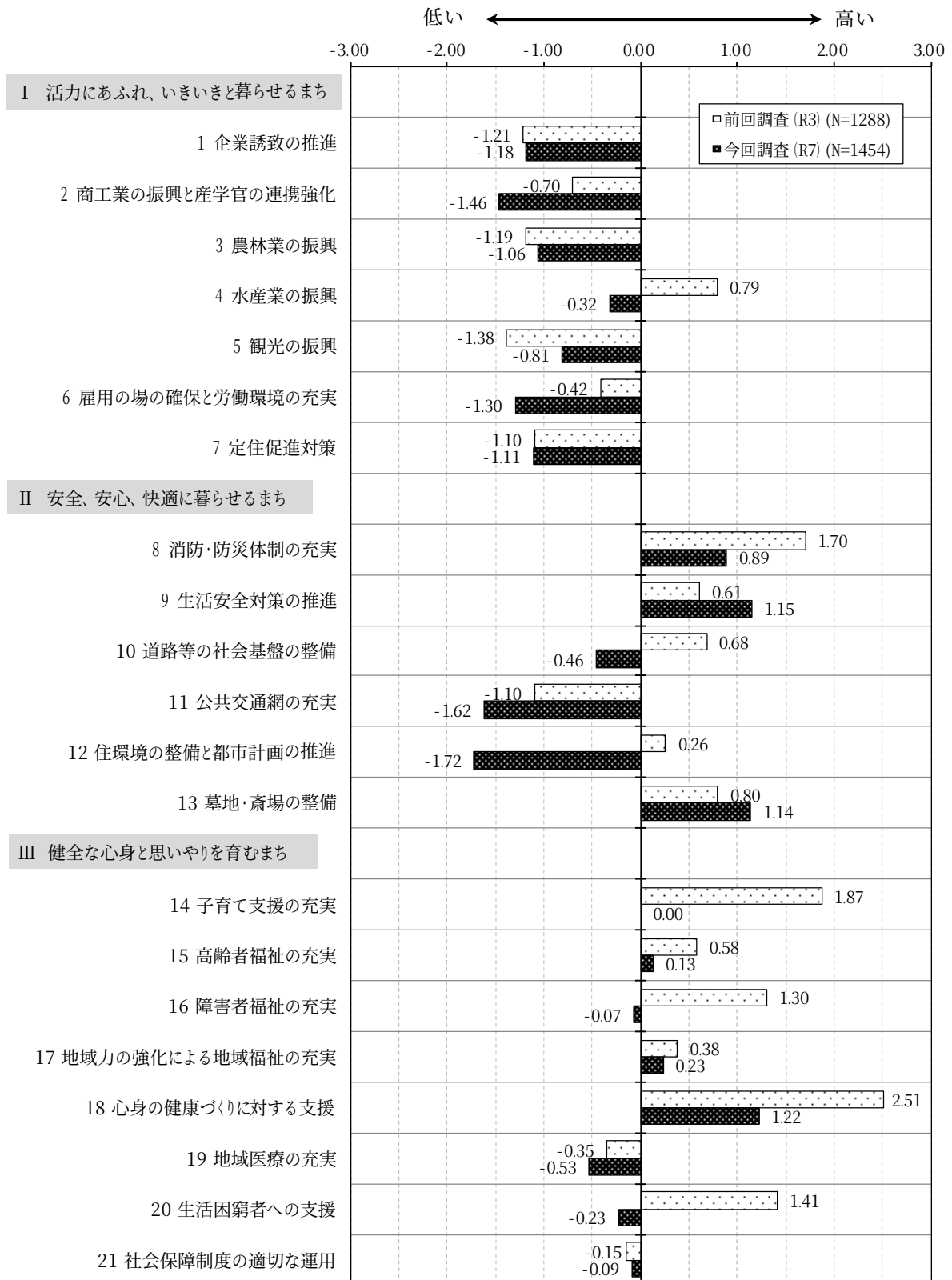
順位	満足度評価が低い施策	
1	12 住環境の整備と都市計画の推進	-1.72
2	11 公共交通網の充実	-1.62
3	2 商工業の振興と産学官の連携強化	-1.46
4	6 雇用の場の確保と労働環境の充実	-1.30
5	1 企業誘致の推進	-1.18
6	7 定住促進対策	-1.11
7	3 農林業の振興	-1.06
8	5 観光の振興	-0.81
9	33 財政の健全化	-0.53
9	19 地域医療の充実	-0.53

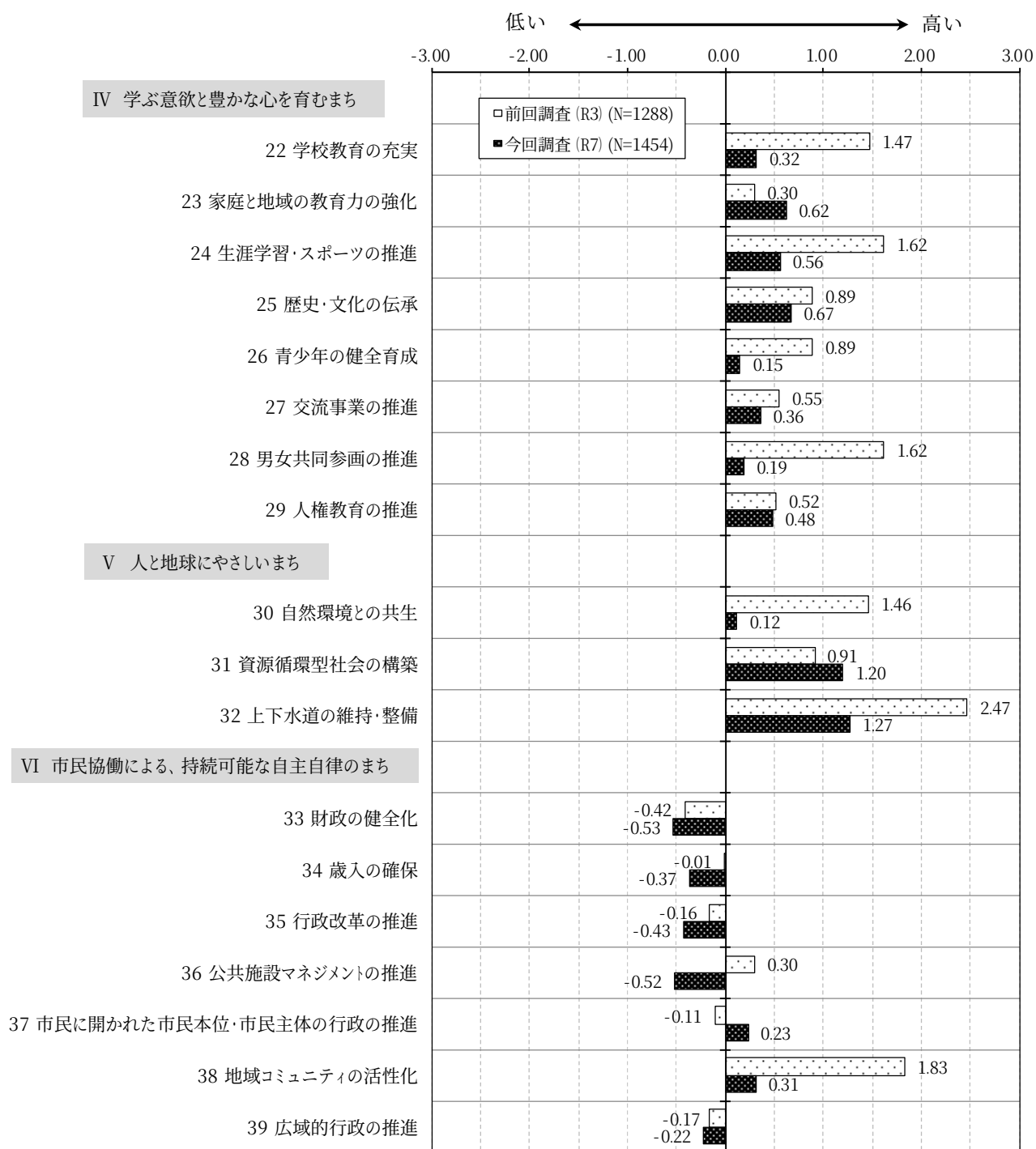
問38 満足度
全体(N=1454)



【時系列比較（満足度）】

前回調査結果と比べ、「5 観光の振興」「9 生活安全対策の推進」などの満足度が増加し、「12 住環境の整備と都市計画の推進」「14 子育て支援の充実」「16 障害者福祉の充実」「20 生活困窮者への支援」「28 男女共同参画の推進」「30 自然環境との共生」「38 地域コミュニティの活性化」などが減少している。



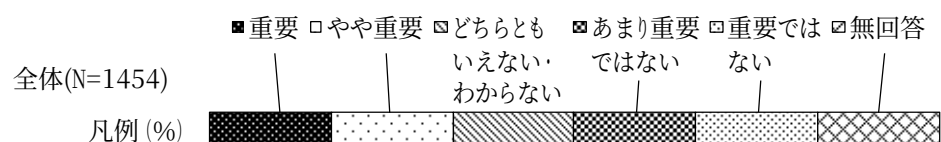


(2) 今後の重要度

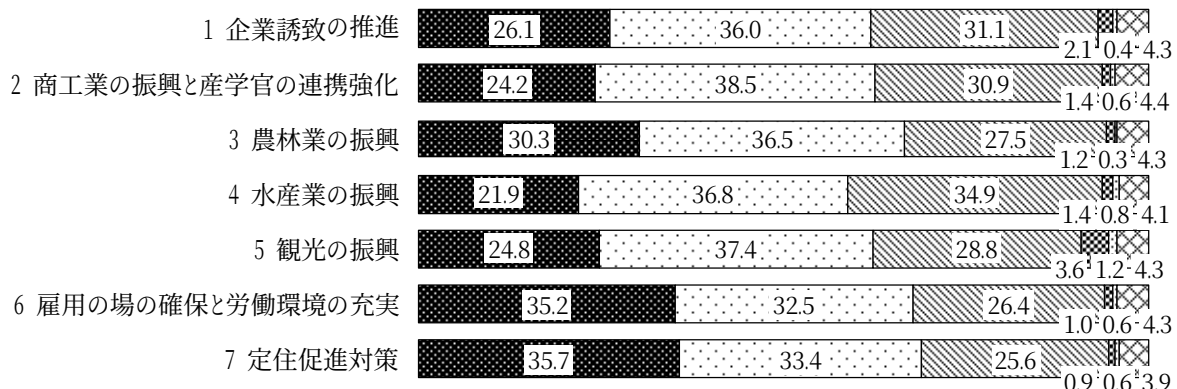
各施策 40 項目について、今後の重要度を 5 段階評価で質問したところ、『重要』（「重要」と「やや重要」の合計）と『重要ではない』（「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計）の割合が高い順に下記のようにになっている。

順位	『重要』の割合が高い施策	割合 (%)
1	10 道路等の社会基盤の整備	76.8
2	19 地域医療の充実	75.6
3	9 生活安全対策の推進	75.0
4	8 消防・防災体制の充実	74.4
5	15 高齢者福祉の充実	71.5
6	14 子育て支援の充実	70.1
7	11 公共交通網の充実	69.4
8	7 定住促進対策	69.1
9	32 上下水道の維持・整備	68.3
10	22 学校教育の充実	68.1

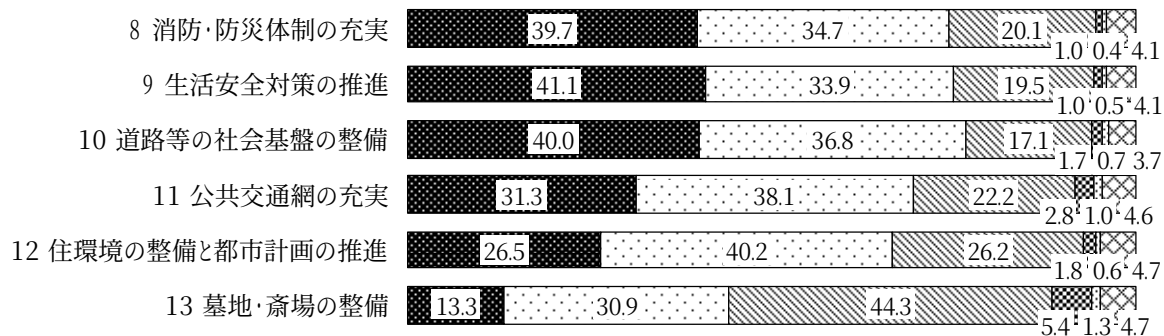
順位	『重要ではない』の割合が高い施策	割合 (%)
1	27 交流事業の推進	9.4
2	38 地域コミュニティの活性化	7.9
3	13 墓地・斎場の整備	6.7
4	20 生活困窮者への支援	6.1
5	25 歴史・文化の伝承	5.4
6	40 デジタル化の推進	5.2
7	5 観光の振興	4.8
7	28 男女共同参画の推進	4.8
9	29 人権教育の推進	4.5
10	30 自然環境との共生	4.4



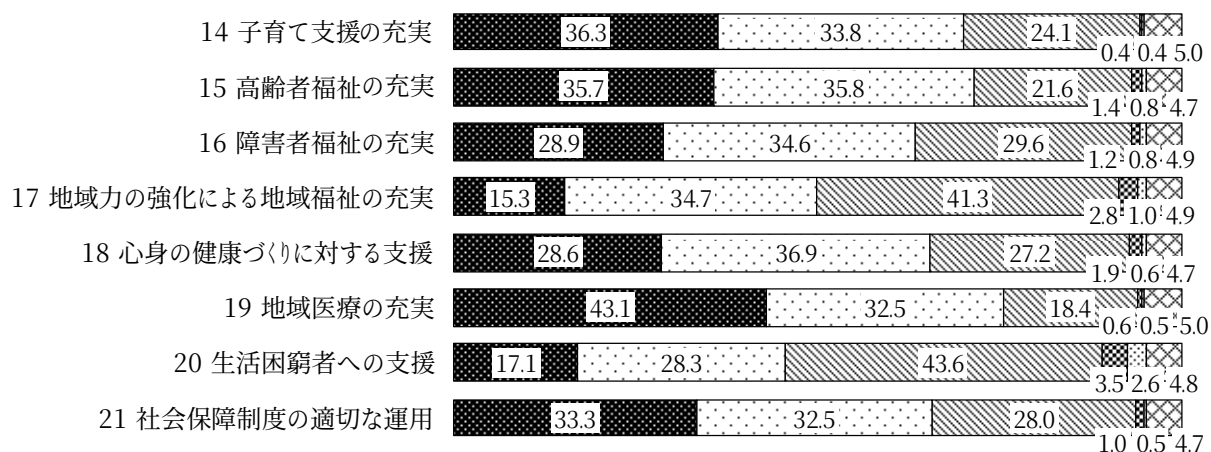
I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち

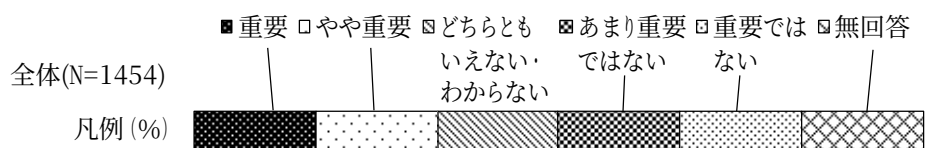


II 安全、安心、快適に暮らせるまち

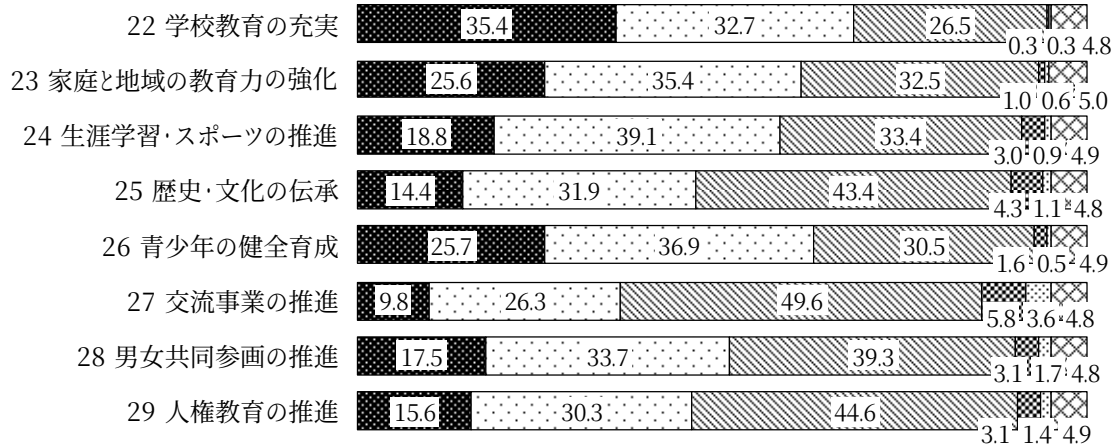


III 健全な心身と思いやりを育むまち

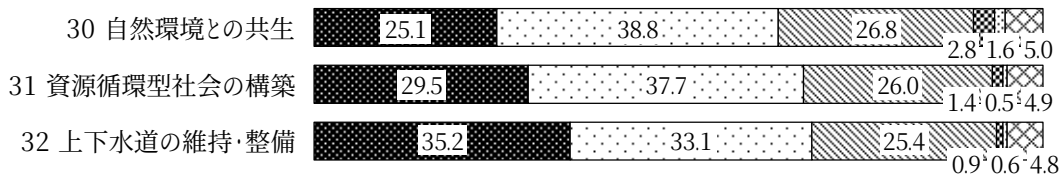




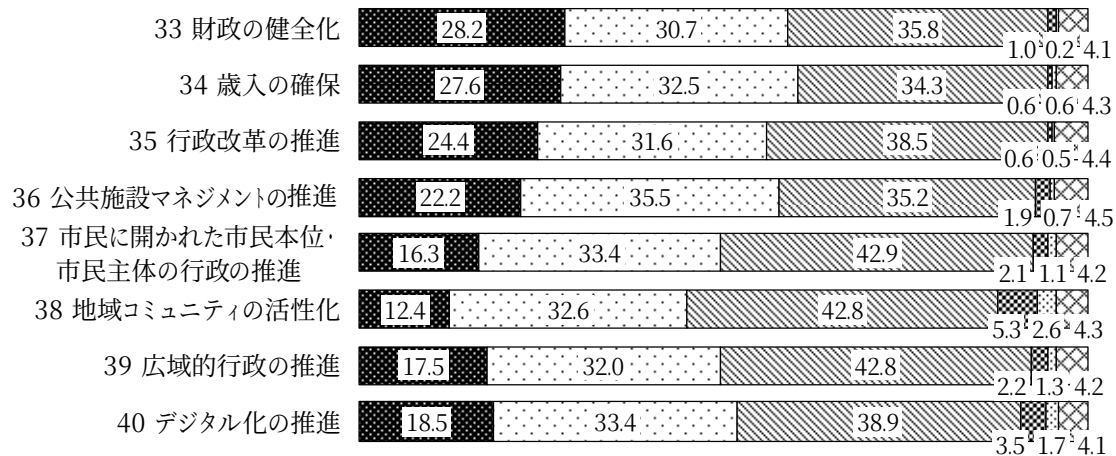
IV 学ぶ意欲と豊かな心を育むまち



V 人と地球にやさしいまち



VI 市民協働による、持続可能な自主自律のまち



【重要度／平均評定値による集計】

重要度は以下に示す平均評定値を算出する方法で点数化している。

- 「重要度」については「重要」「やや重要」への回答とともに、「あまり重要ではない」「重要ではない」「どちらともいえない・わからない」という選択肢もある。そのため、この「重要度」をよりの確に分析するために、平均評定値による指標化を行った。
- 平均評定値は、「重要」に＋10点、「やや重要」に＋5点、「あまり重要ではない」に－5点、「重要ではない」に－10点、「どちらともいえない・わからない」に0点の係数（ウェイト）を設定し、

【（「重要」の回答件数）×10（点）＋（「やや重要」の回答件数）×5（点）＋（「あまり重要ではない」の回答件数）×－5（点）＋（「重要ではない」の回答件数）×－10（点）＋（「どちらともいえない・わからない」の回答件数）×0（点）】÷【回答者件数－無回答件数】

の計算によって算出し、指標としている。

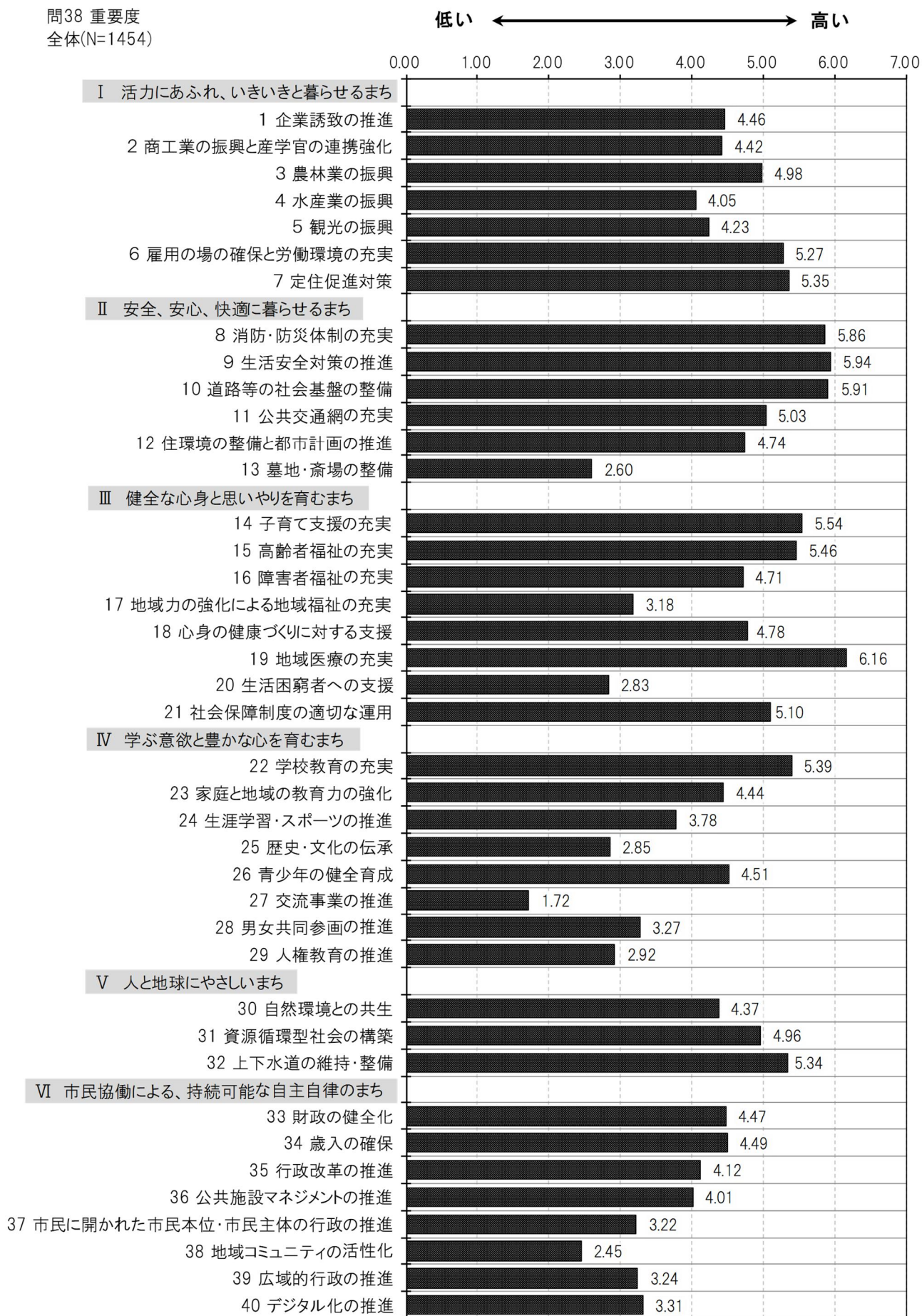
- この指標によって、「重要度」の強弱を、より明確に分析することができる。

この指標による分析結果をみると、重要度評価が高い施策及び重要度評価が低い施策は下記のとおりとなっている。

順位	重要度評価が高い施策	
1	19 地域医療の充実	6.16
2	9 生活安全対策の推進	5.94
3	10 道路等の社会基盤の整備	5.91
4	8 消防・防災体制の充実	5.86
5	14 子育て支援の充実	5.54
6	15 高齢者福祉の充実	5.46
7	22 学校教育の充実	5.39
8	7 定住促進対策	5.35
9	32 上下水道の維持・整備	5.34
10	6 雇用の場の確保と労働環境の充実	5.27

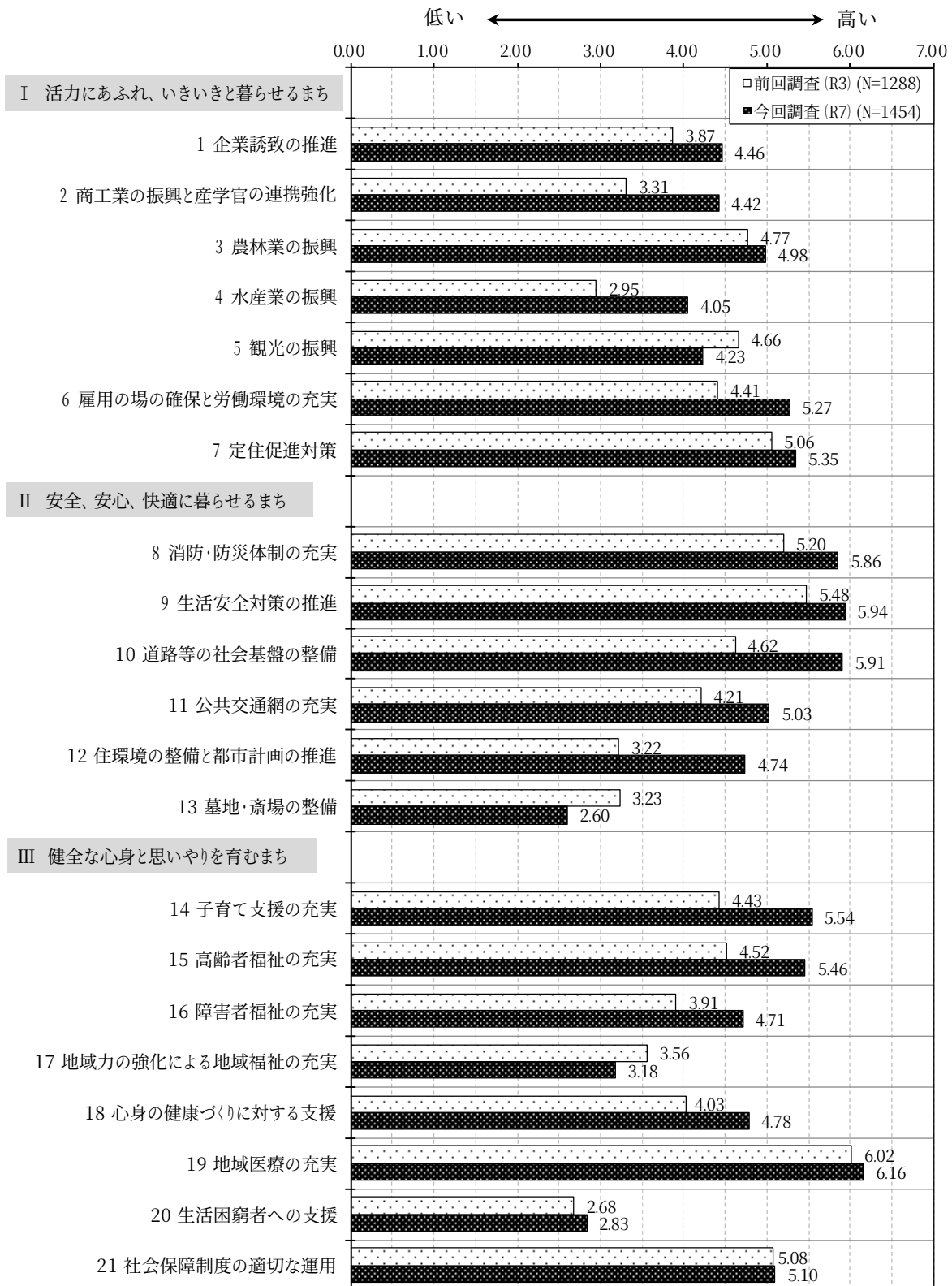
順位	重要度評価が低い施策	
1	27 交流事業の推進	1.72
2	38 地域コミュニティの活性化	2.45
3	13 墓地・斎場の整備	2.60
4	20 生活困窮者への支援	2.83
5	25 歴史・文化の伝承	2.85
6	29 人権教育の推進	2.92
7	17 地域力の強化による地域福祉の充実	3.18
8	37 市民に開かれた市民本位・市民主体の行政の推進	3.22
9	39 広域的行政の推進	3.24
10	28 男女共同参画の推進	3.27

問38 重要度
全体(N=1454)



【時系列比較（重要度）】

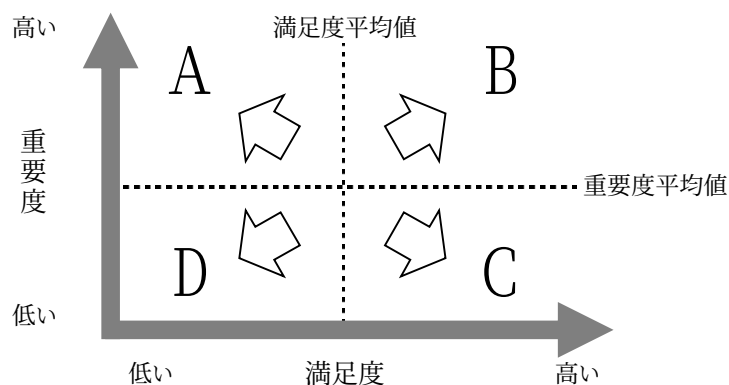
前回調査結果と比べ、「2 商工業の振興と産学官の連携強化」「4 水産業の振興」「10 道路等の社会基盤の整備」「12 住環境の整備と都市計画の推進」「14 子育て支援の充実」「15 高齢者福祉の充実」「22 学校教育の充実」「26 青少年の健全育成」「32 上下水道の維持・整備」などの重要度が増加し、「27 交流事業の推進」「29 人権教育の推進」などが減少している。



（３）各施策の満足度と重要度の相関図による分析

満足度と重要度の平均評定値をもとに、縦軸に重要度、横軸に満足度を設定し、40の施策を散布図上に示したものが相関図である。

満足度と重要度の各平均値を基準としてA～Dの4つの領域に区分し、各施策がどの領域に配置されるのかを整理する。



4つの領域については、左上（A）、右上（B）、右下（C）、左下（D）の4方向に進むにしたいが、以下のような傾向を示している。

A 重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）

重要度が高いが、満足度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め、満足度を高める必要のある領域

B 重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）

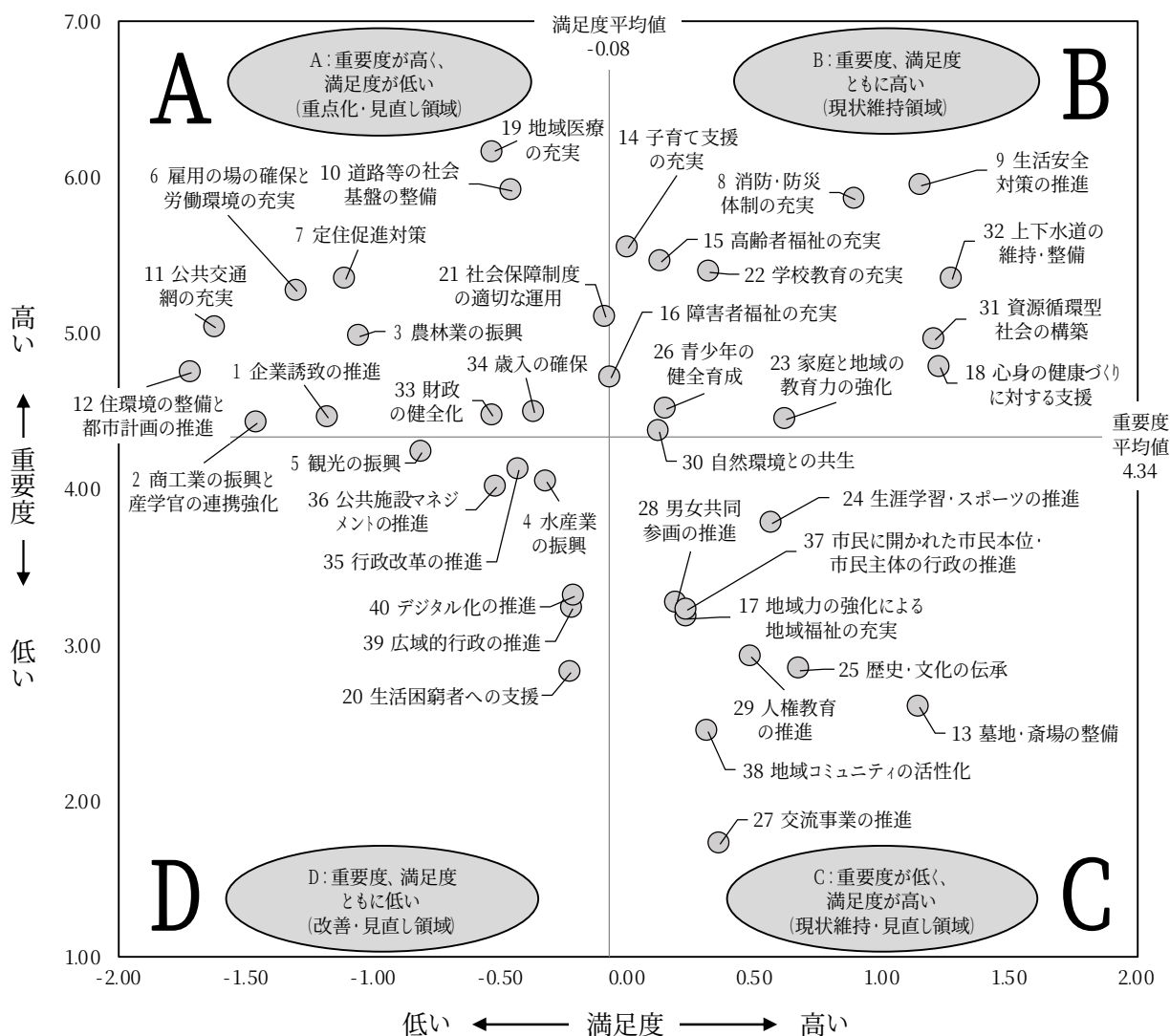
重要度も満足度も高く、現時点での満足度の水準を維持していくことが必要な領域

C 重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）

重要度は低いものの満足度が高く、満足度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて、見直すべき必要のある領域

D 重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）

重要度も満足度も低く、施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものを、改めて見直す必要のある領域



I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち	領域
1 企業誘致の推進	A
2 商工業の振興と産学官の連携強化	A
3 農林業の振興	A
4 水産業の振興	D
5 観光の振興	D
6 雇用の場の確保と労働環境の充実	A
7 定住促進対策	A
II 安全、安心、快適に暮らせるまち	領域
8 消防・防災体制の充実	B
9 生活安全対策の推進	B
10 道路等の社会基盤の整備	A
11 公共交通網の充実	A
12 住環境の整備と都市計画の推進	A
13 墓地・斎場の整備	C
III 健全な心身と思いやりを育むまち	領域
14 子育て支援の充実	B
15 高齢者福祉の充実	B
16 障害者福祉の充実	B
17 地域力の強化による地域福祉の充実	C
18 心身の健康づくりに対する支援	B
19 地域医療の充実	A
20 生活困窮者への支援	D
21 社会保障制度の適切な運用	A

IV 学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	領域
22 学校教育の充実	B
23 家庭と地域の教育力の強化	B
24 生涯学習・スポーツの推進	C
25 歴史・文化の伝承	C
26 青少年の健全育成	B
27 交流事業の推進	C
28 男女共同参画の推進	C
29 人権教育の推進	C
V 人と地球にやさしいまち	領域
30 自然環境との共生	B
31 資源循環型社会の構築	B
32 上下水道の維持・整備	B
VI 市民協働による、持続可能な自主自律のまち	領域
33 財政の健全化	A
34 歳入の確保	A
35 行政改革の推進	D
36 公共施設マネジメントの推進	D
37 市民に開かれた市民本位・市民主体の行政の推進	C
38 地域コミュニティの活性化	C
39 広域的行政の推進	D
40 デジタル化の推進	D

【 A 重点化・見直し領域 】

A 重点化・見直し領域に含まれる施策は次のとおりである。

	満足度	重要度
19 地域医療の充実	-0.53	6.16
10 道路等の社会基盤の整備	-0.46	5.91
7 定住促進対策	-1.11	5.35
6 雇用の場の確保と労働環境の充実	-1.30	5.27
21 社会保障制度の適切な運用	-0.09	5.10
11 公共交通網の充実	-1.62	5.03
3 農林業の振興	-1.06	4.98
12 住環境の整備と都市計画の推進	-1.72	4.74
34 歳入の確保	-0.37	4.49
33 財政の健全化	-0.53	4.47
1 企業誘致の推進	-1.18	4.46
2 商工業の振興と産学官の連携強化	-1.46	4.42

注：表は重要度が高い順に並べ替えている。（以下同様）

【 B 現状維持領域 】

B 現状維持領域に含まれる施策は次のとおりである。

	満足度	重要度
9 生活安全対策の推進	1.15	5.94
8 消防・防災体制の充実	0.89	5.86
14 子育て支援の充実	0.00	5.54
15 高齢者福祉の充実	0.13	5.46
22 学校教育の充実	0.32	5.39
32 上下水道の維持・整備	1.27	5.34
31 資源循環型社会の構築	1.20	4.96
18 心身の健康づくりに対する支援	1.22	4.78
16 障害者福祉の充実	-0.07	4.71
26 青少年の健全育成	0.15	4.51
23 家庭と地域の教育力の強化	0.62	4.44
30 自然環境との共生	0.12	4.37

【 C 現状維持・見直し領域 】

C 現状維持・見直し領域に含まれる施策は次のとおりである。

	満足度	重要度
24 生涯学習・スポーツの推進	0.56	3.78
28 男女共同参画の推進	0.19	3.27
37 市民に開かれた市民本位・市民主体の行政の推進	0.23	3.22
17 地域力の強化による地域福祉の充実	0.23	3.18
29 人権教育の推進	0.48	2.92
25 歴史・文化の伝承	0.67	2.85
13 墓地・斎場の整備	1.14	2.60
38 地域コミュニティの活性化	0.31	2.45
27 交流事業の推進	0.36	1.72

【 D 改善・見直し領域 】

D 改善・見直し領域に含まれる施策は次のとおりである。

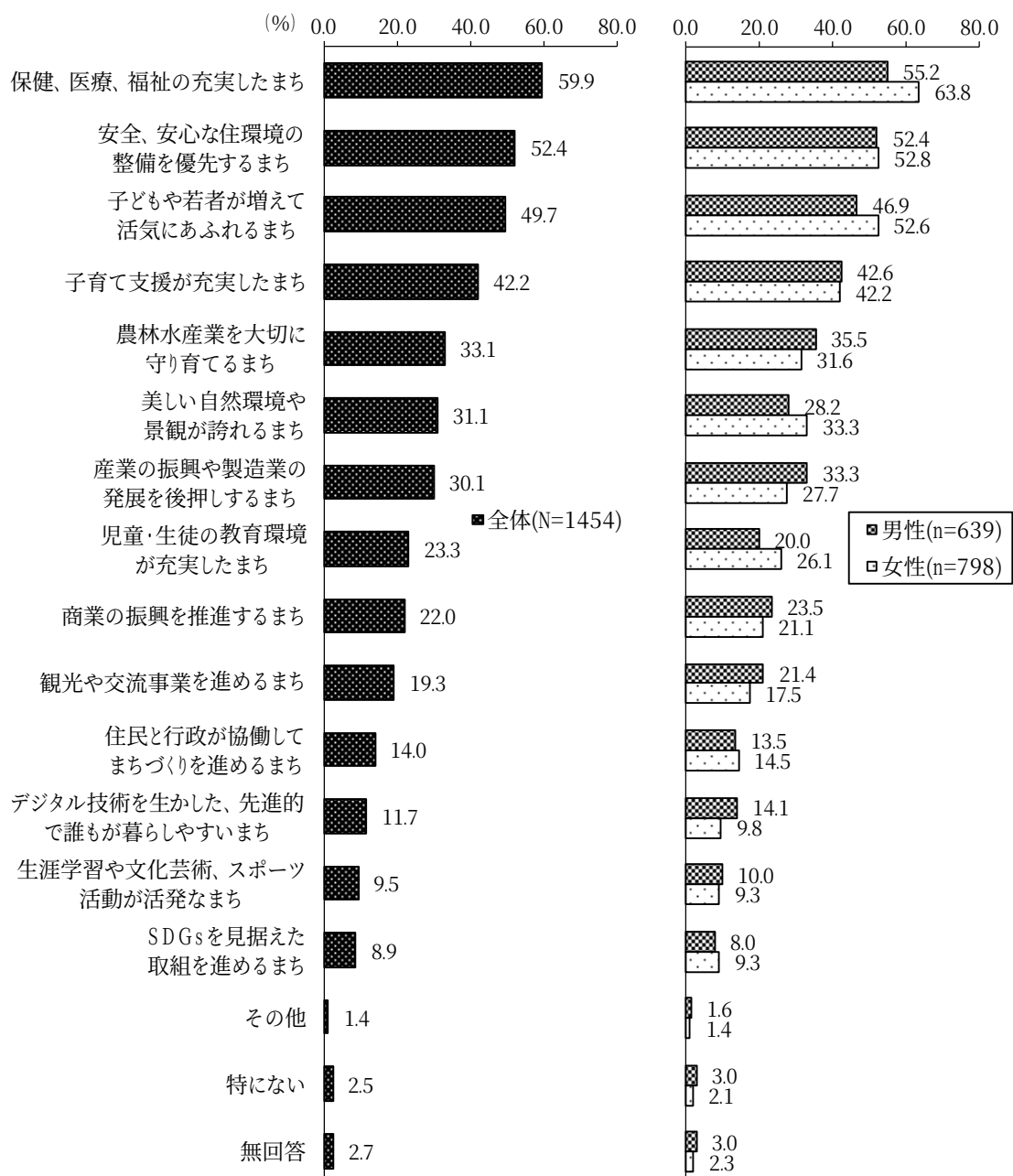
	満足度	重要度
5 観光の振興	-0.81	4.23
35 行政改革の推進	-0.43	4.12
4 水産業の振興	-0.32	4.05
36 公共施設マネジメントの推進	-0.52	4.01
40 デジタル化の推進	-0.21	3.31
39 広域的行政の推進	-0.22	3.24
20 生活困窮者への支援	-0.23	2.83

2 市が取り組むべきまちづくり

問 39 「住みたいさぬき市」を実現していくために、今後、さぬき市ではどのようなまちづくりに取り組むべきだと思いますか。（回答は5つまで）

市が取り組むべきまちづくりについては、「保健、医療、福祉の充実したまち」の割合が 59.9%と最も高く、次いで「安全、安心な住環境の整備を優先するまち」（52.4%）、「子どもや若者が増えて活気にあふれるまち」（49.7%）、「子育て支援が充実したまち」（42.2%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「産業の振興や製造業の発展を後押しするまち」の割合が高く、女性は「保健、医療、福祉の充実したまち」「子どもや若者が増えて活気にあふれるまち」などの割合が男性を上回っている。



居住地区別では、津田地区で「商業の振興を推進するまち」「観光や交流事業を進めるまち」、大川地区で「農林水産業を大切に守り育てるまち」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

単位 (%)	保健、医療、福祉の充実したまち	安全、安心な住環境の整備を優先するまち	子どもや若者が増えて活気にあふれるまち	子育て支援が充実したまち	農林水産業を大切に守り育てるまち	美しい自然環境や景観が誇れるまち	産業の振興や製造業の発展を後押しするまち	児童・生徒の教育環境が充実したまち	商業の振興を推進するまち	観光や交流事業を進めるまち
全体(N=1454)	59.9	52.4	49.7	42.2	33.1	31.1	30.1	23.3	22.0	19.3
【居住地区別】										
津田地区(n=278)	56.5	52.2	44.6	38.1	32.0	37.8	28.4	23.7	27.7	27.7
大川地区(n=311)	60.1	53.1	54.3	44.1	37.0	31.2	33.1	25.7	19.9	18.3
志度地区(n=272)	63.2	54.0	51.5	43.8	31.6	34.6	28.3	19.5	20.6	18.4
寒川地区(n=289)	60.2	52.6	48.8	43.3	32.2	23.9	31.8	26.0	21.1	15.9
長尾地区(n=304)	59.5	50.3	49.0	41.8	32.6	28.6	28.6	21.4	21.1	16.4

単位 (%)	住民と行政が協働してまちづくりを進めるまち	先進的デジタル技術が暮らしやすいまち	デジタル活動が活発なまち	生涯学習や文化芸術、スポーツ活動が活発なまち	S D G s を見据えた取組を進めるまち	その他	特にな
全体(N=1454)	14.0	11.7	9.5	8.9	1.4	2.5	
【居住地区別】							
津田地区(n=278)	15.1	10.4	9.0	6.8	2.9	2.9	
大川地区(n=311)	10.9	12.5	11.9	9.0	1.6	0.6	
志度地区(n=272)	13.6	10.3	9.9	8.8	0.7	1.8	
寒川地区(n=289)	17.3	12.8	10.0	9.3	1.0	3.5	
長尾地区(n=304)	13.5	12.2	6.6	10.2	1.0	3.9	

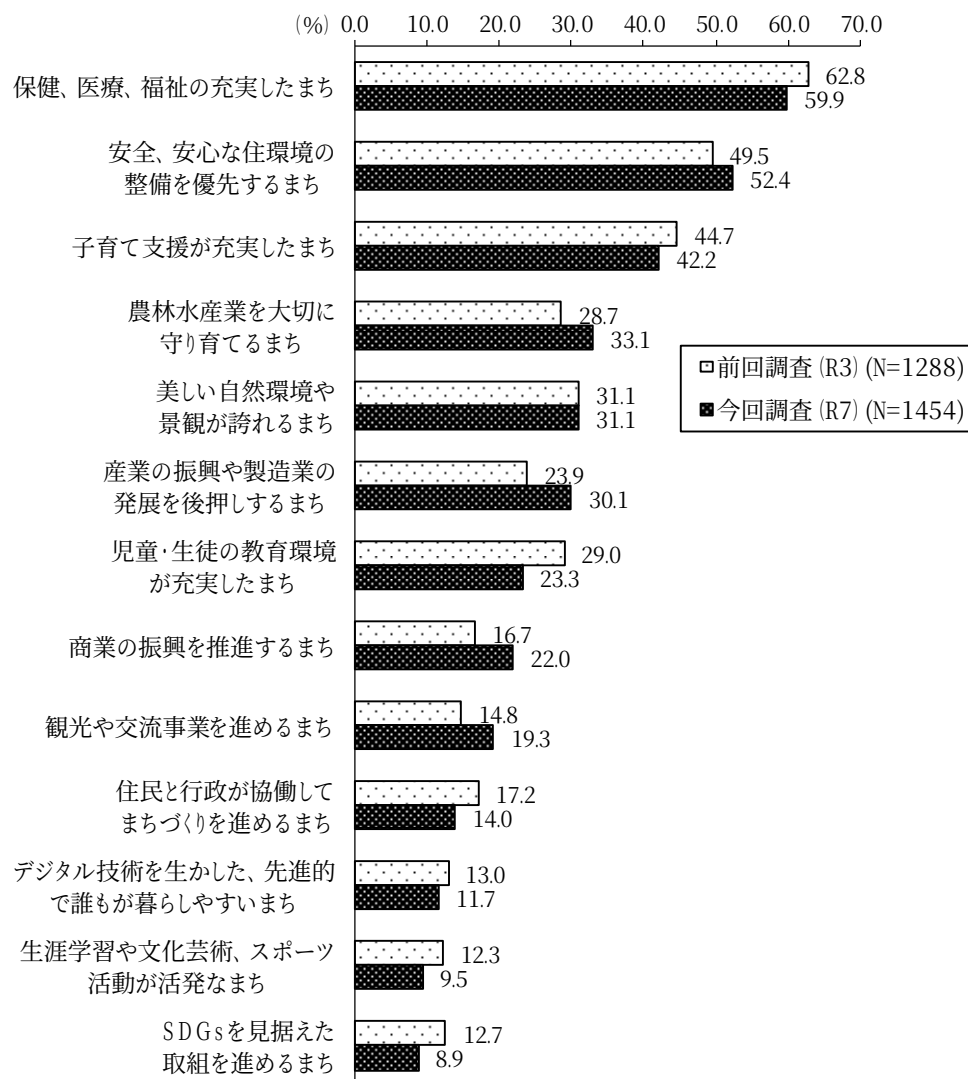
年齢別では、30代で「子育て支援が充実したまち」「児童・生徒の教育環境が充実したまち」、60代で「住民と行政が協働してまちづくりを進めるまち」、70歳以上で「農林水産業を大切に守り育てるまち」「美しい自然環境や景観が誇れるまち」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	保健、医療、福祉の充実したまち	安全、安心な住環境の整備を優先するまち	子どもや若者が増えて活気にあふれるまち	子育て支援が充実したまち	農林水産業を大切に守り育てるまち	美しい自然環境や景観が誇れるまち	産業の振興や製造業の発展を後押しするまち	児童・生徒の教育環境が充実したまち	商業の振興を推進するまち	観光や交流事業を進めるまち
全体(N=1454)	59.9	52.4	49.7	42.2	33.1	31.1	30.1	23.3	22.0	19.3
【年齢別】										
29歳以下(n=225)	52.9	48.4	49.3	51.1	24.4	28.4	20.4	30.7	31.1	23.1
30代(n=184)	53.3	39.7	51.6	62.0	23.4	27.2	26.1	39.7	24.5	20.1
40代(n=210)	58.1	49.5	47.1	48.1	25.7	28.6	31.4	29.5	21.4	20.5
50代(n=242)	64.5	55.4	49.6	40.5	32.6	31.0	36.8	16.5	28.1	25.2
60代(n=254)	66.1	56.7	48.4	35.4	39.8	31.9	28.7	17.3	18.5	15.0
70歳以上(n=334)	61.4	58.4	51.2	27.8	44.6	35.9	34.1	15.0	12.9	14.1

単位 (%)	住民と行政が協働してまちづくりを進めるまち	先進的デジタル技術が暮らしやすいまち	デジタル活動が活発なまち	生涯学習や文化芸術、スポーツ活動が活発なまち	SDGsを見据えた取組を進めるまち	その他	特にない
全体(N=1454)	14.0	11.7	9.5	8.9	1.4	2.5	
【年齢別】							
29歳以下(n=225)	8.0	14.2	8.0	8.4	1.8	2.7	
30代(n=184)	15.2	15.8	8.7	7.6	2.2	3.3	
40代(n=210)	11.9	17.6	11.4	10.0	2.9	3.3	
50代(n=242)	10.7	11.2	11.2	10.3	1.7	2.5	
60代(n=254)	21.7	7.9	7.9	10.2	0.4	2.0	
70歳以上(n=334)	15.6	7.2	9.9	7.2	0.6	2.1	

【時系列比較】

前回調査結果と比べ、「産業の振興や製造業の発展を後押しするまち」「商業の振興を推進するまち」「観光や交流事業を進めるまち」などが増加し、「児童・生徒の教育環境が充実したまち」が減少している。



資料 調査票

さぬき市 まちづくりのための市民アンケート調査

～ ご協力をお願い ～

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さぬき市では、まちづくりの指針となる「第2次さぬき市総合計画」に基づいて、様々なまちづくり施策を推進しています。この度、計画の見直しに向けた取組を進めています。

この調査は、16歳以上の市民の皆様の中から無作為に抽出した方に、まちづくりに関する現状やニーズなどをお伺いし、計画づくりに向けての基礎的な資料とさせていただくことを目的として実施するものです。

お忙しいところ誠にお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

2025（令和7）年10月

さぬき市長 大山 茂樹

ご記入にあたってのお願い

- 1 封筒の宛名のご本人が回答してください。
- 2 回答は、各設問文にある（回答は1つ）（回答はあてはまるもの全て）などに注意して記入してください。また、該当する番号に○印をつけた方だけに答えていただく設問もあります。
- 3 回答は無記名で統計的に処理します。また、本調査の目的以外に利用することはありません。

本調査はインターネットでの回答も可能です。

■ スマートフォンで回答する場合

右の二次元コードを読み取り、回答画面を開いてください。

■ パソコンで回答する場合

以下のURLより回答画面を開いてください。

https://gyosei.qualtrics.com/jfe/form/SV_daFPU5ys47m6fFc

■ インターネットでの回答にはIDとパスワードの入力が必要です。

ID
半角数字

パスワード
半角数字

（ID・パスワードは重複回答を避けるために使用します。個人を特定するための番号ではありません。）



調査に関する問い合わせ先

さぬき市 総務部 政策課

〒769-2195 香川県さぬき市志度 5385 番地 8

電話（087）894-1112 F A X（087）894-4440

メール：seisaku@city.sanuki.lg.jp



この調査票は、10月31日（金曜日）までに、同封の返信用封筒に入れて、返送してください。（切手は不要です。）なお、インターネットでご回答いただいた方は、紙の調査票を返送していただく必要はありません。

● あなたご自身のことについて

問1 あなたがお住まいの地区はどちらですか。（回答は1つ）

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1 津田地区 | 2 大川地区 | 3 志度地区 | 4 寒川地区 | 5 長尾地区 |
|--------|--------|--------|--------|--------|

問2 あなたの性別をお答えください。（自認する性別をお答えください。）（回答は1つ）

- | | | | |
|------|------|-------------------------------|----------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他（ ） | 4 答えたくない |
|------|------|-------------------------------|----------|

問3 あなたの年齢をお答えください。（回答は1つ）

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1 19歳以下 | 2 20～29歳 | 3 30～39歳 | 4 40～49歳 |
| 5 50～59歳 | 6 60～69歳 | 7 70～79歳 | 8 80歳以上 |

問4 あなたの主たる職業をお答えください。（回答は1つ）

- | | |
|-------------------------------|--------------------|
| 1 会社員・公務員等 | 2 自営業（農林水産業） |
| 3 自営業（商工業・その他） | 4 パート・アルバイト・派遣社員など |
| 5 高校生 | 6 大学生 |
| 7 家事専業 | 8 無職 |
| 9 その他（ ） | |

問5 あなたの同居家族の構成をお答えください。（回答は1つ）

- | | |
|-------------------------------|------------------------|
| 1 一人暮らし（単身世帯） | 2 あなたと配偶者（パートナー）の二人暮らし |
| 3 二世帯世帯（親と子） | 4 三世帯以上同居（親と子と孫等） |
| 5 その他（ ） | |

問6 あなたの同居家族の中に、次の方はいますか。（あなたご自身も含む。）
（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 1 小学校入学前の子ども | 2 小学生の子ども |
| 3 中学生の子ども | 4 高校生以上（大学生まで）の子ども |
| 5 高齢や障害などで日常的に介護や看護を必要とする方 | 6 あてはまる人はいない |

問7 あなたは、生まれたときからずっとさぬき市に住んでいますか。（回答は1つ）

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 生まれたときからずっと住んでいる | 2 他の市町村から引っ越して来た※ |
| 3 一度出ていたが戻ってきた（Uターン）※ | |

※ 結婚に伴う移住なども含む。

問8 あなたは、さぬき市に愛着がありますか。（回答は1つ）

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1 とても愛着がある | 2 どちらかといえば愛着がある |
| 3 どちらともいえない | 4 どちらかといえば愛着はない |
| 5 愛着はない | |

問9 さぬき市は暮らしやすいまちだと思いますか。（回答は1つ）

- | | |
|-------------|------------------|
| 1 とても暮らしやすい | 2 どちらかといえば暮らしやすい |
| 3 どちらともいえない | 4 どちらかといえば暮らしにくい |
| 5 暮らしにくい | |

問10 あなたは、これからもさぬき市に住み続けたいと思いますか。（回答は1つ）

- | |
|-----------------------------|
| 1 住み続けたい |
| 2 どちらかといえば住み続けたい |
| 3 どちらともいえない → 次は問13へ |
| 4 どちらかといえば住み続けたくない → 次は問12へ |
| 5 住み続けたくない → 次は問12へ |

【問10で「1～2（住み続けたい）」と答えた方におたずねします。】

問11 住み続けたいと思う理由は何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1 地域に愛着があるから | 2 家族と一緒に暮らしたいから |
| 3 友人や知人が多いから | 4 将来、まちが発展しそうだから |
| 5 活気やにぎわいがあるから | 6 職場に近いから |
| 7 買物が便利だから | 8 働く場所が多いから |
| 9 交通の利便性が良いから | 10 遊び場や集える場所があるから |
| 11 歴史や伝統があるから | 12 保健、医療、福祉サービスが整っているから |
| 13 自然に恵まれた環境だから | 14 子育てしやすいまちだから |
| 15 教育、文化、スポーツ施設が充実しているから | 16 街並みが美しいから |
| 17 都市としての個性や魅力があるから | 18 落ち着きや安らぎがあるから |
| 19 人のあたたかみを感じられるから | 20 地域住民同士のつながりが強いから |
| 21 災害や事故が少なく安全だから | 22 その他（ ） |



【次は問13へお進みください。】

【問10で「4～5（住み続けたくない）」と答えた方におたずねします。】

問12 住み続けたくないと思う理由は何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1 地域に愛着がないから | 2 家族と離れて一人で暮らしたいから |
| 3 友人や知人が少ないから | 4 将来、まちが発展しそうにないから |
| 5 活気やにぎわいがないから | 6 職場から遠いから |
| 7 買物が不便だから | 8 働く場所が少ないから |
| 9 交通の利便性が良くないから | 10 遊び場や集える場所が少ないから |
| 11 歴史や伝統に乏しいから | 12 保健、医療、福祉サービスが整っていないから |
| 13 自然環境が良くないから | 14 子育てしにくいまちだから |
| 15 教育、文化、スポーツ施設が少ないから | 16 街並みが良くないから |
| 17 都市としての個性や魅力がないから | 18 落ち着きや安らぎがないから |
| 19 人が冷たいから | 20 地域住民同士のつながりが弱いから |
| 21 災害や事故が多く不安だから | 22 その他（ ） |

問13 あなたは、さぬき市が作成している「第2次さぬき市総合計画※」をご存じですか。

（回答は1つ）

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 内容までよく知っている | 2 名前を見聞きしたことがある程度 |
| 3 知らない | |

※ 「第2次さぬき市総合計画」とは

- ・ 「さぬき市総合計画」とは、将来、さぬき市をどのようなまちにしていくなのか、そのためには何を目指し、誰がどのような行動をしていくなのかといった「まちづくりの方針」を定める計画です。さぬき市の産業の振興や福祉サービスなど全てのまちづくりの取組の基本となる計画です。現在「第2次さぬき市総合計画」が進行中ですが、令和8年度で計画期間が満了することから、令和9年度からの新しい計画の策定に取り組んでいます。

問14 あなたは、さぬき市の行政やまちづくりについて、どのようなことに関心がありますか。

（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 少子化や人口の減少 | 2 子育ての環境や子育て支援 |
| 3 学校や大学などでの教育 | 4 高齢者への支援や介護 |
| 5 障害のある人への支援 | 6 文化、芸術、スポーツ |
| 7 健康づくりや生きがいづくり | 8 社会教育や生涯学習 |
| 9 就職に向けた支援や職場環境の整備 | 10 防災活動 |
| 11 防犯活動や交通事故防止 | 12 ごみ処理や温暖化など環境問題 |
| 13 観光やまちのPR | 14 道路や交通機関の整備 |
| 15 商工業の活性化 | 16 農業の活性化 |
| 17 地域活動や地域のコミュニティの活性化 | 18 住環境の整備 |
| 19 まちのデジタル化 | 20 行政や財政 |
| 21 その他（ ） | 22 特にない |

● 地域での生活について

問 15 あなたとご近所の人との関係は、次のどれに最も近いですか。（回答は1つ）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 困ったときに助け合う親しい人がいる | 2 お互いに訪問し合う人がいる |
| 3 立ち話をする程度の人がある | 4 会えばあいさつをする程度の人がある |
| 5 ほとんど近所付き合いはない | |

問 16 あなたは現在、地域活動やボランティア活動など、地域とどのようなつながりがありますか。
（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1 道路や公園などの美化活動 | 2 自治会（町内会）、公民館等の活動 |
| 3 地域の祭りやイベント | 4 老人クラブ活動 |
| 5 女性団体等の活動 | 6 福祉活動、ボランティア活動 |
| 7 子ども会やPTA活動、学校行事の手伝い | 8 スポーツ活動や文化、芸術活動 |
| 9 防災活動や消防団活動 | 10 防犯活動、交通安全活動 |
| 11 人権啓発活動 | 12 生涯学習活動 |
| 13 その他（ ） | 14 特になし |

● これからのまちづくりについて

【 商工業の振興 】

問 17 商工業を振興し育成するために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

- 1 商店街の賑わいづくり
- 2 大型店を核とした商業地区の整備
- 3 後継者の育成や事業の担い手の確保への支援
- 4 地域資源を活用したさぬきブランド開発への支援
- 5 外国人など多様な人材が活躍できる環境の整備
- 6 企業の技術力向上や製品開発、販路拡大への支援
- 7 起業に向けた支援
- 8 AI（人工知能）などを活用した新しい産業の育成支援
- 9 企業や研究機関の誘致活動
- 10 多様な働き方に対応できる環境の整備（サテライトオフィス^{*1}やコワーキングスペース^{*2}など）
- 11 その他（ ）
- 12 特になし

※1 サテライトオフィスとは

- ・ 企業の本社や支社から離れた場所に設置された、衛星（サテライト）のようなオフィスのこと。従業員が出張先での業務スペースとして一時的に利用するなど、通勤の負担軽減や生産性の向上が図られる。

※2 コワーキングスペースとは

- ・ 「共に働く場所」という意味を持ち、不特定多数の利用者が、作業場所や会議室などの設備やスペースを共同で利用する場所のこと。（Coworking Space）

【 農林水産業の振興 】

問 18 農林水産業を振興し育成するために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| 1 後継者や新規就農者など担い手の確保 | 2 特産品の開発やブランド力の強化への支援 |
| 3 農地の保全、整備の促進 | 4 有機農業の推進 |
| 5 スマート農業技術※ ¹ の導入 | 6 地産地消、6次産業化※ ² の推進 |
| 7 直営店、直売所の整備の促進 | 8 水産資源の確保に向けた取組の推進 |
| 9 その他（ | 10 特にない |

※1 スマート農業技術とは

- ・ ロボットやA I（人工知能）、I o T（情報通信技術）等を活用し、農作業の効率化、農作業における身体負担の軽減、農業の経営管理の合理化により、農業の生産性の向上を目指す取組のこと。

※2 6次産業化とは

- ・ 1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、農山漁村の豊かな地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組のこと。

【 観光振興 】

問 19 観光産業を振興し育成するために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

- | |
|----------------------------------|
| 1 SNSなど多様な媒体を活用した観光情報の発信 |
| 2 さぬき市ならではの特産品やおみやげ品の開発、発掘 |
| 3 観光イベントや祭りなどの充実 |
| 4 地域の食材を楽しめる飲食店の充実 |
| 5 地域の歴史や文化資源を活用した観光地づくり |
| 6 観光事業者や近隣市町との連携による広域的な観光ルートづくり |
| 7 自然や文化などに親しめる体験型旅行商品の充実、開発 |
| 8 インバウンドの誘致など外国人観光客の受け入れ体制の整備 |
| 9 老朽化する市内の観光施設や温泉施設の修繕、施設の快適性の強化 |
| 10 W i - F i など情報通信環境の充実 |
| 11 その他（ |
| 12 特にない |

【 災害対策 】

問 20 あなたは、地震や台風、豪雨など自然災害による被害を防ぐ取組として、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

- 1 災害時の行動に関する啓発など市民への情報提供の充実
- 2 住宅の耐震診断や改修などに対する補助制度の充実
- 3 食料や飲料水、医薬品などの備蓄、整備の充実
- 4 災害時の早期の被害情報の把握と迅速な情報の伝達
- 5 公園など一時避難場所や防災拠点の整備
- 6 避難場所の耐震化や電源の確保など適切な整備
- 7 災害時の近隣市町や県との広域的な連携
- 8 職場や地域における避難訓練、防災研修会の実施
- 9 女性や障害のある人に配慮した避難所の運営
- 10 災害時避難行動要支援者など災害弱者への対策の強化
- 11 道路や河川の整備等、災害に強いまちづくり
- 12 その他（ ）
- 13 特にない

【 都市基盤・生活環境 】

問 21 都市基盤や生活環境に関する取組について、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

- 1 便利で幅の広い新しい道路の整備
- 2 生活道路の穴や割れなどの補修
- 3 河川や港湾など公園のように過ごせる水辺空間の整備
- 4 徒歩、自転車、公共交通でも生活しやすいまちの整備
- 5 のどかな田園風景や海に見える景色などの景観の保存
- 6 子どもの遊び場の確保
- 7 散歩や休憩ができる身近な公園の整備
- 8 空き家対策の推進
- 9 その他（ ）
- 10 特にない

【子育て支援】

問 22 子育てしやすくするために、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
(回答は3つまで)

- 1 妊娠、出産、子育てに関する経済的支援の充実
- 2 妊娠、出産、子育てに関する情報発信の充実
- 3 保護者と子どもが一緒に集える場の充実
- 4 出産、子育てについて気軽に相談できる場や機会の充実
- 5 子どもが自然と触れ合う場や機会の充実
- 6 小児医療体制の充実
- 7 働きながら子育てできる環境づくり
- 8 性別にかかわらず誰もが子育てに参画する意識の啓発
- 9 地域住民同士で子育てを助け合う仕組みづくり
- 10 子連れでも利用しやすい安全な道路や建物、施設などの整備
- 11 その他 ()
- 12 特にない

【地域福祉】

問 23 地域福祉を推進するために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(回答は3つまで)

- 1 困りごとを気軽に相談できる身近な相談窓口の充実
- 2 市民に対する地域福祉やボランティア活動への参加の促進
- 3 見守り、声掛けなど地域住民同士で助け合う体制づくり
- 4 介護職員の確保
- 5 地域で福祉活動のリーダーや活動を担う人材の育成
- 6 ボランティア活動の拠点となる場の整備
- 7 福祉の活動費や運営費など資金面の援助
- 8 困っている人と支援できる人との調整を図る仕組みづくり
- 9 幅広い世代に対する福祉教育の充実
- 10 地域で取り組む防災対策の推進
- 11 福祉に関わる人や関係機関との連携の強化
- 12 その他 ()
- 13 特にない

【健康づくり】

問 24 生涯にわたる健康づくりを推進し、誰もが元気に暮らせる環境をつくるために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

- 1 健康相談や健康教室の充実
- 2 市民が主体となった地域での健康づくりの促進
- 3 スポーツによる健康づくり、体力づくりの促進
- 4 フレイル※や要介護状態にならないための介護予防の取組の充実
- 5 メンタルヘルス対策など心の健康づくりの推進
- 6 成人病検診やがん検診の充実
- 7 保健師などによる訪問活動の推進
- 8 市民病院など地域医療の充実
- 9 救急、休日、夜間、訪問診療など診療体制の充実
- 10 その他（ ）
- 11 特にない

※ フレイルとは

- ・ 加齢とともに心身の活力が低下し、生活機能障害、要介護状態などの危険性が高くなる「虚弱」の状態になること。

問 25 あなたは、市民病院を利用したことがありますか。（回答は1つ）

- 1 現在利用している
- 2 以前利用したことがある
- 3 利用したことはない

問 26 市民病院が、市民の皆様にとってより利用しやすくなるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

- 1 バスの増便など、自宅や職場からのアクセスの改善
- 2 受付時間や診療時間の拡大
- 3 スマートフォン等で気軽に予約、問診、会計ができるシステムづくり
- 4 診療から会計までの待ち時間の短縮
- 5 診療科の充実や専門医の増員
- 6 時間外対応の充実
- 7 快適で清潔、安全な入院環境、食事の充実
- 8 医師や看護師等職員の対応や患者とのコミュニケーション力の向上
- 9 他の医療機関よりも高い安心感、優位性
- 10 地域のかかりつけ医との連携の強化
- 11 病院の取組に関する情報発信の充実
- 12 その他（ ）
- 13 特にない

【 学校教育 】

問 27 持続可能な社会の担い手となる子どもの、質の高い学校教育を支える環境をつくるために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

- 1 社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進
- 2 個々の能力を磨き、発揮できる教育の推進
- 3 オンライン学習など、デジタル化を活用した教育環境の整備
- 4 インターネットやスマートフォンの正しい取り扱いなど情報モラル教育の充実
- 5 国際化を視野に入れた外国語教育の充実
- 6 体験学習を通じた地域の人との交流など開かれた学校づくりの推進
- 7 地域学習を通じた郷土愛を高める取組の充実
- 8 子どもの将来のためのライフ、キャリアプランニング※¹の支援
- 9 教員の能力や資質の向上
- 10 不登校やいじめ、ヤングケアラー※²への早期対応と支援の充実
- 11 子どもの交通安全や防犯、防災対策の充実
- 12 その他（ ）
- 13 特にない

※1 ライフ、キャリアプランニングとは

- ・ 将来の夢や理想の自分について思い描き、それをどのようにして実現するか考えること。

※2 ヤングケアラーとは

- ・ 本来大人が担うと想定されている家事や家族の介護その他の日常生活上の世話などを、子どもが過度に行っている状態のこと。

【 男女共同参画 】

問 28 あなたは、性別にかかわらず誰もが家庭や職場、地域における活動を両立し、社会のあらゆる分野に参画していくために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

- 1 男女共同参画に関する講座や講演会、セミナーの開催
- 2 学校での男女平等教育の充実
- 3 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に向けた取組の充実
- 4 働きやすい職場づくりに対する企業等への啓発
- 5 男性が育児や家事に参加することへの支援
- 6 市民主体の活動への支援
- 7 あらゆる暴力の根絶に向けた取組
- 8 子育てサービスの充実
- 9 女性の自立支援の取組
- 10 防災活動への女性の参画の推進
- 11 その他（ ）
- 12 特にない

【 人権教育 】

問 29 「一人ひとりの人権が大切にされる、住みやすいさぬき市」を実現するために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

- 1 学校における人権教育の充実
- 2 企業における人権啓発の充実
- 3 SNSやケーブルテレビ、広報紙など多様な媒体を活用した啓発の充実
- 4 参加・体験型を取り入れた人権出前講座※¹の充実
- 5 イベント・コンサート形式の事業の開催
- 6 様々な立場の人々との交流事業や意見交換の場の充実
- 7 啓発看板や垂れ幕、ポスターの掲示やパネル展の充実
- 8 その他（ ）
- 9 特にない

※1 参加・体験型を取り入れた人権出前講座とは

- ・ 参加・体験型とは、ワークショップやフィールドワークへの参加、高齢者や障害のある人、妊婦の疑似体験など体験活動を通じた活動のこと。人権出前講座とは、人権をテーマとした研修会や講習会などを実施する団体やグループに、講師を派遣する講座のこと。

【 多文化共生 】

問 30 日本人住民と外国人住民が共に安心して暮らし、活躍できる地域社会にするため、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

- 1 外国人と日本人との文化交流や相互理解の機会の提供
- 2 外国人の人権尊重意識の醸成のための学習機会の提供
- 3 日本語教室の充実
- 4 やさしい日本語※²の普及、活用
- 5 生活一般情報の多言語化（具体的にご記入ください→ ）
- 6 外国人の居住支援
- 7 福祉サービスの多言語対応
- 8 外国人児童・生徒及び保護者への支援
- 9 災害情報の発信（外国語、やさしい日本語）
- 10 外国人向け防災訓練の実施
- 11 その他（ ）
- 12 特にない

※2 やさしい日本語とは

- ・ 日本語に不慣れな外国人等に、分かりやすく情報を伝えるための簡単な日本語のこと。

【 環境保全 】

問 31 人と地球にやさしい環境づくりに向けた取組として、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

- 1 ごみの分別や発生の抑制、リサイクルの促進
- 2 市民による自主的な清掃活動など環境美化活動への支援
- 3 太陽光、風力、バイオマス等再生可能エネルギーの普及
- 4 L E D設備など省エネルギーの普及
- 5 山林や農地、水辺空間など自然環境の保全
- 6 小・中学校で自然環境学習の充実
- 7 公共交通網の整備などによる自動車利用の抑制
- 8 大気汚染、騒音、振動、悪臭など公害対策の充実
- 9 水環境の保全
- 10 その他（ ）
- 11 特にない

【 少子化対策 】

問 32 あなたは、少子化への対策として、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

- 1 出会いの機会の創出や情報提供
- 2 若者の就労や自立した生活に向けた支援
- 3 結婚に伴う経済的負担の軽減
- 4 妊娠や出産への支援体制の充実
- 5 仕事と家庭生活の両立への支援
- 6 働き方改革の推進
- 7 誰もが育児休業を取得しやすい環境づくり
- 8 子育て中の保護者の再就職への支援
- 9 子育てに係る経済的負担の軽減
- 10 プレコンセプションケア※の啓発
- 11 不妊治療への支援
- 12 その他（ ）
- 13 特にない

※ プレコンセプションケアとは

- ・ 性別を問わず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザイン（将来設計）や将来の健康を考えて健康管理を行うこと。

【 移住・定住促進 】

問 33 さぬき市への移住や定住を促進するために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

- 1 暮らしの情報やさぬき市の魅力の情報発信
- 2 滞在型観光や移住体験ツアーなどの開発
- 3 移住相談窓口の充実
- 4 移住希望者への補助金の充実や就労の支援
- 5 空き家の活用など移住者の住まいへの支援
- 6 結婚に向けた支援（婚活支援）
- 7 出産や子育てへの支援
- 8 住まいの購入や新築、リフォーム等への支援
- 9 教育・保育環境の整備
- 10 医療・福祉体制の充実
- 11 徒歩や自転車でも生活しやすい環境の整備
- 12 気軽に悩みを相談できる場所や機会の充実
- 13 自主的に活動できる場所や機会の充実
- 14 さぬき市の認知度を高めるシティプロモーション※の強化
- 15 その他（ ）
- 16 特にない

※ シティプロモーションとは

- ・ 地域や市町村が自らの魅力を効果的に発信し、観光客や移住者、企業誘致などを促進するための戦略的な活動のこと。

【 市民協働 】

問 34 さぬき市では、住民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思いますか。（回答は1つ）

- | | | |
|-----------|----------|-------------|
| 1 思う | 2 まあまあ思う | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり思わない | 5 思わない | 6 わからない |

【 行政運営 】

問 35 あなたは、さぬき市の行政運営について、今後、どのようなことに取り組むべきだと思いますか。（回答は3つまで）

1 庁内の組織のスリム化	2 窓口対応サービスの向上
3 行政窓口のデジタル化	4 公共事業の見直し
5 行政情報の積極的な公開	6 公共施設の効率的な活用
7 職員の能力や資質の向上	8 民間で実績を持つ人の登用・活用
9 民間委託の推進	10 行政運営への市民の参加促進
11 その他（	12 特にない

● 暮らしについて

問 36 あなたは、今の暮らしを、どの程度「幸せ」だと感じていますか。「とても幸せ」を 10 点、「幸せではない」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。（回答は 1 つ）

幸せではない ←					どちらとも いけない		→ とても幸せ			
0 点	1 点	2 点	3 点	4 点	5 点	6 点	7 点	8 点	9 点	10 点

問 37 あなたが「幸せ」であるために、特に重要だと思うことは何ですか。（回答は5つまで）

1 家計や資産、経済的なゆとり
2 職場の雇用環境や賃金
3 やりがいのある仕事
4 良好な住まい、居住環境
5 趣味や余暇に使える自由な時間
6 自分や家族の健康
7 あなたご自身の教育環境、学びの場
8 交友関係や近所付き合いなど社会とのつながり
9 政治、行政、裁判所への信頼性
10 生活を取り巻く自然環境
11 防犯、防災、交通安全対策等
12 子育てのしやすさ
13 介護のしやすさ
14 生活の楽しさ
15 その他（
16 特にない

● まちづくりの満足度と重要度について

問 38 さぬき市の各施策についておたずねします。あなたは、次の施策それぞれについて、現在、どのくらい満足していますか。また、今後、どの程度重要だと思いますか。

(回答はそれぞれ1つずつ)

項 目	評 価	現在の満足度					今後の重要度				
		満足	ある程度満足	わからない	どちらともいえない・	やや不満	不満	重要	やや重要	わからない	どちらともいえない・

記入例→

1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち

1 企業誘致の推進	企業進出への支援や情報提供、規模の拡大などに対する支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 商工業の振興と産学官の連携強化	空き店舗の活用など市内の商店や工場に対する支援、商工会や大学、行政が連携した企業への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 農林業の振興	農業の担い手の育成・確保、農産物の「さぬき」ブランドの育成、地産地消の推進、森林機能の維持	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4 水産業の振興	水産業の担い手の育成・確保、漁港の整備、水産物の「さぬき」ブランドの育成、水産物の消費拡大	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5 観光の振興	魅力的な市内観光ルートの開発、観光の宣伝強化、周辺市町と連携した観光集客活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6 雇用の場の確保と労働環境の充実	求職者と企業のマッチング、若者の地元への就職支援、働きやすい職場環境に向けた啓発	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7 定住促進対策	地元に戻ってくる人やさぬき市で働きたい、住んでみたい人などへの移住支援、定住促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

II 安全、安心、快適に暮らせるまち

8 消防・防災体制の充実	自主防災組織の活動への支援、消防・救急体制の充実、感染症も含む災害発生時の対応	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9 生活安全対策の推進	犯罪のないまちづくりの推進、交通安全に対する啓発活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10 道路等の社会基盤の整備	市道や生活道の維持・整備、橋、川、港などの維持・管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項 目	評 価	現在の満足度					今後の重要度				
		満足	ある程度満足	わからない	どちらともいえない・	やや不満	不満	重要	やや重要	わからない	どちらともいえない・

記入例→	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

11 公共交通網の充実	コミュニティバスなどの公共交通手段の確保・利用促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12 住環境の整備と都市計画の推進	市営住宅の管理、空き家対策、公園の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13 墓地・斎場の整備	火葬場の管理、市営墓地の管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

III 健全な心身と思いやりを育むまち											
14 子育て支援の充実	地域ぐるみでの子育て支援、親子の健康づくり、保育環境の充実など多様な子育て支援の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15 高齢者福祉の充実	健康づくりや介護予防の推進、高齢者の就労や社会参加の推進、地域ぐるみでの高齢者の見守り	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16 障害者福祉の充実	障害に対する理解、バリアフリー化の促進、障害のある人や児童への多様な福祉サービスの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17 地域力の強化による地域福祉の充実	住民主体の支え合い、ボランティア活動の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18 心身の健康づくりに対する支援	生活習慣病対策、健康診査やがん検診受診率の向上、心の健康づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19 地域医療の充実	市民病院を核とした救急医療、へき地医療、在宅医療の推進、開業医との連携による地域医療の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
20 生活困窮者への支援	生活保護制度の適切な運用、自立を促す就労支援や相談体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
21 社会保障制度の適切な運用	国民健康保険制度・介護保険制度・国民年金制度などの運用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項 目	評 価	現在の満足度					今後の重要度				
		満足	ある程度満足	わからない	どちらともいえない・	やや不満	不満	重要	やや重要	わからない	どちらともいえない・

記入例→	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

IV 学ぶ意欲と豊かな心を育むまち											
22 学校教育の充実	特別な支援が必要な児童を含む生きる力を育む学校教育、就学前教育の充実、教職員の資質の向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
23 家庭と地域の教育力の強化	家庭教育の啓発、放課後子ども教室の充実、地域に開かれた学校支援ボランティア活動の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
24 生涯学習・スポーツの推進	生涯学習や生涯スポーツの推進、公民館、図書館、体育館等施設の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
25 歴史・文化の伝承	文化財の保存と活用、地域の伝統文化の継承、芸術文化活動の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
26 青少年の健全育成	街頭補導、不審者対策、不登校児童・生徒への相談、支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
27 交流事業の推進	国際交流活動、市内在住外国人との交流、北海道釧路市など姉妹都市との交流	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
28 男女共同参画の推進	性別にかかわらず個人の能力が発揮でき、仕事と生活の両立などができる社会の実現	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
29 人権教育の推進	人権教育、人権啓発活動の推進、人権相談体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

Ⅴ 人と地球にやさしいまち											
30 自然環境との共生	ごみの不法投棄の防止等環境美化運動と景観の保全、太陽光など再生可能エネルギーの導入の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
31 資源循環型社会の構築	ごみの減量化、資源回収、リサイクルの推進、し尿収集、処理体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
32 上下水道の維持・整備	上水道事業や下水道事業の健全経営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項 目	評 価	現在の満足度					今後の重要度				
		満足	ある程度満足	わからない	どちらともいえない・	やや不満	不満	重要	やや重要	わからない	どちらともいえない・

記入例→	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

VI 市民協働による、持続可能な自主自律のまち											
33 財政の健全化	行政サービスの市民への提供に係る費用の削減、市の借入残高の削減	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
34 歳入の確保	市税の公正・公平な負担の願いとその徴収、各種広告料、ふるさと納税など自主的な収入源の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
35 行政改革の推進	市民目線に立った行財政運営、職員の資質向上、行政の事務・事業の評価制度の活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
36 公共施設マネジメントの推進	計画的な公共施設の整理・再編、学校跡地施設の有効活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
37 市民に開かれた市民本位・市民主体の行政の推進	市の広報やホームページの充実、市民からの意見聴取、市の会議などへの市民参加、行政情報の公開	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
38 地域コミュニティの活性化	自治会などのコミュニティ活動の充実、集会施設などの整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
39 広域的行政の推進	高松市など周辺市町との連携による効率的な広域行政の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
40 デジタル化の推進	行政サービスにおけるデジタル技術、データなどの活用の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

- 1 産業の振興や製造業の発展を後押しするまち
- 2 商業の振興を推進するまち
- 3 農林水産業を大切に守り育てるまち
- 4 観光や交流事業を進めるまち
- 5 安全、安心な住環境の整備を優先するまち
- 6 子育て支援が充実したまち
- 7 保健、医療、福祉の充実したまち
- 8 児童・生徒の教育環境が充実したまち
- 9 生涯学習や文化芸術、スポーツ活動が活発なまち
- 10 美しい自然環境や景観が誇れるまち
- 11 子どもや若者が増えて活気にあふれるまち
- 12 住民と行政が協働してまちづくりを進めるまち
- 13 デジタル技術を生かした、先進的で誰もが暮らしやすいまち
- 14 S D G s ※を見据えた取組を進めるまち
- 15 その他（ ）
- 16 特になし

- ・ 2015（平成 27）年の国連サミットで採択された、全ての国がその実現に向けて目指すべき「持続可能な開発目標」で 17 のゴール（目標）から構成され「誰一人取り残さない」社会の実現を目指す。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



～ ご協力ありがとうございました ～

さぬき市 まちづくりのための市民アンケート調査
報告書

発行／2026（令和8）年1月
発行者／さぬき市 総務部 政策課
〒769-2195 香川県さぬき市志度 5385 番地 8
電 話 （087）894－1112
FAX （087）894－4440
メール seisaku@city.sanuki.lg.jp
